

2010年世界農林業センサス  
(農林業経営体調査)  
結果概要



農林業センサス



## I 農林業経営体

### 1 農林業経営体数

～農林業経営体数は 33,078 経営体（前回は 13.5%減少）～

平成 22 年 2 月 1 日現在、本県の農林業経営体数は 33,078 経営体となり、前回に比べ 13.5%減少した。

このうち、農業経営体数は 31,683 経営体で前回に比べ 12.0%減、全国の農業経営体数は 1,679,084 経営体で前回に比べ 16.4%減となった。

林業経営体数は 4,341 経営体となり、前回に比べ 17.2%減少した。

表 1 農林業経営体数 (単位：経営体、%)

	宮 崎 県					全 国				
	農林業 経営体	農業 経営体	家族経営	林業 経営体	家族経営	農林業 経営体	農業 経営体	家族経営	林業 経営体	家族経営
平17	38,260	35,989	35,419	5,816	4,962	2,085,086	2,009,380	1,981,283	200,224	177,812
平22	33,078	31,683	31,139	4,341	3,831	1,726,751	1,679,084	1,648,076	140,186	125,592
増減数	△ 5,182	△ 4,306	△ 4,280	△ 1,475	△ 1,131	△ 358,335	△ 330,296	△ 333,207	△ 60,038	△ 52,220
増減率	△ 13.5	△ 12.0	△ 12.1	△ 25.4	△ 22.8	△ 17.2	△ 16.4	△ 16.8	△ 30.0	△ 29.4

### 2 組織形態別経営体数

～法人化している農林業経営体は全体の 2.2%（前回は 0.1%増加）～

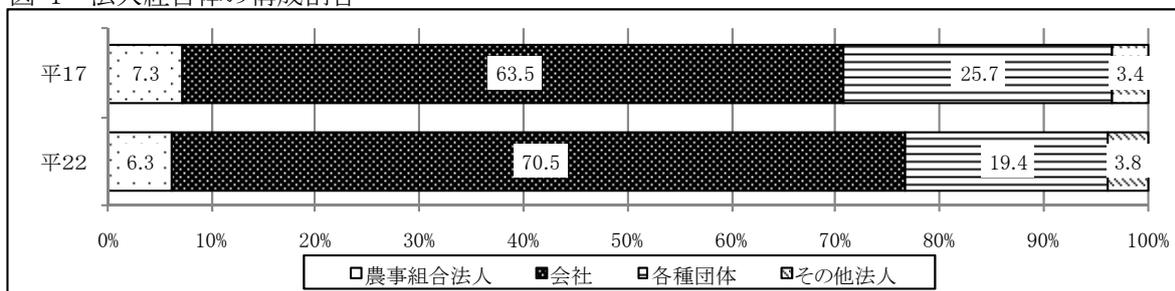
農林業経営体を組織形態別の構成割合で見ると、法人化している経営体は 728 経営体（全体に占める割合 2.2%）で前回に比べ 0.1%増、一方、法人化していない経営体は 32,334 経営体（同 97.8%）で 13.8%減となった。

法人化している経営体 728 経営体のうち、会社は 513 経営体（70.5%）となった。

表 2 組織形態別経営体数 (単位：経営体、%)

		合計	法人化している					地方公 共団体 ・ 財産区	法人化 して いない	個人 経営体
			計	農事 組合法人	会社	各種団体	その他 の法人			
実数	平17	38,260	727	53	462	187	25	24	37,509	36,712
	平22	33,078	728	46	513	141	28	16	32,334	31,894
	増減数	△ 5,182	1	△ 7	51	△ 46	3	△ 8	△ 5,175	△ 4,818
	増減率	△ 13.5	0.1	△ 13.2	11.0	△ 24.6	12.0	△ 33.3	△ 13.8	△ 13.1
構成比	平17	100.0	1.9	0.1	1.2	0.5	0.1	0.1	98.0	96.0
	平22	100.0	2.2	0.1	1.6	0.4	0.1	0.0	97.8	96.4

図 1 法人経営体の構成割合



## II 農業経営体

### 1 組織形態別経営体数

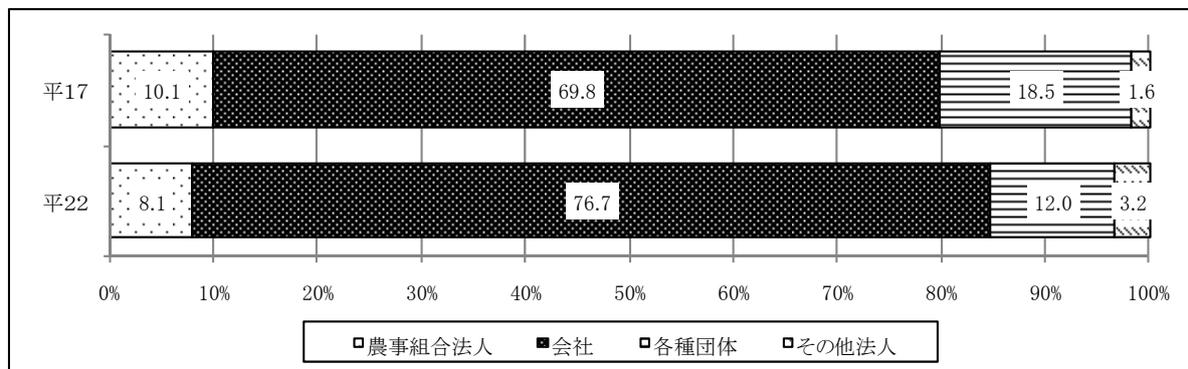
～法人化している農業経営体が1割増加～

農業経営体を組織形態別の構成割合で見ると、法人化している経営体は559経営体（全体に占める割合1.8%）、法人化していない経営体は31,122経営体（同98.2%）となった。  
法人化している559経営体のうち、会社は429経営体（76.7%）となった。

表3 組織形態別経営体数 (単位：経営体、%)

		合計	法人化している					地方公 共団体 ・ 財産区	法人化 して いない	個人 経営体
			計	農事 組 合 法 人	会 社	各 種 団 体	そ の 他 の 法 人			
実数	平17	35,989	503	51	351	93	8	2	35,484	35,287
	平22	31,683	559	45	429	67	18	2	31,122	30,994
	増減数	△ 4,306	56	△ 6	78	△ 26	10	0	△ 4,362	△ 4,293
	増減率	△ 12.0	11.1	△ 11.8	22.2	△ 28.0	125.0	0.0	△ 12.3	△ 12.2
構成比	平17	100.0	1.4	0.1	1.0	0.3	0.0	0.0	98.6	98.0
	平22	100.0	1.8	0.1	1.4	0.2	0.1	0.0	98.2	97.8

図2 法人経営体の構成割合



### 2 経営耕地面積規模別経営体数

～5ha以上の農業経営体が増加～

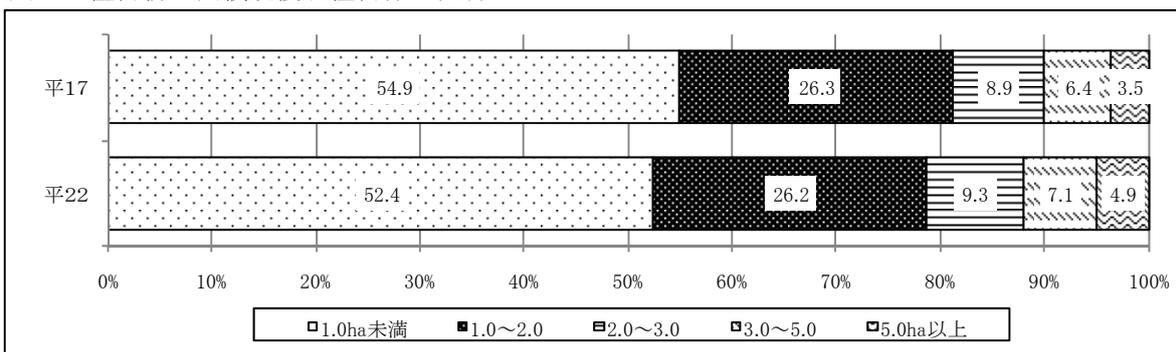
農業経営体を経営耕地面積規模別にみると、1.0ha未満層は16,609経営体（全体に占める割合52.4%）で前回に比べ15.9%減、1.0～2.0ha層は8,316経営体（同26.2%）で12.2%減、2.0～3.0ha層は2,956経営体（同9.3%）で8.2%減、3.0～5.0ha層は2,264経営体で（同7.1%）で1.7%減とそれぞれ減少した。

一方、5.0ha以上層は1,538経営体（同4.9%）で前回に比べ23.0%増加した。

表 4 経営耕地面積規模別経営体数 (単位：経営体、%)

		計	1.0ha未満	1.0～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0ha以上
実数	平17	35,989	19,740	9,475	3,221	2,303	1,250
	平22	31,683	16,609	8,316	2,956	2,264	1,538
増減数		△ 4,306	△ 3,131	△ 1,159	△ 265	△ 39	288
増減率		△ 12.0	△ 15.9	△ 12.2	△ 8.2	△ 1.7	23.0
構成比	平17	100.0	54.9	26.3	8.9	6.4	3.5
	平22	100.0	52.4	26.2	9.3	7.1	4.9

図 3 経営耕地面積規模別経営体の割合



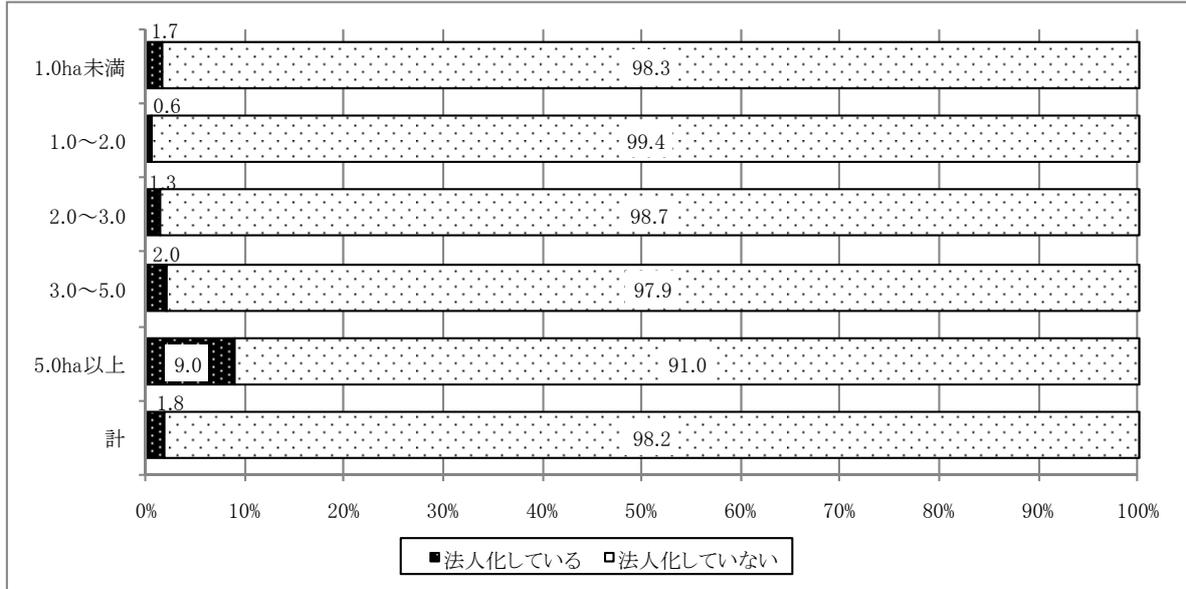
(1) 組織形態別にみた経営耕地面積規模別経営体数

経営耕地面積規模別の経営体を組織形態別にみると、5 ha 未満の各層では法人化している経営体がそれぞれ全体の2%以下であるが、5 ha 以上の階層では法人化している経営体が9.0%を占めるなど、経営耕地面積規模が大きいほど法人化している経営体の割合が高くなっている。

表 5 組織形態別にみた経営耕地面積規模別経営体数 (単位：経営体、%)

		計	法人化している				法人化していない		地方公 共同体 ・財産区	
			農事組合 法人	会社	各種 団体	その他の 法人	個人 経営体			
計	実数	31,683	559	45	429	67	18	31,122	30,994	2
	構成比	100.0	1.8	0.1	1.4	0.2	0.1	98.2	97.8	0.0
1.0ha未満	実数	16,609	284	14	200	62	8	16,325	16,223	-
	構成比	100.0	1.7	0.1	1.2	0.4	0.0	98.3	97.7	-
1.0～2.0	実数	8,316	54	6	43	2	3	8,262	8,254	-
	構成比	100.0	0.6	0.1	0.5	0.0	0.0	99.4	99.3	-
2.0～3.0	実数	2,956	37	1	32	1	3	2,919	2,915	-
	構成比	100.0	1.3	0.0	1.1	0.0	0.1	98.7	98.6	-
3.0～5.0	実数	2,264	45	-	41	2	2	2,217	2,213	2
	構成比	100.0	2.0	-	1.8	0.1	0.1	97.9	97.7	0.1
5.0ha以上	実数	1,538	139	24	113	-	2	1,399	1,389	-
	構成比	100.0	9.0	1.6	7.3	-	0.1	91.0	90.3	-

図 4 組織形態別にみた経営耕地面積規模別経営体の構成



3 農産物販売金額規模別経営体数

～100万円未満層の農業経営体が増加～

農業経営体を農産物販売金額規模別にみると、販売なしの階層は3,289経営体（全体に占める割合10.4%）で前回に比べ36.8%減、100～500万円層は8,034経営体（同25.4%）で15.8%減、500～1,000万円層は3,314経営体（同10.5%）で15.1%減、1,000～3,000万円層は3,867経営体（同12.2%）で14.7%減、3,000万円以上層は1,195経営体（同3.8%）で8.4%減とそれぞれ減少した。

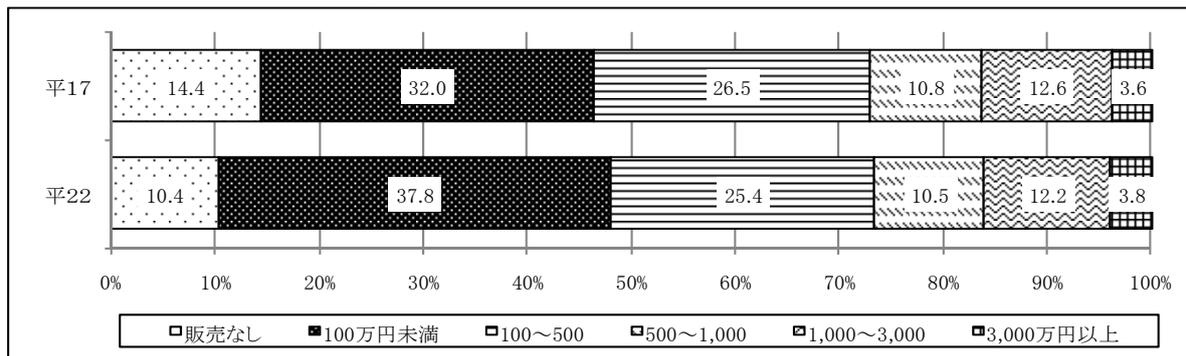
一方、100万円未満層は11,984経営体（同37.8%）で前回に比べ4.1%増加した。

表 6 農産物販売金額規模別経営体数

(単位：経営体、%)

		計	販売なし	100万円未満	100～500	500～1,000	1,000～3,000	3,000万円以上
実数	平17	35,989	5,200	11,508	9,540	3,904	4,532	1,305
	平22	31,683	3,289	11,984	8,034	3,314	3,867	1,195
増減数		△ 4,306	△ 1,911	476	△ 1,506	△ 590	△ 665	△ 110
増減率		△ 12.0	△ 36.8	4.1	△ 15.8	△ 15.1	△ 14.7	△ 8.4
構成比	平17	100.0	14.4	32.0	26.5	10.8	12.6	3.6
	平22	100.0	10.4	37.8	25.4	10.5	12.2	3.8

図 5 農産物販売金額規模別経営体の割合



(1) 組織形態別にみた農産物販売金額規模別経営体数

農産物販売金額規模別の経営体を組織形態別にみると、3,000万円未満の各層では法人化していない経営体が全体の9割以上を占めるが、3,000万円以上の階層では法人化している経営体の割合が高くなっており26.2%を占めている。このうち、22.8%は会社である。

表 7 組織形態別にみた農産物販売金額規模別経営体数 (単位：経営体、%)

	計	法人化している					法人化していない		地方公 共団体 ・財産区	
		農事組合 法人	会社	各種 団体	その他の 法人	個人 経営体				
計	実数	31,683	559	45	429	67	18	31,122	30,994	2
	構成比	100.0	1.8	0.1	1.4	0.2	0.1	98.2	97.8	0.0
販売なし	実数	3,289	71	7	15	43	6	3,217	3,121	1
	構成比	100.0	2.2	0.2	0.5	1.3	0.2	97.8	94.9	0.0
100万円 未満	実数	11,984	15	4	9	-	2	11,969	11,961	-
	構成比	100.0	0.1	0.0	0.1	-	0.0	99.9	99.8	-
100~500	実数	8,034	31	4	23	1	3	8,003	7,995	-
	構成比	100.0	0.4	0.0	0.3	0.0	0.0	99.6	99.5	-
500 ~1,000	実数	3,314	30	1	28	1	-	3,283	3,281	1
	構成比	100.0	0.9	0.0	0.8	0.0	-	99.1	99.0	0.0
1,000 ~3,000	実数	3,867	99	10	81	4	4	3,768	3,763	-
	構成比	100.0	2.6	0.3	2.1	0.1	0.1	97.4	97.3	-
3,000万円 以上	実数	1,195	313	19	273	18	3	882	873	-
	構成比	100.0	26.2	1.6	22.8	1.5	0.3	73.8	73.1	-

図 6 組織形態別にみた農産物販売金額規模別経営体の割合

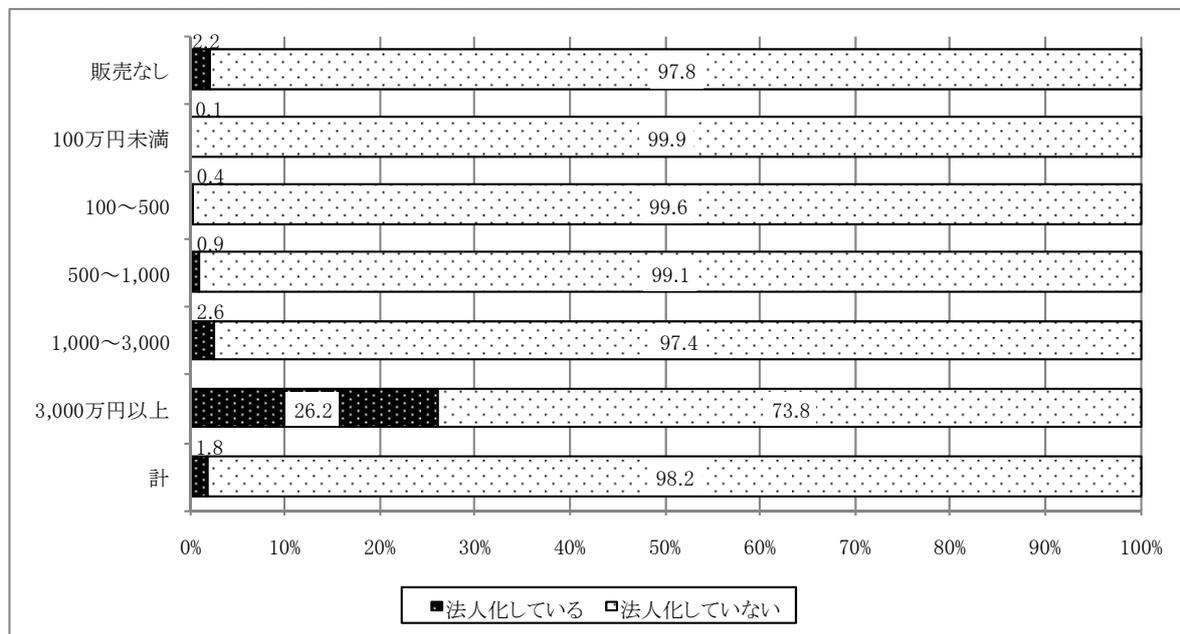
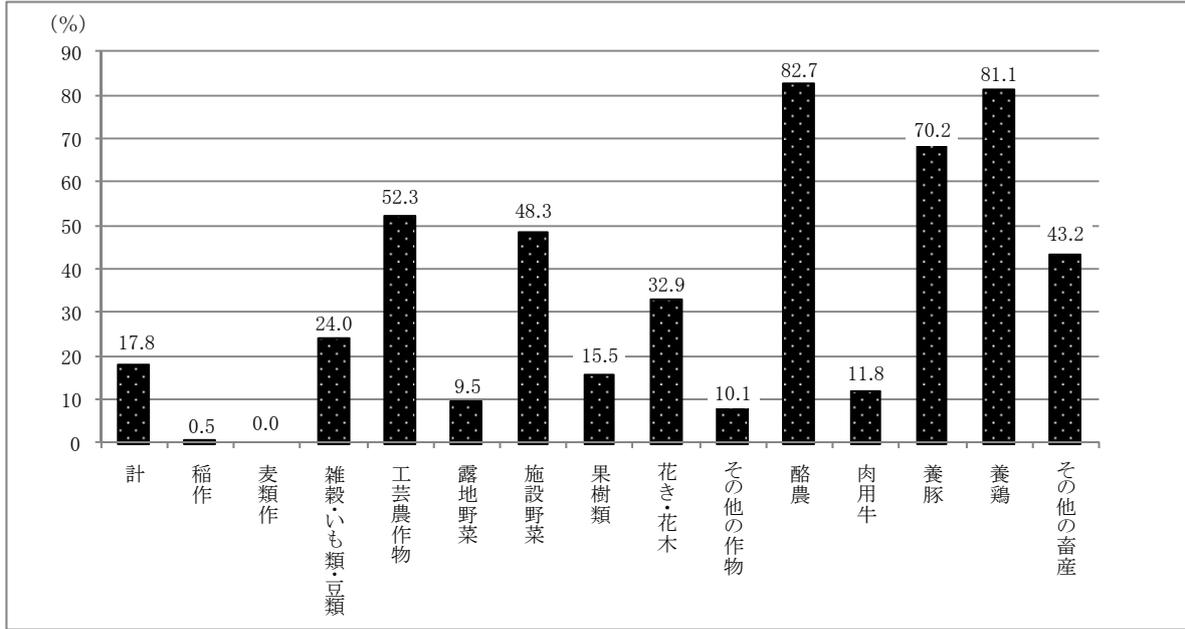


図 7 農産物販売金額 1 位の部門別経営体の割合（販売金額 1,000 万円以上）



#### 4 農業経営組織別経営体数

～農業経営体の 7 割が単一経営～

農業経営体のうち、販売のあった経営体数は 28,394 経営体となり、前回に比べ 7.8%減少した。

これを農業経営組織別にみると、単一経営の経営体数は 20,272 経営体（全体に占める割合 71.4%）で前回に比べ 9.8%減、準単一複合経営の経営体数は 6,208 経営体（同 21.9%）で 5.8%減とそれぞれ減少した。

一方、複合経営の経営体数は 1,914 経営体（同 6.7%）で前回に比べ 10.6%増加した。

表 8 農業経営組織別経営体数

（単位：経営体、%）

		販売のあった経営体	単一経営経営体	準単一複合経営経営体	複合経営経営体
実数	平17	30,789	22,468	6,591	1,730
	平22	28,394	20,272	6,208	1,914
増減数		△ 2,395	△ 2,196	△ 383	184
増減率		△ 7.8	△ 9.8	△ 5.8	10.6
構成比	平17	100.0	73.0	21.4	5.6
	平22	100.0	71.4	21.9	6.7

図 8 経営組織別経営体の割合

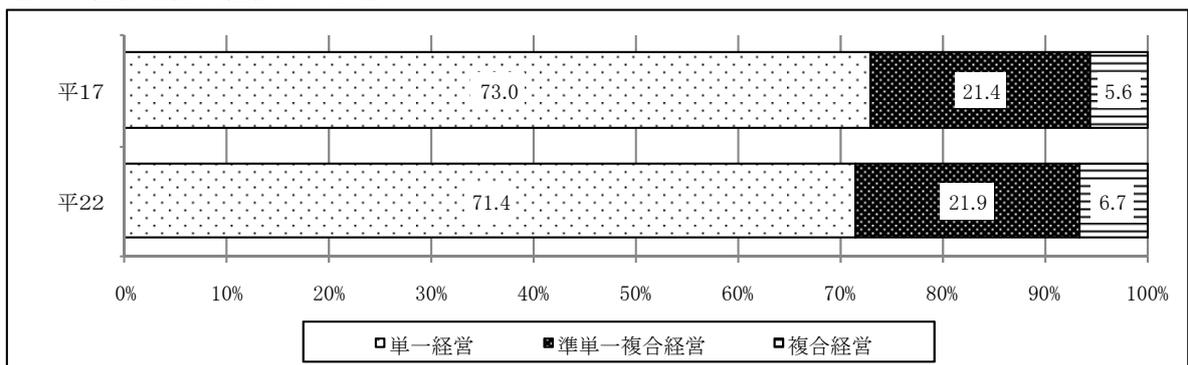


表 9 単一経営経営体の内訳 (単位：経営体、%)

		単一経営経営体(主位部門の農産物販売金額が80%以上の経営体)													
		稲作	雑穀・ いも類 ・豆類	工芸 農作物	露地 野菜	施設 野菜	果樹類	花き ・花木	その他 の作物	酪農	肉用牛	養豚	養鶏	その他 の畜産	
実数	平17	22,468	7,881	540	755	1,300	2,811	1,163	566	405	354	5,754	431	485	23
	平22	20,272	7,843	527	403	1,399	2,335	1,232	455	359	254	4,667	317	453	28
増減数		△ 2,196	△ 38	△ 13	△ 352	99	△ 476	69	△ 111	△ 46	△ 100	△ 1,087	△ 114	△ 32	5
増減率		△ 9.8	△ 0.5	△ 2.4	△ 46.6	7.6	△ 16.9	5.9	△ 19.6	△ 11.4	△ 28.2	△ 18.9	△ 26.5	△ 6.6	21.7
構成比	平17	100.0	35.1	2.4	3.4	5.8	12.5	5.2	2.5	1.8	1.6	25.6	1.9	2.2	0.1
	平22	100.0	38.7	2.6	2.0	6.9	11.5	6.1	2.2	1.8	1.3	23.0	1.6	2.2	0.1

5 経営耕地のある経営体数と経営耕地面積

～農業経営体の経営耕地総面積は 50,057ha (前回比 2.3%減少)～

農業経営体のうち、経営耕地のある経営体は 31,118 経営体となり、前回に比べ 2.3%減少した。農業経営体全体 (31,683 経営体) に占める割合は 98.2%となった。これを耕地種類別にみると、田が 29,261 経営体で前回に比べ 12.6%減、畑が 20,473 経営体で 12.3%減、樹園地が 4,257 経営体で 11.5%減とそれぞれ減少した。

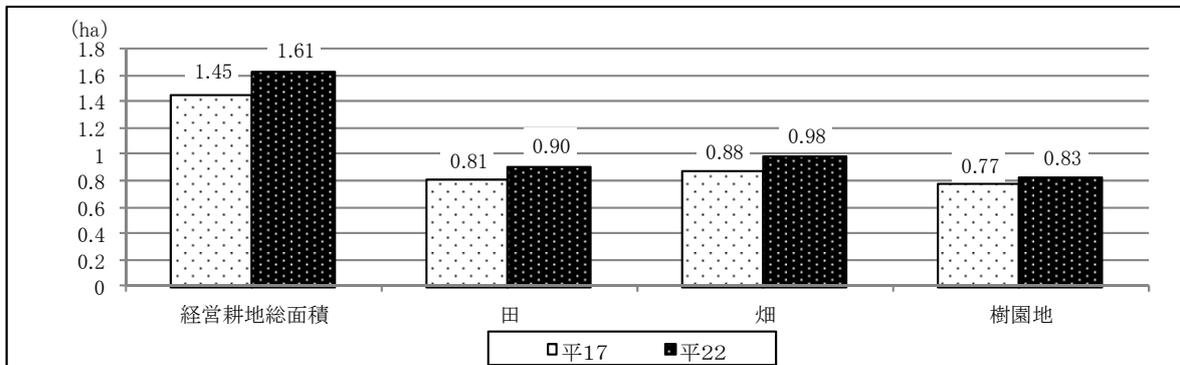
農業経営体の経営耕地総面積は 50,057ha となり、前回に比べ 2.3%減少した。

これを耕地種類別にみると、田が 26,410ha (全体に占める割合 52.8%) で前回に比べ 2.3%減、畑が 20,123ha (同 40.2%) で 2.0%減、樹園地が 3,524ha (同 7.0%) で 4.3%減とそれぞれ減少した。

表 10 経営耕地のある経営体数と経営耕地面積 (単位：経営体、ha、%)

		経営耕地 のある 経営体数	経営耕地 総面積	田		畑		樹園地	
				田のある 経営体数	面積	畑のある 経営体数	面積	樹園地のある 経営体数	面積
実数	平17	35,353	51,234	33,497	27,024	23,348	20,529	4,808	3,681
	平22	31,118	50,057	29,261	26,410	20,473	20,123	4,257	3,524
増減数		△ 4,235	△ 1,177	△ 4,236	△ 614	△ 2,875	△ 406	△ 551	△ 157
増減率		△ 12.0	△ 2.3	△ 12.6	△ 2.3	△ 12.3	△ 2.0	△ 11.5	△ 4.3
構成比	平17	-	100.0	-	52.7	-	40.1	-	7.2
	平22	-	100.0	-	52.8	-	40.2	-	7.0

図 9 1 経営体当たり経営耕地種類別経営耕地面積



(1) 組織形態別にみた経営耕地面積

経営耕地種類別の経営耕地面積を組織形態別にみると、法人化している経営体が有する経営耕地面積は3,393ha（全体に占める割合6.8%）、法人化していない経営体が有する経営耕地面積は46,657ha（同93.2%）となり、そのほとんどを法人化していない経営体が占めている。

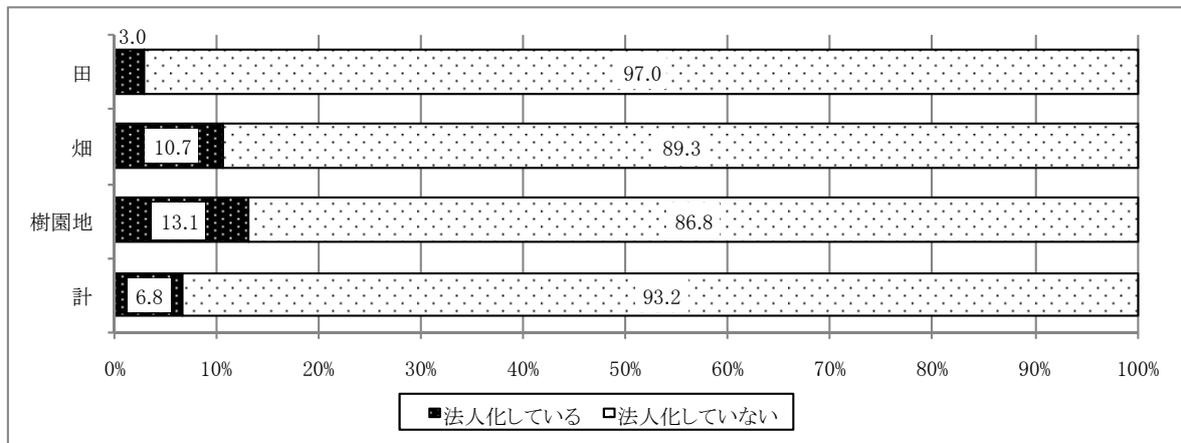
これを耕地種類別にみると、畑及び樹園地では法人化している経営体が占める経営耕地面積が10%を超えている。

また、法人化している経営体（559経営体）の1経営体当たり経営耕地面積は6.1ha、法人化していない経営体（31,122経営体）の1経営体当たり経営耕地面積は1.5haとなった。

表 11 組織形態別にみた経営耕地面積 (単位：ha、%)

		計	法人化している				法人化していない		地方公共団体・財産区	
			農事組合法人	会社	各種団体	その他の法人	個人経営体			
計	面積	50,057	3,393	445	2,704	14	230	46,657	46,476	7
	構成比	100.0	6.8	0.9	5.4	0.0	0.5	93.2	92.8	0.0
田	面積	26,410	780	256	504	5	15	25,628	25,582	2
	構成比	100.0	3.0	1.0	1.9	0.0	0.1	97.0	96.9	0.0
畑	面積	20,123	2,152	170	1,766	5	212	17,970	17,853	-
	構成比	100.0	10.7	0.8	8.8	0.0	1.1	89.3	88.7	-
樹園地	面積	3,524	461	19	434	4	3	3,058	3,041	5
	構成比	100.0	13.1	0.5	12.3	0.1	0.1	86.8	86.3	0.1

図 10 組織形態別経営耕地面積の割合



6 経営耕地面積規模別面積

～経営耕地面積 2ha 未満層の農業経営体が 4 割～

農業経営体の経営耕地面積を面積規模別に構成比でみると、1.0ha 未満層が全体に占める割合は18.2%で前回に比べ2.9ポイント減、1.0～2.0ha層は23.0%で2.5ポイント減、2.0～3.0ha層は14.1%で0.9ポイント減、30ha以上層は3.6%で0.0ポイント減とそれぞれ減少した。

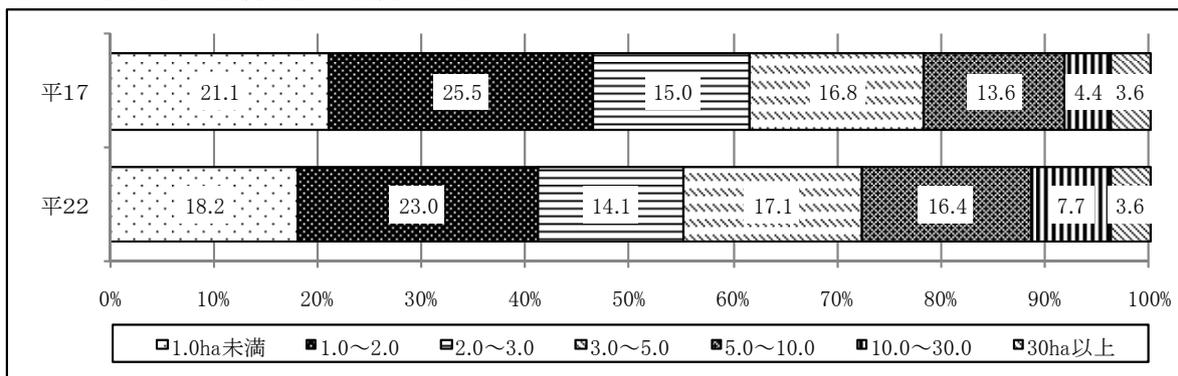
一方、3.0～5.0ha層は17.1%で0.3ポイント増、5.0～10.0ha層は16.4%で2.8ポイント増、10.0～30.0ha層は7.7%で3.3ポイント増とそれぞれ増加した。

表 12 経営耕地面積規模別面積

(単位：ha、%)

		計	1.0ha未満	1.0～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～30.0	30ha以上
実数	平17	51,234	10,795	13,074	7,685	8,630	6,959	2,236	1,855
	平22	50,057	9,117	11,521	7,043	8,538	8,185	3,872	1,780
増減数		△ 1,177	△ 1,678	△ 1,553	△ 642	△ 92	1,226	1,636	△ 75
増減率		△ 2.3	△ 15.5	△ 11.9	△ 8.4	△ 1.1	17.6	73.2	△ 4.0
構成比	平17	100.0	21.1	25.5	15.0	16.8	13.6	4.4	3.6
	平22	100.0	18.2	23.0	14.1	17.1	16.4	7.7	3.6

図 11 経営耕地面積規模別面積の割合



7 借入耕地のある経営体数と借入耕地面積

～農業経営体の借入耕地面積は前回比 16.4%増加～

農業経営体のうち、借入耕地のある経営体数は 12,964 経営体となり、前回に比べ 4.5%減少した。

これを耕地種類別にみると、田が 9,926 経営体で 3.0%減、畑が 6,338 経営体で 3.9%減とそれぞれ減少した一方、樹園地が 371 経営体で 0.5%増加した。

農業経営体の借入耕地総面積は 15,765ha となり、前回に比べ 16.4%増加した。

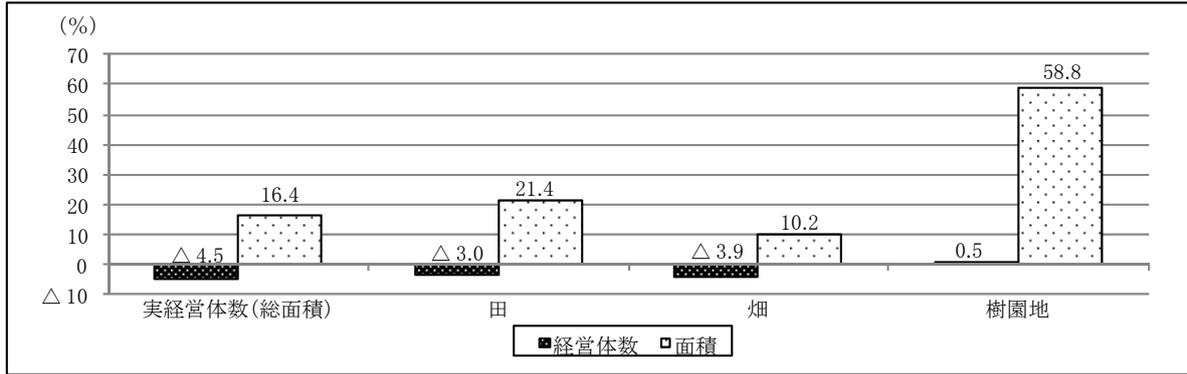
これを耕地種類別にみると、田が 7,559ha (全体に占める割合 47.9%) で 21.4%増、畑が 7,744ha (同 49.1%) で 10.2%増、樹園地が 462ha (同 2.9%) で 58.8%増とそれぞれ増加した。

表 13 借入耕地面積のある経営体数と借入耕地面積

(単位：経営体、ha、%)

		実経営体数	面積	田		畑		樹園地	
				経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
実数	平17	13,579	13,544	10,235	6,224	6,597	7,028	369	291
	平22	12,964	15,765	9,926	7,559	6,338	7,744	371	462
増減数		△ 615	2,221	△ 309	1,335	△ 259	716	2	171
増減率		△ 4.5	16.4	△ 3.0	21.4	△ 3.9	10.2	0.5	58.8
構成比	平17	-	100.0	-	46.0	-	51.9	-	2.1
	平22	-	100.0	-	47.9	-	49.1	-	2.9

図 12 借入耕地面積のある経営体数と借入耕地面積の増減率



(1) 組織形態別にみた借入耕地面積

借入耕地面積を組織形態別にみると、法人化している経営体が有する借入耕地面積は 2,161ha（全体に占める割合 13.7%）となり、既出の法人化している経営体が有する経営耕地面積の全体に占める割合（6.8%）と比較すると、法人化している経営体の有する借入耕地面積の構成比は約 2 倍となっている。

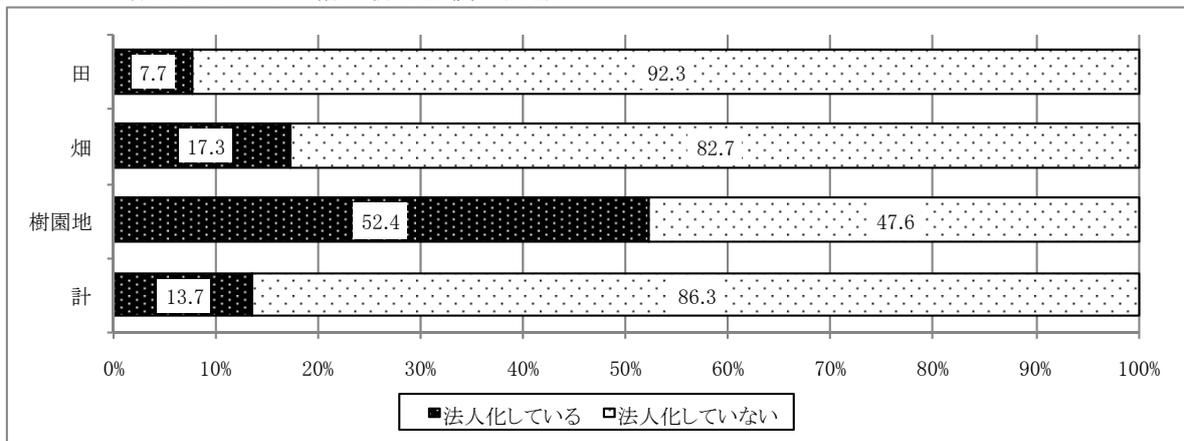
このうち、法人化している経営体が有する借入耕地面積の割合は、田が 7.7%、畑が 17.3%、樹園地が 52.4%となっている。

表 14 組織形態別にみた借入耕地面積

(単位：経営体、ha、%)

		計	法人化している				法人化していない		地方公 共団体 ・財産区	
			農事組合 法人	会社	各種 団体	その他の 法人	個人 経営体			
計	面積	15,765	2,161	354	1,650	3	154	13,603	13,470	-
	構成比	100.0	13.7	2.2	10.5	0.0	1.0	86.3	85.4	-
田	面積	7,559	584	245	326	2	10	6,975	6,946	-
	構成比	100.0	7.7	3.2	4.3	0.0	0.1	92.3	91.9	-
畑	面積	7,744	1,336	108	1,086	1	142	6,408	6,317	-
	構成比	100.0	17.3	1.4	14.0	0.0	1.8	82.7	81.6	-
樹園地	面積	462	242	1	239	-	3	220	207	-
	構成比	100.0	52.4	0.2	51.7	-	0.6	47.6	44.8	-

図 13 組織形態別にみた借入耕地面積の割合



### 8 耕作放棄地のある経営体数と耕作放棄地面積

～農業経営体の耕作放棄地面積は前回比 11.3%減少～

農業経営体のうち、耕作放棄地のある経営体数は 6,738 経営体となり、前回に比べ 17.0%減少した。

これを耕地種類別にみると、田が 4,585 経営体で 18.1%減、畑が 2,791 経営体で 15.7%減、樹園地が 399 経営体で 11.1%減とそれぞれ減少した。

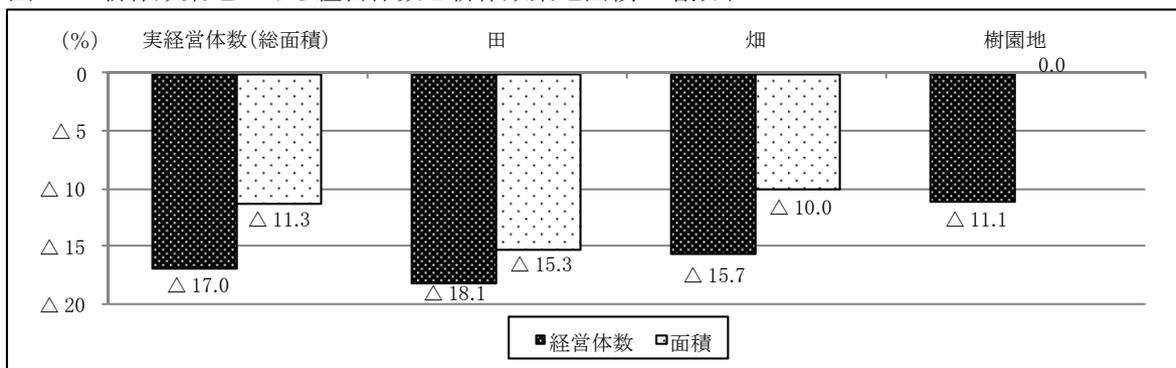
農業経営体の耕作放棄地面積は 1,812ha となり、前回に比べ 11.3%減少した。

これを耕地種類別にみると、田が 808ha で 15.3%減、畑が 772ha で 10.0%減とそれぞれ減少した一方、樹園地は 231ha で 0.0%増加した。

表 15 耕作放棄地のある経営体数と耕作放棄地面積 (単位：経営体、ha、%)

	実経営体数	面積	田		畑		樹園地		
			経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	
実数	平17	8,118	2,043	5,600	954	3,309	858	449	231
	平22	6,738	1,812	4,585	808	2,791	772	399	231
増減数		△ 1,380	△ 231	△ 1,015	△ 146	△ 518	△ 86	△ 50	0
増減率		△ 17.0	△ 11.3	△ 18.1	△ 15.3	△ 15.7	△ 10.0	△ 11.1	0.0
構成比	平17	-	100.0	-	46.7	-	42.0	-	11.3
	平22	-	100.0	-	44.6	-	42.6	-	12.7

図 14 耕作放棄地のある経営体数と耕作放棄地面積の増減率



#### (1) 組織形態別にみた耕作放棄地面積

耕作放棄地面積を組織形態別にみると、法人化している経営体の耕作放棄地面積は 75ha (全体に占める割合 4.1%)、法人化していない経営体の耕作放棄地面積は 1,738ha (同 95.9%) となった。

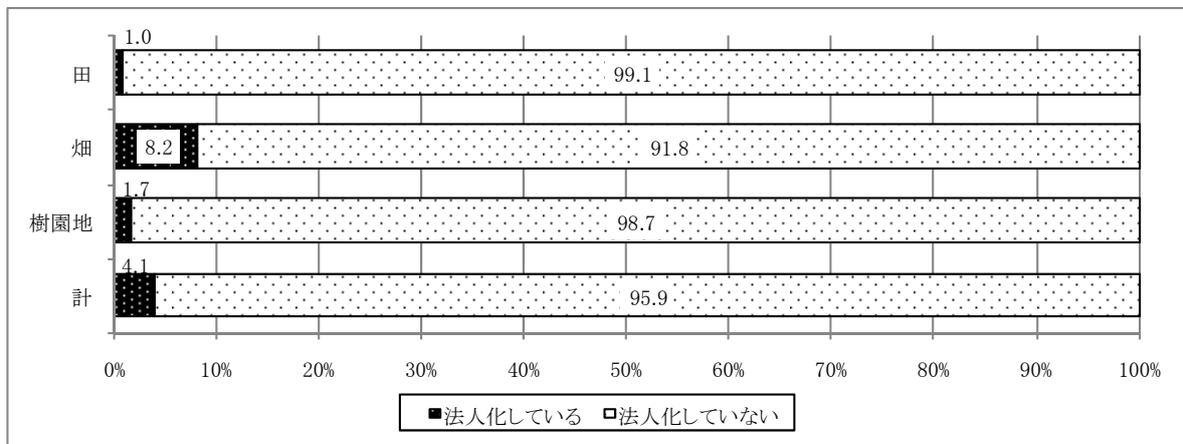
これを耕作放棄地の種類別にみると、法人化している経営体の占める割合は、田が 1.0%、畑が 8.2%、樹園地が 1.7%となり、畑の耕作放棄地面積の割合が若干高くなっている。

表 16 組織形態別にみた耕作放棄地面積

(単位: ha, %)

		計	法人化している					法人化していない		地方公 共団体 ・財産区
			農事組合 法人	会社	各種 団体	その他の 法人		個人 経営体		
計	面積	1,812	75	16	56	3	1	1,738	1,736	-
	構成比	100.0	4.1	0.9	3.1	0.2	0.1	95.9	95.8	-
田	面積	808	8	1	6	-	1	801	800	-
	構成比	100.0	1.0	0.1	0.7	-	0.1	99.1	99.0	-
畑	面積	772	63	14	47	3	-	709	709	-
	構成比	100.0	8.2	1.8	6.1	0.4	-	91.8	91.8	-
樹園地	面積	231	4	1	3	-	-	228	228	-
	構成比	100.0	1.7	0.4	1.3	-	-	98.7	98.7	-

図 15 組織形態別にみた耕作放棄地面積の割合



(2) 地域分類別にみた耕作放棄地面積

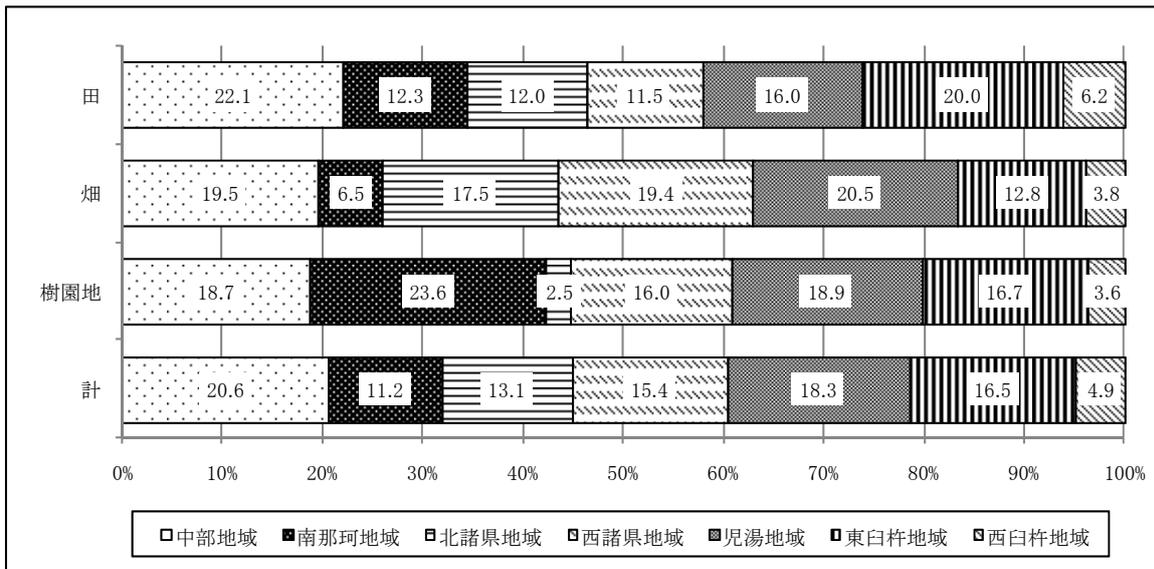
耕作放棄地面積を地域分類別にみると、田の耕作放棄地面積は中部地域で大きく、畑は児湯地域で大きく、樹園地の耕作放棄地面積は南那珂地域で大きくなっている。

表 17 地域分類別にみた耕作放棄地面積と割合

(単位: a, %)

	計		田		畑		樹園地	
	面積	割合	面積	割合	面積	割合	面積	割合
宮崎県計	181,210	100.0	80,835	100.0	77,232	100.0	23,143	100.0
中部地域	37,276	20.6	17,850	22.1	15,087	19.5	4,339	18.7
南那珂地域	20,383	11.2	9,941	12.3	4,991	6.5	5,451	23.6
北諸県地域	23,793	13.1	9,708	12.0	13,509	17.5	576	2.5
西諸県地域	27,974	15.4	9,283	11.5	14,999	19.4	3,692	16.0
児湯地域	33,102	18.3	12,901	16.0	15,825	20.5	4,376	18.9
東臼杵地域	29,878	16.5	16,141	20.0	9,869	12.8	3,868	16.7
西臼杵地域	8,804	4.9	5,011	6.2	2,952	3.8	841	3.6

図 16 地域分類別にみた耕作放棄地面積の割合



9 農作物の類別作付（栽培）経営体数と作付（栽培）面積

～作付け（栽培）した実農業経営体数及び面積ともに減少～

農業経営体のうち、農作物を販売目的で作付（栽培）した実経営体数は 24,550 経営体で前回に比べ 8.9%減、作付（栽培）面積は 29,227ha で前回に比べ 1.7%減とそれぞれ減少した。

このうち、作付経営体数が多かったのは、稲が 20,687 経営体で前回に比べ 7.9%減、次いで野菜類が 9,981 経営体で前回に比べ 10.1%減、いも類が 2,270 経営体で前回に比べ 18.4%減などとなっている。

作付面積が多かったのは、稲が 13,671ha（全体に占める割合 46.8%）で前回に比べ 0.3%増、次いで野菜類が 7,604ha（同 26.0%）で前回に比べ 0.6%増、いも類が 3,338ha（同 11.4%）で 33.8%増などとなっている。

表 18 農作物の類別作付（栽培）経営体数と作付（栽培）面積 (単位：経営体、ha、%)

	作付(栽培)実経営体数	作付(栽培)面積	稲		麦類		雑穀		いも類		
			経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	
実数	平17	26,953	29,727	22,473	13,625	117	33	369	138	2,783	2,495
	平22	24,550	29,227	20,687	13,671	216	124	530	293	2,270	3,338
増減数		△ 2,403	△ 500	△ 1,786	46	99	91	161	155	△ 513	843
増減率		△ 8.9	△ 1.7	△ 7.9	0.3	84.6	275.8	43.6	112.3	△ 18.4	33.8
構成比	平17	-	100.0	-	45.8	-	0.1	-	0.5	-	8.4
	平22	-	100.0	-	46.8	-	0.4	-	1.0	-	11.4

(つづき)

		豆類		工芸農作物		野菜類		花き類・花木		その他の作物	
		経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
実数	平17	917	329	2,075	3,769	11,101	7,555	1,089	582	1,174	1,201
	平22	597	225	1,520	3,032	9,981	7,604	954	446	405	493
増減数		△ 320	△ 104	△ 555	△ 737	△ 1,120	49	△ 135	△ 136	△ 769	△ 708
増減率		△ 34.9	△ 31.6	△ 26.7	△ 19.6	△ 10.1	0.6	△ 12.4	△ 23.4	△ 65.5	△ 59.0
構成比	平17	-	1.1	-	12.7	-	25.4	-	2.0	-	4.0
	平22	-	0.8	-	10.4	-	26.0	-	1.5	-	1.7

(1) 組織形態別にみた農作物の類別作付（栽培）経営体数

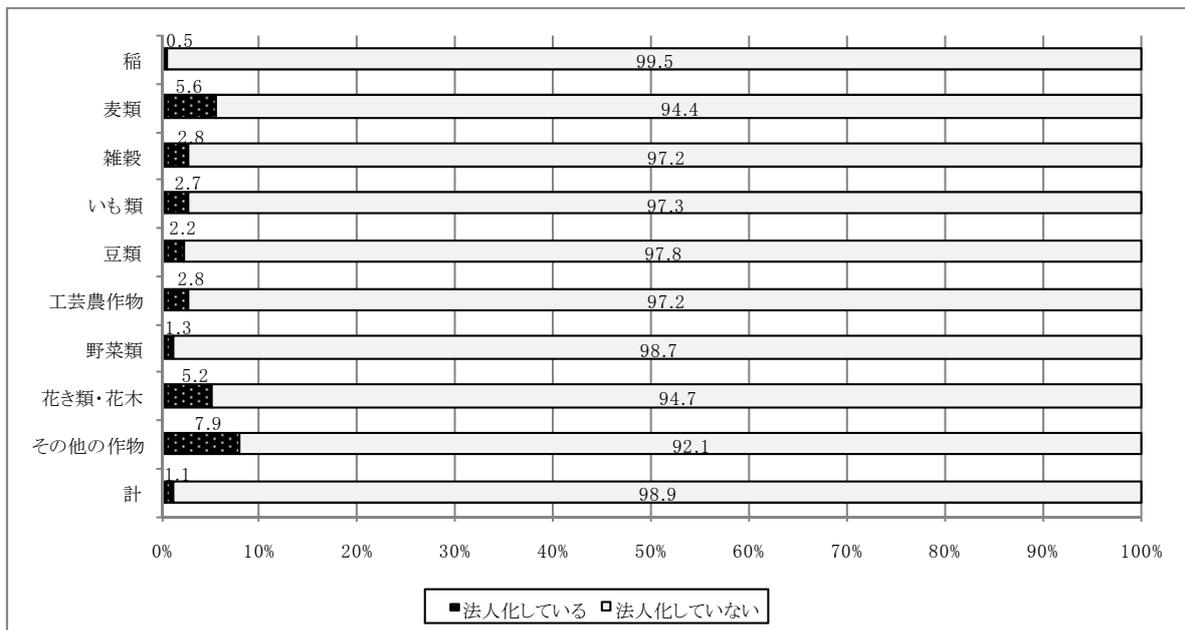
農作物の作付（栽培）経営体数を組織形態別にみると、法人化している経営体の農作物作付（栽培）実経営体数は264経営体（全体に占める割合1.1%）、法人化していない経営体の農作物作付（栽培）実経営体数は24,285経営体（同98.9%）となった。

これを農作物の種類別にみると、その他の作物、麦類及び花き類・花木において法人化している経営体の占める割合が5%を超えている。

表 19 組織形態別にみた農作物の類別作付（栽培）経営体数 (単位：経営体,ha、%)

	計	法人化している				法人化していない		地方公 共団体 ・財産区		
		農事組合 法人	会社	各種 団体	その他の 法人	個人 経営体				
計	実数	24,550	264	25	225	6	8	24,285	24,259	1
	構成比	100.0	1.1	0.1	0.9	0.0	0.0	98.9	98.8	0.0
稲	実数	20,687	111	16	91	-	4	20,575	20,565	1
	構成比	100.0	0.5	0.1	0.4	-	0.0	99.5	99.4	0.0
麦類	実数	216	12	1	10	1	-	204	202	-
	構成比	100.0	5.6	0.5	4.6	0.5	-	94.4	93.5	-
雑穀	実数	530	15	-	15	-	-	515	512	-
	構成比	100.0	2.8	-	2.8	-	-	97.2	96.6	-
いも類	実数	2,270	61	10	49	1	1	2,209	2,208	-
	構成比	100.0	2.7	0.4	2.2	0.0	0.0	97.3	97.3	-
豆類	実数	597	13	5	8	-	-	584	583	-
	構成比	100.0	2.2	0.8	1.3	-	-	97.8	97.7	-
工芸 農作物	実数	1,520	42	3	36	-	3	1,477	1,473	1
	構成比	100.0	2.8	0.2	2.4	-	0.2	97.2	96.9	0.1
野菜類	実数	9,981	126	12	107	1	6	9,854	9,845	1
	構成比	100.0	1.3	0.1	1.1	0.0	0.1	98.7	98.6	0.0
花き類 ・花木	実数	954	50	-	50	-	-	903	897	1
	構成比	100.0	5.2	-	5.2	-	-	94.7	94.0	0.1
その他 の作物	実数	405	32	2	24	5	1	373	372	-
	構成比	100.0	7.9	0.5	5.9	1.2	0.2	92.1	91.9	-

図 17 組織形態別にみた農作物野類別作付（栽培）経営体の割合



## (2) 組織形態別にみた農作物の類別作付（栽培）面積

農作物の作付（栽培）面積を組織形態別にみると、法人化している経営体の農作物作付（栽培）面積は 2,838ha（全体に占める割合 9.7%）となり、前出の経営体数の割合と比較すると法人化している経営体の作付面積の割合が高くなっている。

これを農作物の種類別にみると、豆類、その他の作物及び雑穀において法人化している経営体の占める割合が高くなっている。

表 20 組織形態別にみた農作物の類別作付（栽培）面積 (単位：ha、%)

	計	法人化している				法人化していない		地方公 共団体 ・財産区		
		農事組合 法人	会社	各種 団体	その他の 法人	個人 経営体				
計	面積	29,227	2,838	362	2,449	9	17	x	26,221	x
	構成比	100.0	9.7	1.2	8.4	0.0	0.1	x	89.7	x
稲	面積	13,671	345	109	230	-	6	x	13,306	x
	構成比	100.0	2.5	0.8	1.7	-	0.0	x	97.3	x
麦類	面積	124	21	x	17	x	-	103	67	-
	構成比	100.0	16.9	x	13.7	x	-	83.1	54.0	-
雑穀	面積	293	50	-	50	-	-	244	198	-
	構成比	100.0	17.1	-	17.1	-	-	83.3	67.6	-
いも類	面積	3,338	392	102	289	x	x	2,947	2,945	-
	構成比	100.0	11.7	3.1	8.7	x	x	88.3	88.2	-
豆類	面積	225	123	82	40	-	-	103	103	-
	構成比	100.0	54.7	36.4	17.8	-	-	45.8	45.8	-
工芸 農作物	面積	3,032	476	18	455	-	2	x	2,553	x
	構成比	100.0	15.7	0.6	15.0	-	0.1	x	84.2	x
野菜類	面積	7,604	1,128	31	1,090	x	x	x	6,441	x
	構成比	100.0	14.8	0.4	14.3	x	x	x	84.7	x
花き類 ・花木	面積	446	68	-	68	-	-	x	366	x
	構成比	100.0	15.2	-	15.2	-	-	x	82.1	x
その他 の作物	面積	493	236	x	210	5	x	257	241	-
	構成比	100.0	47.9	x	42.6	1.0	x	52.1	48.9	-

## (3) 地域分類別にみた農作物の類別作付（栽培）面積

地域分類別に農作物の作付（栽培）面積をみると、児湯地域が 731,223 a（全体に占める割合 25.0%）で最も面積が大きく、次いで中部地域が 634,567 a（同 21.7%）、西諸県地域が 497,356 a（同 17.0%）などとなっている。

このうち、稲の作付面積をみると、中部地域が 303,407 a（同 22.2%）で最も面積が大きく、次いで児湯地域が 291,055 a（同 21.3%）、西諸県地域が 212,002 a（同 15.5%）などとなっている。

工芸農作物をみると、中部地域が 93,520 a（同 30.8%）で最も面積が大きく、次いで児湯地域が 87,069 a（同 28.7%）、北諸県地域が 38,119 a（同 12.6%）などとなっており、中部地域と児湯地域の2地域で5割を超えている。

表 21 地域分類別にみた農作物の類別作付（栽培）面積 (単位：a、%)

	計		稲		麦類		雑穀		いも類	
	面積	割合	面積	割合	面積	割合	面積	割合	面積	割合
宮崎県計	2,922,651	100.0	1,367,070	100.0	12,395	100.0	29,327	100.0	333,827	100.0
中部地域	634,567	21.7	303,407	22.2	x	x	x	x	25,269	7.6
南那珂地域	268,782	9.2	145,527	10.6	x	x	1,056	3.6	x	x
北諸県地域	492,303	16.8	195,588	14.3	x	x	5,097	17.4	x	x
西諸県地域	497,356	17.0	212,002	15.5	5,883	47.5	x	x	x	x
児湯地域	731,223	25.0	291,055	21.3	2,569	20.7	x	x	101,420	30.4
東臼杵地域	195,107	6.7	150,118	11.0	1,586	12.8	1,018	3.5	x	x
西臼杵地域	103,314	3.5	69,373	5.1	x	x	520	1.8	x	x

(つづき)

	豆類		工芸農作物		野菜類		花き類・花木		その他の作物	
	面積	割合	面積	割合	面積	割合	面積	割合	面積	割合
宮崎県計	22,546	100.0	303,218	100.0	760,378	100.0	44,575	100.0	49,316	100.0
中部地域	1,861	8.3	93,520	30.8	188,561	24.8	x	x	8,812	17.9
南那珂地域	x	x	19,012	6.3	20,450	2.7	x	x	5,218	10.6
北諸県地域	x	x	38,119	12.6	125,830	16.5	x	x	2,619	5.3
西諸県地域	4,590	20.4	36,786	12.1	197,858	26.0	5,883	13.2	3,367	6.8
児湯地域	1,988	8.8	87,069	28.7	x	x	8,081	18.1	26,880	54.5
東臼杵地域	1,197	5.3	8,441	2.8	16,264	2.1	x	x	2,099	4.3
西臼杵地域	x	x	20,271	6.7	x	x	3,007	6.7	320	0.6

10 家畜の飼養経営体数と飼養頭羽数

～肉用牛と採卵鶏の飼養頭羽数が増加～

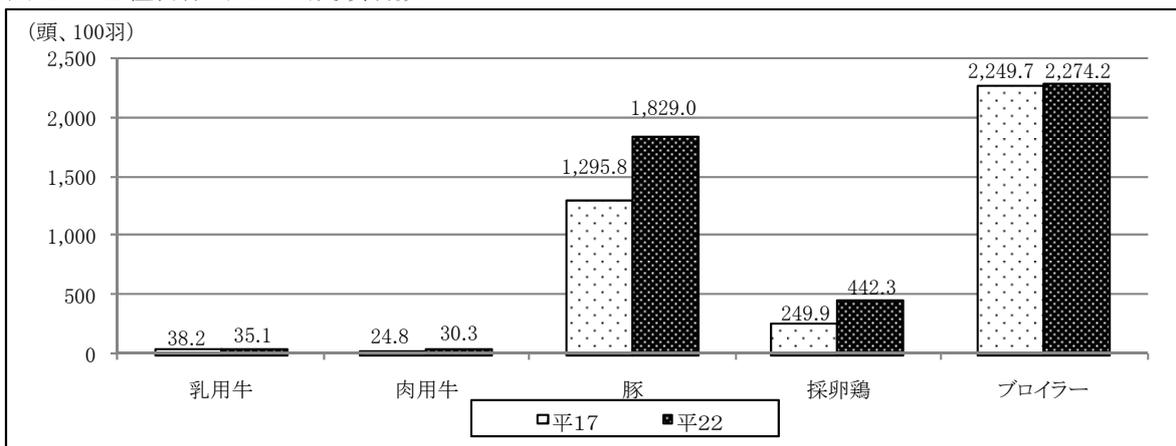
農業経営体のうち、販売目的で家畜を飼養している経営体数は、乳用牛が 498 経営体(前回に比べ 4.8%減)、肉用牛が 8,681 経営体 (同 17.9%減)、豚が 377 経営体 (同 30.1%減)、採卵鶏が 112 経営体 (同 38.1%減)、ブロイラーを出荷した経営体数が 401 経営体 (同 2.4%減) とそれぞれ減少した。

飼養頭羽数は、乳用牛が 17,498 頭 (同 12.5%減)、肉用牛が 262,950 頭 (同 0.4%増)、豚が 689,540 頭 (同 1.3%減)、採卵鶏が 4,953,400 羽 (同 9.5%増) となっている。ブロイラーの出荷羽数は、91,195,500 羽 (同 1.4%減) となった。

表 22 家畜の飼養経営体数と飼養頭羽数 (単位：経営体、頭、100羽、%)

	乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		ブロイラー		
	飼養経営体数	飼養頭数	飼養経営体数	飼養頭数	飼養経営体数	飼養頭数	飼養経営体数	飼養羽数	出荷した経営体数	出荷羽数	
実数	平17	523	19,988	10,575	261,992	539	698,423	181	45,236	411	924,633
	平22	498	17,498	8,681	262,950	377	689,540	112	49,534	401	911,955
増減数	△ 25	△ 2,490	△ 1,894	958	△ 162	△ 8,883	△ 69	4,298	△ 10	△ 12,678	
増減率	△ 4.8	△ 12.5	△ 17.9	0.4	△ 30.1	△ 1.3	△ 38.1	9.5	△ 2.4	△ 1.4	
1経営体当たり飼養頭羽数	平17	38.2		24.8		1,295.8		249.9		2,249.7	
	平22	35.1		30.3		1,829.0		442.3		2,274.2	
増減数	△ 3.1		5.5		533.2		192.4		24.5		

図 18 1 経営体当たり飼養頭羽数



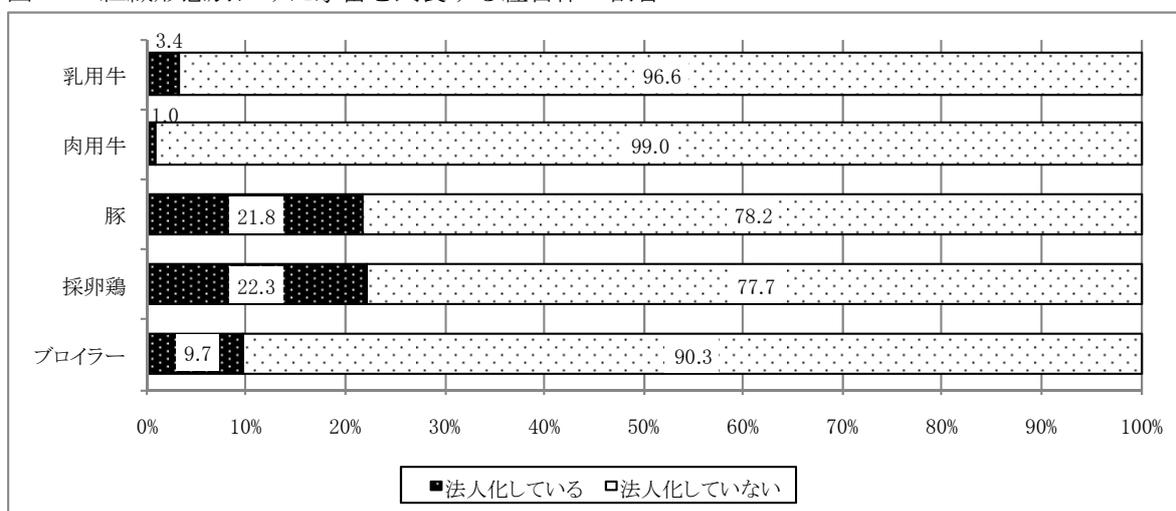
(1) 組織形態別にみた家畜の飼養経営体数

家畜の飼養経営体数を組織形態別にみると、豚及び採卵鶏は法人化している経営体の割合が2割を超えている。

表 23 組織形態別にみた家畜の飼養経営体数 (単位: 経営体、%)

		計	法人化している				法人化していない		地方公 共団体 ・財産区	
			農事組合 法人	会社	各種 団体	その他の 法人	個人 経営体			
乳用牛	実数	498	17	2	14	-	1	481	481	-
	構成比	100.0	3.4	0.4	2.8	-	0.2	96.6	96.6	-
肉用牛	実数	8,681	90	8	63	14	5	8,591	8,588	-
	構成比	100.0	1.0	0.1	0.7	0.2	0.1	99.0	98.9	-
豚	実数	377	82	4	75	2	1	295	294	-
	構成比	100.0	21.8	1.1	19.9	0.5	0.3	78.2	78.0	-
採卵鶏	実数	112	25	1	23	1	-	87	85	-
	構成比	100.0	22.3	0.9	20.5	0.9	-	77.7	75.9	-
ブロイラー	実数	401	39	2	37	-	-	362	361	-
	構成比	100.0	9.7	0.5	9.2	-	-	90.3	90.0	-

図 19 組織形態別にみた家畜を飼養する経営体の割合



(2) 組織形態別にみた家畜の飼養頭羽数

家畜の飼養頭羽数を組織形態別にみると、豚及び採卵鶏は法人化している経営体の全体に占める割合が7割を超えている。前出の家畜の飼養経営体の割合と比較すると、法人化している経営体の占める割合が全体的に高くなっている。

表 24 組織形態別にみた家畜の飼養頭羽数 (単位：頭、羽、%)

	計	法人化している				法人化していない		地方公 共同体 ・財産区		
		農事組合 法人	会社	各種 団体	その他の 法人	個人 経営体				
乳用牛	飼養頭数	17,498	1,792	x	1,508	-	x	15,706	15,706	-
	構成比	100.0	10.2	x	8.6	-	x	89.8	89.8	-
肉用牛	飼養頭数	262,950	66,607	5,962	51,756	7,899	990	196,343	194,836	-
	構成比	100.0	25.3	2.3	19.7	3.0	0.4	74.7	74.1	-
豚	飼養頭数	689,540	539,020	45,220	490,622	x	x	150,520	148,220	-
	構成比	100.0	78.2	6.6	71.2	x	x	21.8	21.5	-
採卵鶏	飼養羽数	4,953,435	3,775,596	x	2,775,596	x	-	1,177,839	1,147,704	-
	構成比	100.0	76.2	x	56.0	x	-	23.8	23.2	-
ブロイラー	出荷羽数	91,195,465	27,588,832	x	x	-	-	63,606,633	63,414,633	-
	構成比	100.0	30.3	x	x	-	-	69.7	69.5	-

11 農業用機械の所有経営体数と所有台数

～トラクターの100経営体当たり普及台数が増加～

農業経営体のうち、動力田植機を所有する経営体数は16,281経営体(前回に比べ14.7%減)、トラクターを所有する経営体数は27,078経営体(同13.6%減)、コンバインを所有する経営体数は10,444経営体(同23.3%減)とそれぞれ減少した。

所有台数は、動力田植機が16,543台(前回に比べ13.9%減)、トラクターが38,254台(同9.0%減)、コンバインが10,698台(同22.5%減)とそれぞれ減少した。

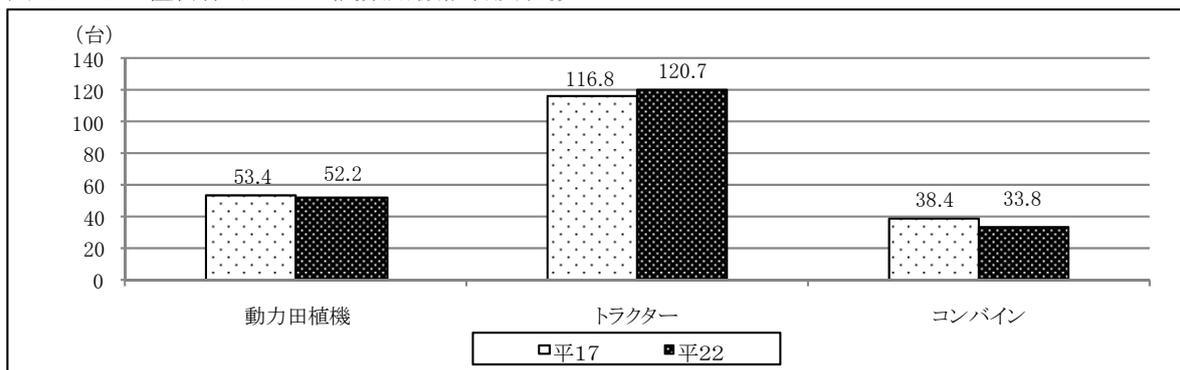
100経営体当たり普及台数は、動力田植機が52.2台(前回に比べ1.2台減)、コンバインが33.8台(同4.6台減)とそれぞれ減少した一方、トラクターが120.7台(同3.9台増)と増加した。

表 25 農業用機械の所有経営体数と所有台数 (単位：経営体、台、%)

		動力田植機		トラクター		コンバイン	
		経営体数	台数	経営体数	台数	経営体数	台数
実数	平17	19,076	19,218	31,323	42,032	13,614	13,802
	平22	16,281	16,543	27,078	38,254	10,444	10,698
増減数		△ 2,795	△ 2,675	△ 4,245	△ 3,778	△ 3,170	△ 3,104
増減率		△ 14.7	△ 13.9	△ 13.6	△ 9.0	△ 23.3	△ 22.5
100経営体当 たり普及台数	平17	53.4		116.8		38.4	
	平22	52.2		120.7		33.8	
増減数		△ 1.2		3.9		△ 4.6	

※100経営体あたりの普及台数に係る経営体数は、平成17年35,989経営体、平成22年31,683経営体(農業経営体)

図 20 100 経営体あたりの農業用機械普及台数



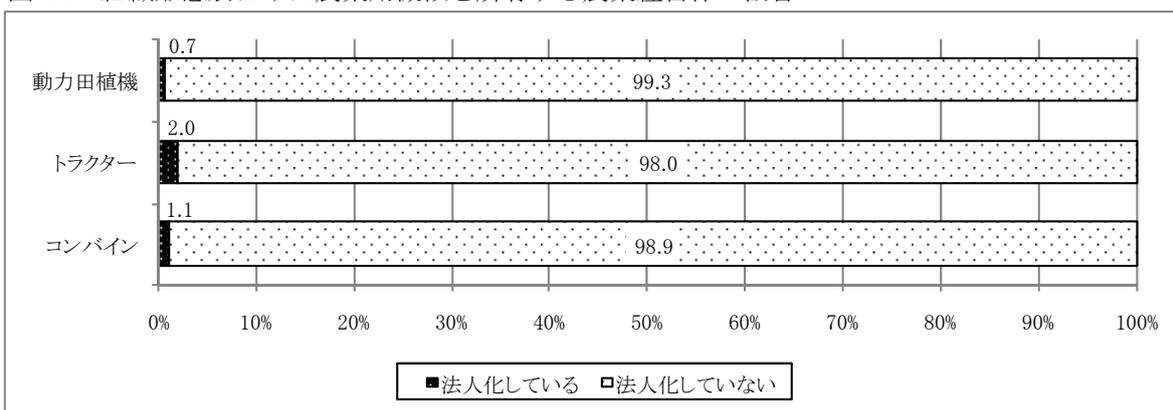
(1) 組織形態別にみた農業用機械の所有台数

農業経営体の農業用機械の所有状況を組織形態別にみると、法人化していない経営体の占める割合が各農業用機械で9割を大きく超える結果となった。

表 26 組織形態別にみた農業用機械の所有台数 (単位：台、%)

		計	法人化している					法人化していない		地方公 共団体 ・財産区
			農事組合 法人	会社	各種 団体	その他の 法人		個人 経営体		
動力田植機	台数	16,543	115	19	87	2	7	16,428	16,350	-
	構成比	100.0	0.7	0.1	0.5	0.0	0.0	99.3	98.8	-
トラクター	台数	38,254	771	58	681	8	24	37,479	37,359	4
	構成比	100.0	2.0	0.2	1.8	0.0	0.1	98.0	97.7	0.0
コンバイン	台数	10,698	117	22	86	2	7	10,578	10,485	3
	構成比	100.0	1.1	0.2	0.8	0.0	0.1	98.9	98.0	0.0

図 21 組織形態別にみた農業用機械を所有する農業経営体の割合



12 環境保全型農業に取り組んでいる経営体数

～農業経営体の半数が環境保全型農業に取り組んでいる～

農業経営体のうち、環境保全型農業に取り組んでいる経営体数は 17,164 経営体となり、農業経営体のうち 54.2%の経営体が環境保全型農業に取り組んでいる結果となった。

このうち、化学肥料低減の取組みを行っている経営体数は 10,362 経営体（環境保全型農業に取り組んでいる経営体に占める割合 60.4%）、農薬低減の取組みを行っている経営体数は 11,329 経営体（同 66.0%）、堆肥による土作りを行っている経営体数は 13,939 経営体（同 81.2%）となった。

表 27 環境保全型農業に取り組んでいる経営体数 (単位：経営体、%)

		経営体数	環境保全型農業に取り組んでいる経営体数	化学肥料の低減		農薬の低減		堆肥による土作り	
				している	していない	している	していない	している	していない
				実数	平17	35,989	19,220	10,453	8,767
	平22	31,683	17,164	10,362	6,802	11,329	5,835	13,939	3,225
増減数		△ 4,306	△ 2,056	△ 91	△ 1,965	△ 2,660	604	△ 577	△ 1,479
増減率		△ 12.0	△ 10.7	△ 0.9	△ 22.4	△ 19.0	11.5	△ 4.0	△ 31.4
構成比	平17	100.0	53.4	54.4	45.6	72.8	27.2	75.5	24.5
	平22	100.0	54.2	60.4	39.6	66.0	34.0	81.2	18.8

※構成比で斜体文字の箇所は、環境保全型農業に取り組んでいる経営体に占める割合を示す。

13 都道府県設定項目

農林業センサスでは、都道府県ごとに集計項目を設定することができ、本県は「農業経営用として使用しているパソコンの所有台数」、「ハウス・ガラス室のうち、耐侯性ハウスの面積」、「ハウス・ガラス室のうち、過去1年間に代替エネルギーにより加温して栽培した施設面積」、「過去1年間に使用したたい肥の使用量」及び「過去1年間に食料用として作付けた「かんしょ」の作付け面積」の5項目を設定した。

このうち、農業経営用パソコンの所有台数は 5,367 台で、4,304 経営体（農業経営体のうち 13.6%）が所有している結果となった。

耐侯性ハウスの面積は 5,505,383 m<sup>2</sup>となり、2,108 経営体（同 6.7%）が耐侯性ハウスを所有している結果となった。

代替エネルギーにより加温した施設面積は 982,424 m<sup>2</sup>となり、387 経営体（同 1.2%）が代替エネルギーにより施設を加温している結果となった。

たい肥の使用量は 729,726 t となり、18,441 経営体（同 58.2%）がたい肥を使用している結果となった。

食料用かんしょの作付面積は 10,872,985 m<sup>2</sup>となり、1,569 経営体（同 5.0%）が食料用かんしょを作付けている結果となった。

表 28 都道府県設定項目 (単位：経営体、台、m<sup>2</sup>、t、%)

	経営体数 総数	農業経営用 パソコンの所有台数		耐侯性ハウス面積		代替エネルギーにより 加温した施設面積		たい肥の使用量		食料用かんしょ の作付面積	
		経営体数	台数	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	使用量	経営体数	面積
実数	31,683	4,304	5,367	2,108	5,505,383	387	982,424	18,441	729,726	1,569	10,872,985
割合	100.0	13.6	-	6.7	-	1.2	-	58.2	-	5.0	-

### Ⅲ 農業経営体（家族経営）

#### 1 組織形態別経営体数

～農業経営体（家族経営）は31,139経営体（前回は12.1%減少）～

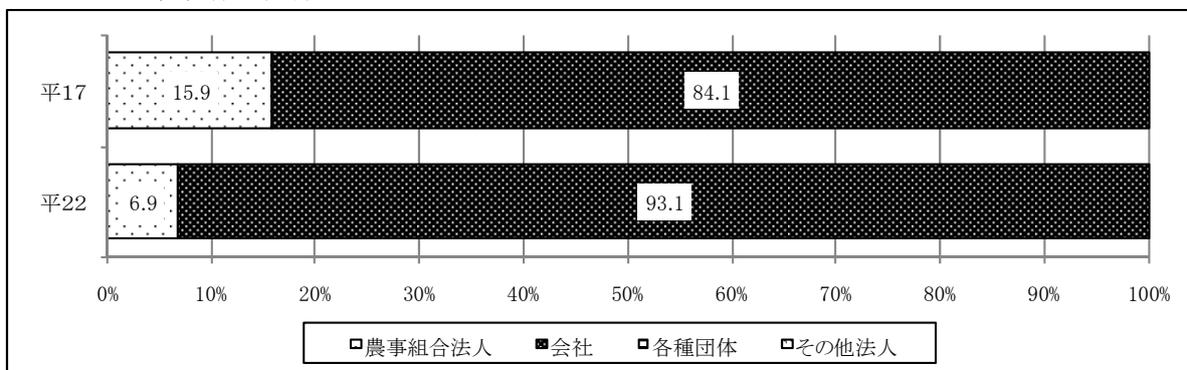
農業経営体のうち、農業経営体（家族経営）は31,139経営体となり、前回は比べ12.1%減少した。

これを組織形態別にみると、法人化している経営体数は145経営体（全体に占める割合0.5%）、法人化していない経営体数は30,994経営体（同99.5%）となった。

表 29 組織形態別経営体数 (単位：経営体、%)

		合計	法人化している					地方公 共団体 ・ 財産区	法人化 して いない	個人 経営体
			計	農事 組合 法人	会社	各種団体	その他 の法人			
実数	平17	35,419	132	21	111	-	-	-	35,287	35,287
	平22	31,139	145	10	135	-	-	-	30,994	30,994
	増減数	△ 4,280	13	△ 11	24	-	-	-	△ 4,293	△ 4,293
	増減率	△ 12.1	9.8	△ 52.4	21.6	-	-	-	△ 12.2	△ 12.2
構成比	平17	100.0	0.4	0.1	0.3	-	-	-	99.6	99.6
	平22	100.0	0.5	0.0	0.4	-	-	-	99.5	99.5

図 22 法人経営体の割合



#### 2 経営耕地面積規模別経営体数

～5ha以上の農業経営体（家族経営）が増加～

農業経営体（家族経営）を経営耕地面積規模別にみると、1.0ha未満層は16,289経営体（全体に占める割合52.3%）で前回は比べ15.7%減、1.0～2.0ha層は8,271経営体（同26.6%）で12.4%減、2.0～3.0ha層は2,928経営体（同9.4%）で8.4%減、3.0～5.0ha層は2,228経営体（同7.2%）で2.1%減とそれぞれ減少した。

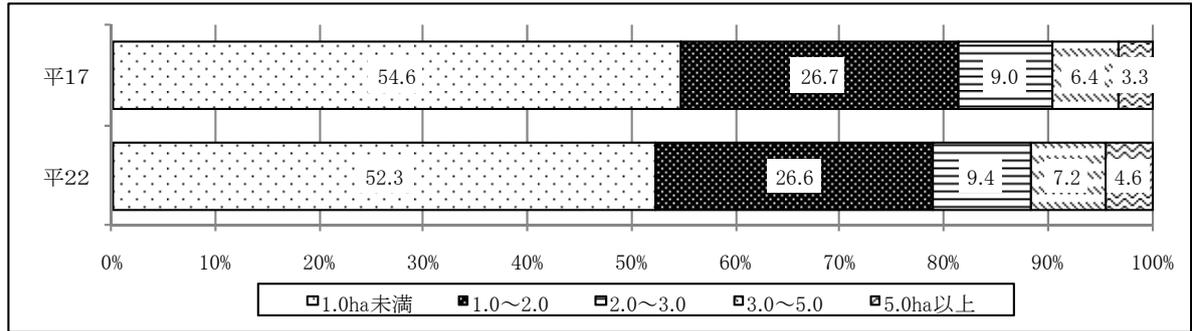
一方、5.0ha以上層は1,423経営体（同4.6%）で前回は比べ20.9%増加した。

表 30 経営耕地面積規模別経営体数

（単位：経営体、％）

		計	1.0ha未満	1.0～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0ha以上
実数	平17	35,419	19,331	9,440	3,195	2,276	1,177
	平22	31,139	16,289	8,271	2,928	2,228	1,423
増減数		△ 4,280	△ 3,042	△ 1,169	△ 267	△ 48	246
増減率		△ 12.1	△ 15.7	△ 12.4	△ 8.4	△ 2.1	20.9
構成比	平17	100.0	54.6	26.7	9.0	6.4	3.3
	平22	100.0	52.3	26.6	9.4	7.2	4.6

図 23 経営耕地面積規模別経営体の割合



(1) 組織形態別にみた経営耕地面積規模別経営体数

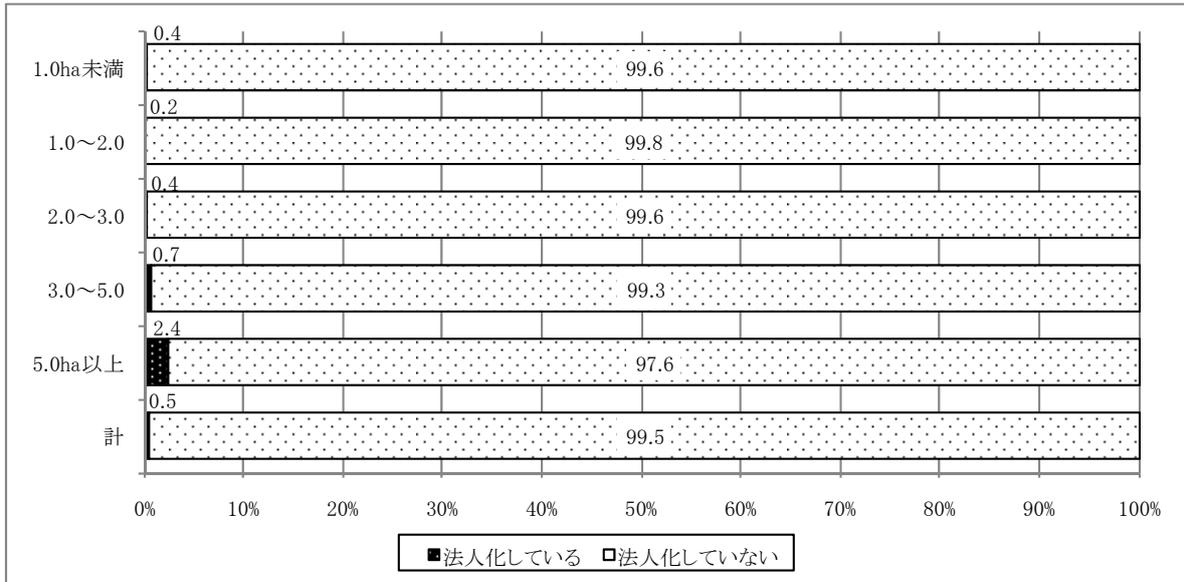
経営耕地面積規模別の経営体数を組織形態別にみると、5 ha 未満の各層では法人化している経営体がそれぞれ全体の1%未満であるが、5 ha 以上の階層では法人化している経営体が2.4%を占め、わずかに高くなっている。

表 31 組織形態別にみた経営耕地面積規模別経営体数

（単位：経営体、％）

	計	法人化している				法人化していない		地方公共団体・財産区		
		農事組合 法人	会社	各種 団体	その他の 法人	個人 経営体				
計	実数	31,139	145	10	135	-	-	30,994	30,994	-
	構成比	100.0	0.5	0.0	0.4	-	-	99.5	99.5	-
1.0ha未満	実数	16,289	66	2	64	-	-	16,223	16,223	-
	構成比	100.0	0.4	0.0	0.4	-	-	99.6	99.6	-
1.0～2.0	実数	8,271	17	3	14	-	-	8,254	8,254	-
	構成比	100.0	0.2	0.0	0.2	-	-	99.8	99.8	-
2.0～3.0	実数	2,928	13	1	12	-	-	2,915	2,915	-
	構成比	100.0	0.4	0.0	0.4	-	-	99.6	99.6	-
3.0～5.0	実数	2,228	15	-	15	-	-	2,213	2,213	-
	構成比	100.0	0.7	-	0.7	-	-	99.3	99.3	-
5.0ha以上	実数	1,423	34	4	30	-	-	1,389	1,389	-
	構成比	100.0	2.4	0.3	2.1	-	-	97.6	97.6	-

図 24 組織形態別にみた経営耕地面積規模別経営体の割合



### 3 農産物販売金額規模別経営体数

～100万円未満の農業経営体（家族経営）が増加～

農業経営体（家族経営）を農産物販売金額規模別にみると、販売なしの階層は3,124経営体（全体に占める割合10.0%）で前回に比べ36.8%減、100～500万円層は8,004経営体（同25.7%）で15.9%減、500～1,000万円層は3,288経営体（同10.6%）で15.4%減、1,000～3,000万円層は3,797経営体（同12.2%）で15.5%減、3,000万円以上層は963経営体（同3.1%）で12.2%減とそれぞれ減少した。

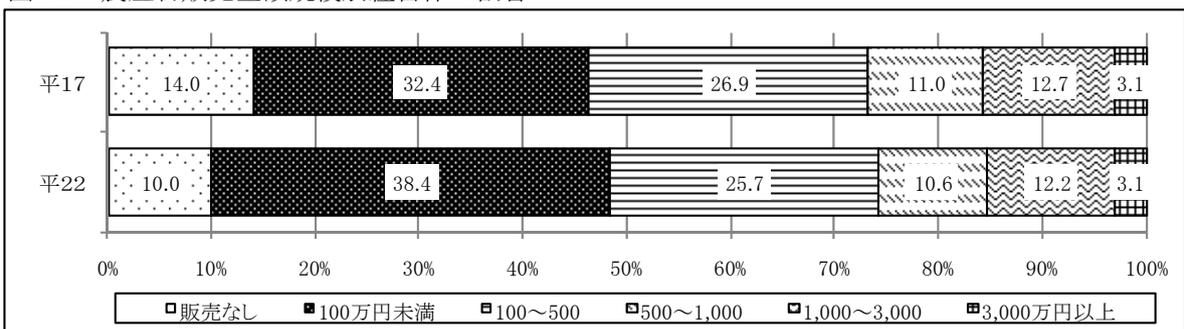
一方、100万円未満層は11,963経営体（同38.4%）で前回に比べ4.2%増加した。

表 32 農産物販売金額規模別経営体数

（単位：経営体、%）

		計	販売なし	100万円未満	100～500	500～1,000	1,000～3,000	3,000万円以上
実数	平17	35,419	4,942	11,481	9,521	3,886	4,492	1,097
	平22	31,139	3,124	11,963	8,004	3,288	3,797	963
増減数		△ 4,280	△ 1,818	482	△ 1,517	△ 598	△ 695	△ 134
増減率		△ 12.1	△ 36.8	4.2	△ 15.9	△ 15.4	△ 15.5	△ 12.2
構成比	平17	100.0	14.0	32.4	26.9	11.0	12.7	3.1
	平22	100.0	10.0	38.4	25.7	10.6	12.2	3.1

図 25 農産物販売金額規模別経営体の割合



(1) 組織形態別にみた農産物販売金額規模別経営体数

農産物販売金額規模別の経営体数を組織形態別にみると、3,000万円未満の各層では法人化している経営体の占める割合がそれぞれ全体の1%未満であるが、3,000万円以上の階層では法人化している経営体の占める割合が9.3%となり、他の階層と比べて高くなっている。

表 33 組織形態別にみた農産物販売金額規模別経営体数 (単位：経営体、%)

	計	法人化している				法人化していない		地方公共団体・財産区		
		農事組合法人	会社	各種団体	その他の法人	個人経営体				
計	実数	31,139	145	10	135	-	-	30,994	30,994	-
	構成比	100.0	0.5	0.0	0.4	-	-	99.5	99.5	-
販売なし	実数	3,124	3	-	3	-	-	3,121	3,121	-
	構成比	100.0	0.1	-	0.1	-	-	99.9	99.9	-
100万円未満	実数	11,963	2	1	1	-	-	11,961	11,961	-
	構成比	100.0	0.0	0.0	0.0	-	-	100.0	100.0	-
100～500	実数	8,004	9	2	7	-	-	7,995	7,995	-
	構成比	100.0	0.1	0.0	0.1	-	-	99.9	99.9	-
500～1,000	実数	3,288	7	-	7	-	-	3,281	3,281	-
	構成比	100.0	0.2	-	0.2	-	-	99.8	99.8	-
1,000～3,000	実数	3,797	34	4	30	-	-	3,763	3,763	-
	構成比	100.0	0.9	0.1	0.8	-	-	99.1	99.1	-
3,000万円以上	実数	963	90	3	87	-	-	873	873	-
	構成比	100.0	9.3	0.3	9.0	-	-	90.7	90.7	-

図 26 組織形態別にみた農産物販売金額規模別経営体の割合

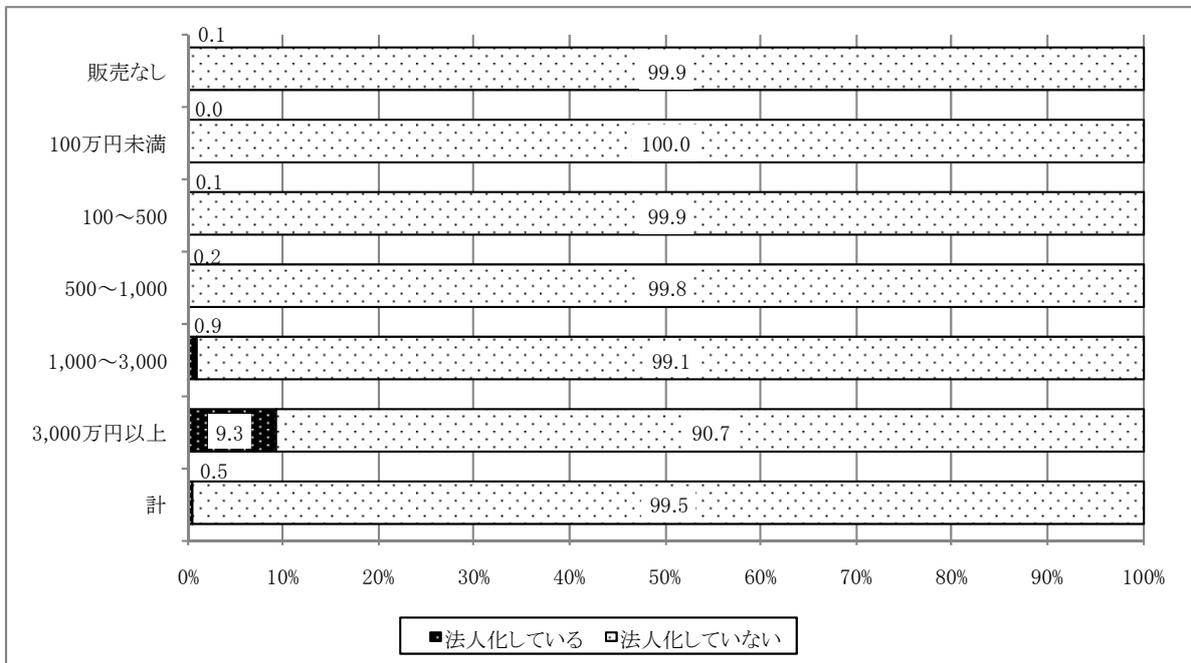
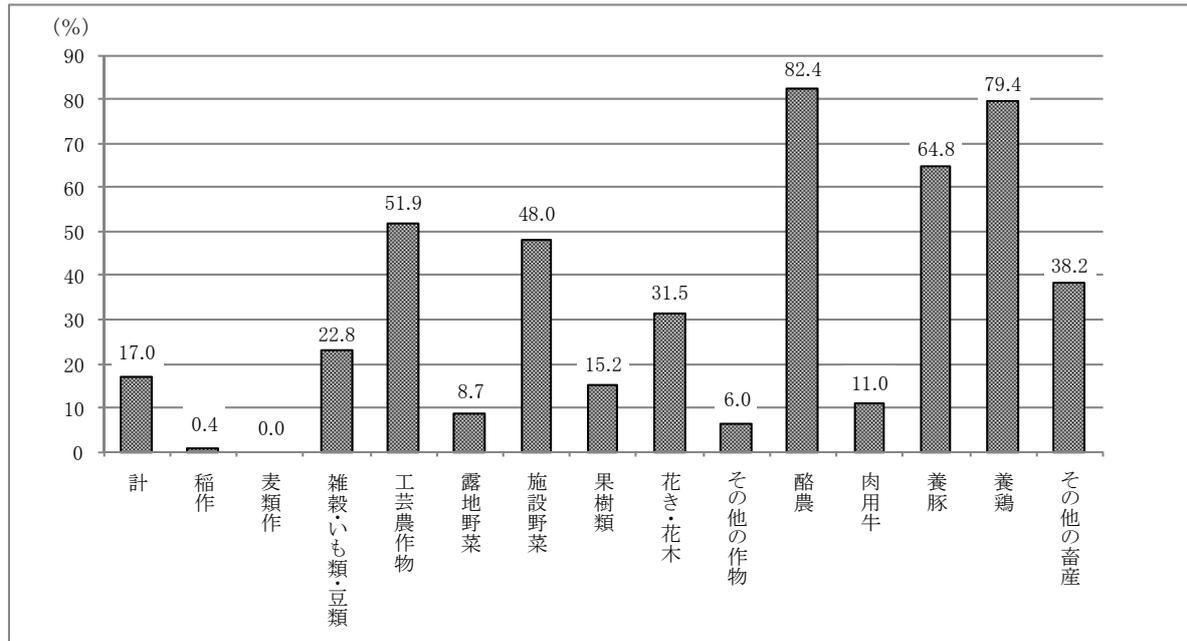


図 27 農産物販売金額 1 位の部門別 1 千万円以上の経営体の割合



#### 4 農業経営組織別経営体数

～農業経営体（家族経営）の 7 割が単一経営～

農業経営体（家族経営）のうち、販売のあった経営体数は 28,015 経営体となり、前回に比べ 8.1%減少した。

これを農業経営組織別にみると、単一経営の経営体数は 19,966 経営体（全体に占める割合 71.3%）で前回に比べ 10.0%減、準単一複合経営の経営体数は 6,154 経営体（同 22.0%）で前回に比べ 6.4%減とそれぞれ減少した。

一方、複合経営の経営体数は 1,895 経営体（同 6.8%）で前回に比べ 10.0%増加した。

表 34 農業経営組織別経営体数

(単位：経営体、%)

		販売のあった経営体	単一経営経営体	準単一 複合経営経営体	複合経営経営体
実数	平17	30,477	22,178	6,576	1,723
	平22	28,015	19,966	6,154	1,895
増減数		△ 2,462	△ 2,212	△ 422	172
増減率		△ 8.1	△ 10.0	△ 6.4	10.0
構成比	平17	100.0	72.8	21.6	5.7
	平22	100.0	71.3	22.0	6.8

図 28 経営組織別経営体の割合

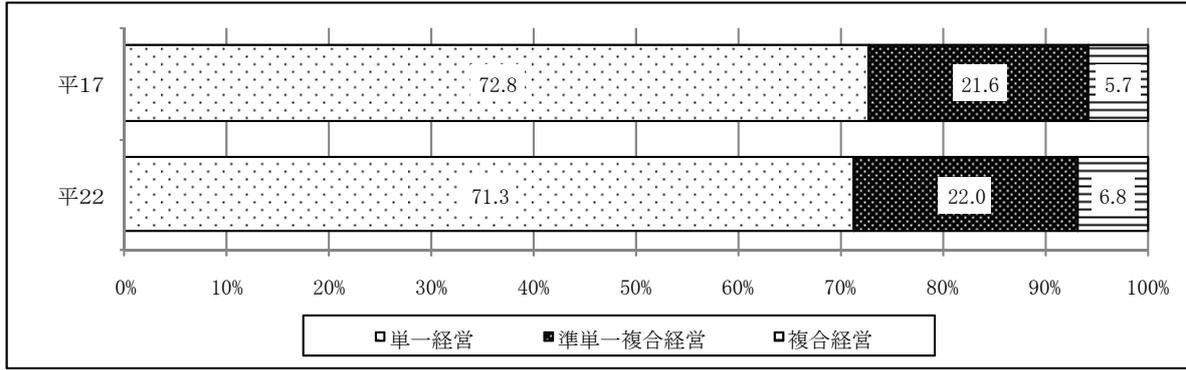


表 35 単一経営経営体の内訳 (単位：経営体、%)

		単一経営経営体(主位部門の農産物販売金額が80%以上の経営体)													
		稲作	雑穀・ いも類 ・豆類	工芸 農作物	露地 野菜	施設 野菜	果樹類	花き ・花木	その他 の作物	酪農	肉用牛	養豚	養鶏	その他 の畜産	
実数	平17	22,178	7,872	536	734	1,290	2,797	1,148	531	380	346	5,707	374	440	23
	平22	19,966	7,830	518	385	1,376	2,323	1,220	431	331	250	4,606	260	410	26
増減数		△ 2,212	△ 42	△ 18	△ 349	86	△ 474	72	△ 100	△ 49	△ 96	△ 1,101	△ 114	△ 30	3
増減率		△ 10.0	△ 0.5	△ 3.4	△ 47.5	6.7	△ 16.9	6.3	△ 18.8	△ 12.9	△ 27.7	△ 19.3	△ 30.5	△ 6.8	13.0
構成比	平17	100.0	35.5	2.4	3.3	5.8	12.6	5.2	2.4	1.7	1.6	25.7	1.7	2.0	0.1
	平22	100.0	39.2	2.6	1.9	6.9	11.6	6.1	2.2	1.7	1.3	23.1	1.3	2.1	0.1

5 経営耕地のある経営体数と経営耕地面積

～経営耕地総面積が 1,740ha 減少～

農業経営体（家族経営）のうち、経営耕地のある経営体数は 30,842 経営体となり、農業経営体全体（31,683 経営体）に占める割合は 97.3%、農業経営体（家族経営）（31,139 経営体）に占める割合は 99.0%となった。

これを耕地種類別にみると、田が 29,083 経営体で前回に比べ 12.9%減、畑が 20,283 経営体で 12.6%減、樹園地が 4,209 経営体で 11.4%減とそれぞれ減少した。

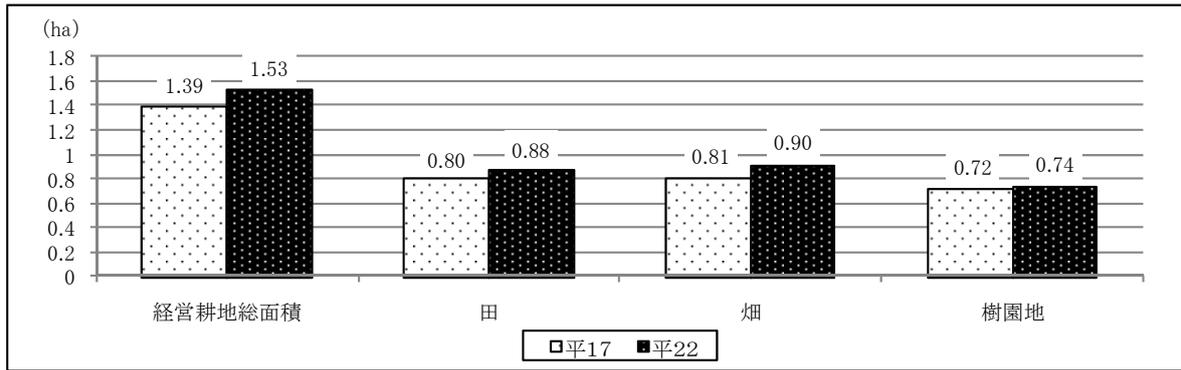
農業経営体（家族経営）の経営耕地面積は 47,119ha で前回に比べ 3.6%減少した。

これを耕地種類別にみると、田が 25,712ha（全体に占める割合 54.6%）で前回に比べ 3.6%減、畑が 18,286ha（同 38.8%）で 2.6%減、樹園地が 3,122ha（同 6.6%）で 8.6%減とそれぞれ減少した。

表 36 経営耕地のある経営体数と経営耕地面積 (単位：経営体、ha、%)

		経営耕地 のある 経営体数	経営耕地 総面積	田		畑		樹園地	
				田のある 経営体数	面積	畑のある 経営体数	面積	樹園地のある 経営体数	面積
実数	平17	35,141	48,859	33,384	26,669	23,216	18,776	4,753	3,414
	平22	30,842	47,119	29,083	25,712	20,283	18,286	4,209	3,122
増減数		△ 4,299	△ 1,740	△ 4,301	△ 957	△ 2,933	△ 490	△ 544	△ 292
増減率		△ 12.2	△ 3.6	△ 12.9	△ 3.6	△ 12.6	△ 2.6	△ 11.4	△ 8.6
構成比	平17	-	100.0	-	54.6	-	38.4	-	7.0
	平22	-	100.0	-	54.6	-	38.8	-	6.6

図 29 1経営体当たり経営耕地面積



(1) 組織形態別にみた経営耕地面積

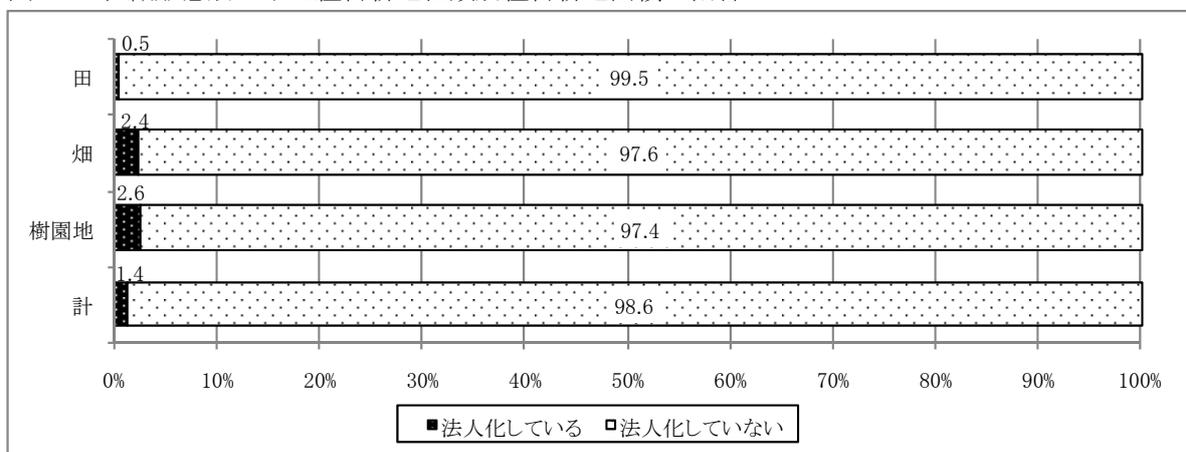
経営耕地種類別の経営耕地面積を組織形態別にみると、法人化している経営体が有する経営耕地面積は643ha（全体に占める割合1.4%）、法人化していない経営体が有する経営耕地面積は46,476ha（同98.6%）となっている。

1経営体当たりの経営耕地面積は、法人化している経営体（145経営体）では4.4ha、法人化していない経営体（30,994経営体）では1.5haとなった。

表 37 組織形態別にみた経営耕地面積 (単位: ha、%)

		計	法人化している				法人化していない		地方公共団体・財産区	
			農事組合法人	会社	各種団体	その他の法人	個人経営体			
計	面積	47,119	643	42	601	-	-	46,476	46,476	-
	構成比	100.0	1.4	0.1	1.3	-	-	98.6	98.6	-
田	面積	25,712	130	8	122	-	-	25,582	25,582	-
	構成比	100.0	0.5	0.0	0.5	-	-	99.5	99.5	-
畑	面積	18,286	433	27	406	-	-	17,853	17,853	-
	構成比	100.0	2.4	0.1	2.2	-	-	97.6	97.6	-
樹園地	面積	3,122	80	8	72	-	-	3,041	3,041	-
	構成比	100.0	2.6	0.3	2.3	-	-	97.4	97.4	-

図 30 組織形態別にみた経営耕地種類別経営耕地面積の割合



### 6 経営耕地面積規模別面積

～経営耕地面積 2ha 未満層の農業経営体（家族経営）が 4 割～

農業経営体（家族経営）の経営耕地面積を面積規模別に構成比で見ると、1.0ha 未満層が全体に占める割合は 19.3%で前回に比べ 2.7 ポイント減、1.0～2.0ha 層は 24.3%で 2.4 ポイント減、2.0～3.0ha 層は 14.8%で 0.8 ポイント減、30ha 以上層は 0.7%で 0.3 ポイント減とそれぞれ減少した。

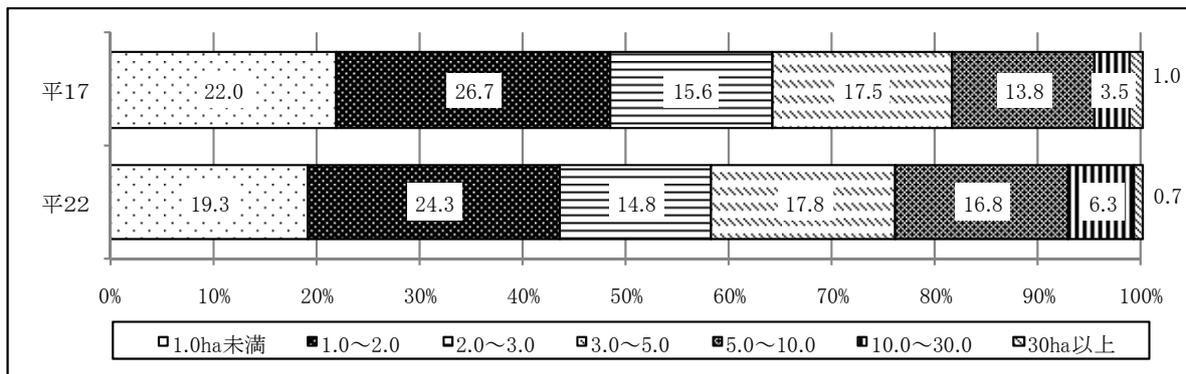
一方、3.0～5.0ha 層は 17.8%で 0.3 ポイント増、5.0～10.0ha 層は 16.8%で 3.0 ポイント増、10.0～30.0ha 層は 6.3%で 2.8 ポイント増とそれぞれ増加した。

表 38 経営耕地面積規模別面積

(単位: ha, %)

		計	1.0ha 未満	1.0～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～30.0	30ha 以上
実数	平17	48,859	10,768	13,024	7,626	8,529	6,758	1,687	467
	平22	47,119	9,089	11,456	6,977	8,400	7,897	2,971	329
増減数		△ 1,740	△ 1,679	△ 1,568	△ 649	△ 129	1,139	1,284	△ 138
増減率		△ 3.6	△ 15.6	△ 12.0	△ 8.5	△ 1.5	16.9	76.1	△ 29.6
構成比	平17	100.0	22.0	26.7	15.6	17.5	13.8	3.5	1.0
	平22	100.0	19.3	24.3	14.8	17.8	16.8	6.3	0.7

図 31 経営耕地面積規模別面積の割合



### 7 借入耕地のある経営体数と借入耕地面積

～農業経営体（家族経営）の借入耕地面積は前回比 13.9%増加～

農業経営体（家族経営）のうち、借入耕地のある経営体数は 12,792 経営体となり、前回に比べ 5.0%減となった。

これを耕地種類別にみると、田が 9,821 経営体で 3.5%減、畑が 6,223 経営体で 4.7%減、樹園地が 353 経営体で 0.6%減とそれぞれ減少した。

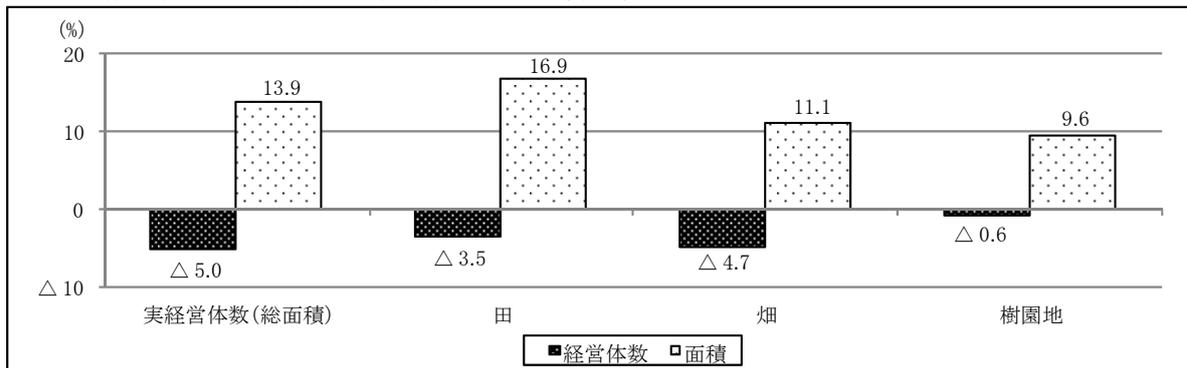
農業経営体（家族経営）の借入耕地総面積は 13,758ha で前回に比べ 13.9%増加した。

これを耕地種類別にみると、田が 6,998ha（全体に占める割合 50.9%）で 16.9%増、畑が 6,532ha（同 47.5%）で 11.1%増、樹園地が 229ha（同 1.7%）で 9.6%増とそれぞれ増加した。

表 39 借入耕地のある経営体数と借入耕地面積 (単位：経営体、ha、%)

	実経営体数	面積	田		畑		樹園地		
			経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	
実数	平17	13,472	12,076	10,180	5,987	6,527	5,880	355	209
	平22	12,792	13,758	9,821	6,998	6,223	6,532	353	229
増減数		△ 680	1,682	△ 359	1,011	△ 304	652	△ 2	20
増減率		△ 5.0	13.9	△ 3.5	16.9	△ 4.7	11.1	△ 0.6	9.6
構成比	平17	-	100.0	-	49.6	-	48.7	-	1.7
	平22	-	100.0	-	50.9	-	47.5	-	1.7

図 32 借入耕地のある経営体数と借入耕地面積の増減率



### 8 耕作放棄地のある経営体数と耕作放棄地面積

～農業経営体（家族経営）の耕作放棄地面積は 10.8%減少～

農業経営体（家族経営）のうち、耕作放棄地のある経営体数は 6,696 経営体となり、前回に比べ 17.3%減少した。

これを耕地種類別にみると、田が 4,563 経営体で 18.3%減、畑が 2,768 経営体で 16.0%減、樹園地が 396 経営体で 11.4%減とそれぞれ減少した。

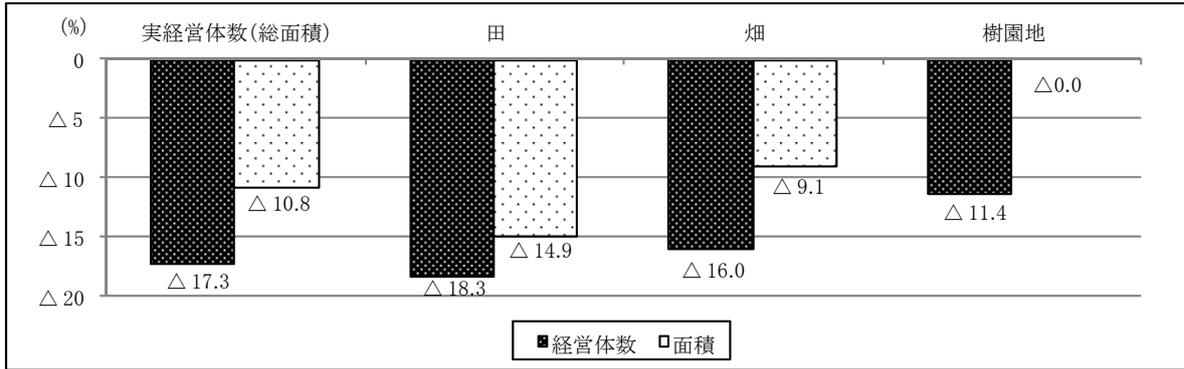
農業経営体（家族経営）の耕作放棄地面積は 1,785ha となり、前回に比べ 10.8%減少した。

これを耕地種類別にみると、田が 803ha（全体に占める割合 45.0%）で 14.9%減、畑が 753ha（同 42.2%）で 9.1%減、樹園地が 230ha（同 12.9%）で 0.0%減とそれぞれ減少した。

表 40 耕作放棄地のある経営体数と耕作放棄地面積 (単位：経営体、ha、%)

	実経営体数	面積	田		畑		樹園地		
			経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	
実数	平17	8,092	2,002	5,587	944	3,294	828	447	230
	平22	6,696	1,785	4,563	803	2,768	753	396	230
増減数		△ 1,396	△ 217	△ 1,024	△ 141	△ 526	△ 75	△ 51	△ 0
増減率		△ 17.3	△ 10.8	△ 18.3	△ 14.9	△ 16.0	△ 9.1	△ 11.4	△ 0.0
構成比	平17	-	100.0	-	47.2	-	41.4	-	11.5
	平22	-	100.0	-	45.0	-	42.2	-	12.9

図 33 耕作放棄地のある経営体数と耕作放棄地面積の増減率



9 農作物の類別作付（栽培）経営体数と作付（栽培）面積

～実経営体数及び面積ともに減少～

農業経営体（家族経営）のうち、農作物を販売目的で作付（栽培）した実経営体数は 24,344 経営体で前回に比べ 9.2%減、作付（栽培）面積は 26,682ha で 4.9%減とそれぞれ減少した。

このうち、作付（栽培）経営体数が多かったのは、稲が 20,600 経営体で前回に比べ 8.1%減、次いで野菜類が 9,876 経営体で 10.6%減、いも類が 2,218 経営体で 19.8%減などとなっている。

作付（栽培）面積が多かったのは、稲が 13,371ha（全体に占める割合 50.1%）で前回に比べ 1.2%減、次いで野菜類が 6,563ha（同 24.6%）で 6.1%減、いも類が 3,005ha（同 11.3%）で 28.5%増などとなっている。

表 41 農作物の類別作付（栽培）経営体数と作付（栽培）面積（単位：経営体、ha、%）

	作付 (栽培) 実経営体数	作付 (栽培) 面積	稲		麦類		雑穀		いも類		
			経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	
実数	平17	26,809	28,044	22,425	13,529	114	31	367	138	2,765	2,339
	平22	24,344	26,682	20,600	13,371	203	68	515	201	2,218	3,005
	増減数	△ 2,465	△ 1,362	△ 1,825	△ 158	89	37	148	63	△ 547	666
	増減率	△ 9.2	△ 4.9	△ 8.1	△ 1.2	78.1	119.4	40.3	45.7	△ 19.8	28.5
構成比	平17	-	100.0	-	48.2	-	0.1	-	0.5	-	8.3
	平22	-	100.0	-	50.1	-	0.3	-	0.8	-	11.3

(つづき)

		豆類		工芸農作物		野菜類		花き類・花木		その他の作物	
		経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
実数	平17	911	174	2,048	3,522	11,049	6,993	1,049	461	1,142	858
	平22	584	105	1,486	2,636	9,876	6,563	923	398	378	336
	増減数	△ 327	△ 69	△ 562	△ 886	△ 1,173	△ 430	△ 126	△ 63	△ 764	△ 522
	増減率	△ 35.9	△ 39.7	△ 27.4	△ 25.2	△ 10.6	△ 6.1	△ 12.0	△ 13.7	△ 66.9	△ 60.8
構成比	平17	-	0.6	-	12.6	-	24.9	-	1.6	-	3.1
	平22	-	0.4	-	9.9	-	24.6	-	1.5	-	1.3

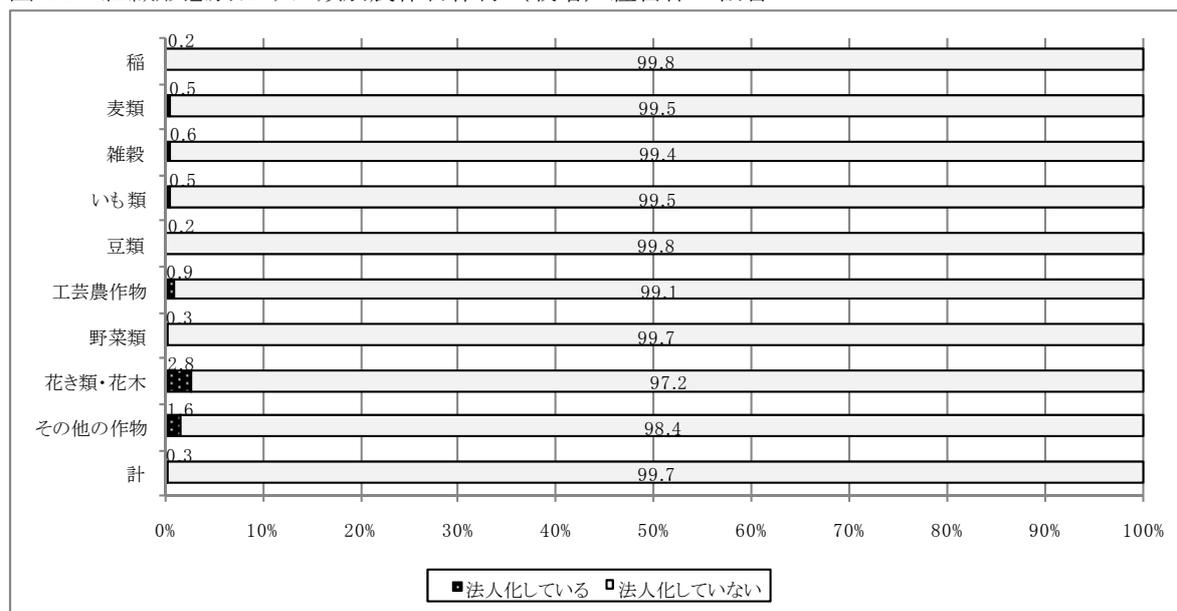
(1) 組織形態別にみた農作物の類別作付（栽培）経営体数

農作物の類別作付（栽培）経営体数を組織形態別にみると、法人化している経営体の農作物作付（栽培）実経営体数は 85 経営体（全体に占める割合 0.3%）、法人化していない経営体の農作物作付（栽培）実経営体数は 24,259 経営体（同 99.7%）となった。

表 42 組織形態別にみた農作物の類別作付（栽培）経営体数 (単位：経営体、%)

		計	法人化している				法人化していない		地方公 共団体 ・財産区	
			農事組合 法人	会社	各種 団体	その他の 法人	個人 経営体			
計	実数	24,344	85	7	78	-	-	24,259	24,259	-
	構成比	100.0	0.3	0.0	0.3	-	-	99.7	99.7	-
稲	実数	20,600	35	3	32	-	-	20,565	20,565	-
	構成比	100.0	0.2	0.0	0.2	-	-	99.8	99.8	-
麦類	実数	203	1	-	1	-	-	202	202	-
	構成比	100.0	0.5	-	0.5	-	-	99.5	99.5	-
雑穀	実数	515	3	-	3	-	-	512	512	-
	構成比	100.0	0.6	-	0.6	-	-	99.4	99.4	-
いも類	実数	2,218	10	2	8	-	-	2,208	2,208	-
	構成比	100.0	0.5	0.1	0.4	-	-	99.5	99.5	-
豆類	実数	584	1	-	1	-	-	583	583	-
	構成比	100.0	0.2	-	0.2	-	-	99.8	99.8	-
工芸 農作物	実数	1,486	13	1	12	-	-	1,473	1,473	-
	構成比	100.0	0.9	0.1	0.8	-	-	99.1	99.1	-
野菜類	実数	9,876	31	4	27	-	-	9,845	9,845	-
	構成比	100.0	0.3	0.0	0.3	-	-	99.7	99.7	-
花き類 ・花木	実数	923	26	-	26	-	-	897	897	-
	構成比	100.0	2.8	-	2.8	-	-	97.2	97.2	-
その他 の作物	実数	378	6	-	6	-	-	372	372	-
	構成比	100.0	1.6	-	1.6	-	-	98.4	98.4	-

図 34 組織形態別にみた類別農作物作付（栽培）経営体の割合



(2) 組織形態別にみた農作物の類別作付（栽培）面積

農作物の類別作付（栽培）面積を組織形態別にみると、法人化している経営体の農作物作付（栽培）面積は461ha（全体に占める割合1.7%）、法人化していない経営体の農作物作付（栽培）面積は26,221ha（同98.3%）となった。

表 43 組織形態別にみた農作物の類別作付（栽培）面積（単位：ha、%）

		計	法人化している				法人化していない		地方公 共団体 ・財産区	
			農事組合 法人	会社	各種 団体	その他の 法人	個人 経営体			
計	実数	26,682	461	20	441	-	-	26,221	26,221	-
	構成比	100.0	1.7	0.1	1.7	-	-	98.3	98.3	-
稲	実数	13,371	65	2	63	-	-	13,306	13,306	-
	構成比	100.0	0.5	0.0	0.5	-	-	99.5	99.5	-
麦類	実数	68	x	-	x	-	-	x	x	-
	構成比	100.0	x	-	x	-	-	x	x	-
雑穀	実数	201	3	-	3	-	-	198	198	-
	構成比	100.0	1.5	-	1.5	-	-	98.5	98.5	-
いも類	実数	3,005	60	x	x	-	-	2,945	2,945	-
	構成比	100.0	2.0	x	x	-	-	98.0	98.0	-
豆類	実数	105	x	-	x	-	-	x	x	-
	構成比	100.0	x	-	x	-	-	x	x	-
工芸 農作物	実数	2,636	83	x	x	-	-	2,553	2,553	-
	構成比	100.0	3.1	x	x	-	-	96.9	96.9	-
野菜類	実数	6,563	122	6	116	-	-	6,441	6,441	-
	構成比	100.0	1.9	0.1	1.8	-	-	98.1	98.1	-
花き類 ・花木	実数	398	31	-	31	-	-	366	366	-
	構成比	100.0	7.8	-	7.8	-	-	92.0	92.0	-
その他 の作物	実数	336	94	-	94	-	-	241	241	-
	構成比	100.0	28.0	-	28.0	-	-	71.7	71.7	-

(3) 地域分類別にみた農作物の類別作付（栽培）面積

地域分類別に農作物の類別作付（栽培）面積をみると、児湯地域が6,832ha（全体に占める割合25.6%）、次いで中部地域が6,084ha（同22.8%）となっている。

表 44 地域分類別にみた農作物の類別作付（栽培）面積（単位：ha、%）

	計		稲		麦類		雑穀		いも類	
	面積	割合	面積	割合	面積	割合	面積	割合	面積	割合
宮崎県計	26,682	100.0	13,371	100.0	68	100.0	201	100.0	3,005	100.0
中部地域	6,084	22.8	2,954	22.1	x	x	x	x	x	x
南那珂地域	2,578	9.7	1,416	10.6	x	x	11	5.3	x	x
北諸県地域	3,923	14.7	1,866	14.0	x	x	50	25.0	x	x
西諸県地域	4,330	16.2	2,089	15.6	18	26.3	x	x	x	x
児湯地域	6,832	25.6	2,866	21.4	13	19.5	x	x	x	x
東白杵地域	1,912	7.2	1,488	11.1	16	23.3	9	4.6	x	x
西白杵地域	1,023	3.8	692	5.2	x	x	x	x	x	x

(つづき)

	豆類		工芸農作物		野菜類		花き類・花木		その他の作物	
	面積	割合	面積	割合	面積	割合	面積	割合	面積	割合
宮崎県計	105	100.0	2,636	100.0	6,563	100.0	398	100.0	336	100.0
中部地域	18	17.5	894	33.9	1,789	27.3	x	x	77	22.8
南那珂地域	x	x	177	6.7	187	2.8	x	x	x	x
北諸県地域	x	x	210	8.0	796	12.1	x	x	x	x
西諸県地域	11	10.4	298	11.3	1,599	24.4	50	12.6	x	x
児湯地域	17	16.4	775	29.4	x	x	69	17.2	159	47.5
東白杵地域	12	11.3	81	3.1	156	2.4	123	30.9	x	x
西白杵地域	x	x	202	7.7	x	x	30	7.6	2	0.7

### 10 家畜の飼養経営体数と飼養頭羽数

～ 1 経営体当たりの飼養頭羽数が肉用牛、豚、採卵鶏で増加～

農業経営体（家族経営）のうち、販売目的で家畜を飼養している経営体数は、乳用牛が 490 経営体で前回に比べ 4.5%減、肉用牛が 8,608 経営体で 18.1%減、豚が 317 経営体で 33.5%減、採卵鶏が 91 経営体で 43.1%減、ブロイラーを出荷した経営体数が 378 経営体で 4.5%減とそれぞれ減少した。

飼養頭羽数は、乳用牛が 16,470 頭で前回に比べ 12.2%減、肉用牛が 198,608 頭で 3.9%減、豚が 183,670 頭で 23.7%減、採卵鶏が 1,646,000 羽で 3.8%減、ブロイラーの出荷羽数が 72,364,000 羽で 9.4%減とそれぞれ減少した。

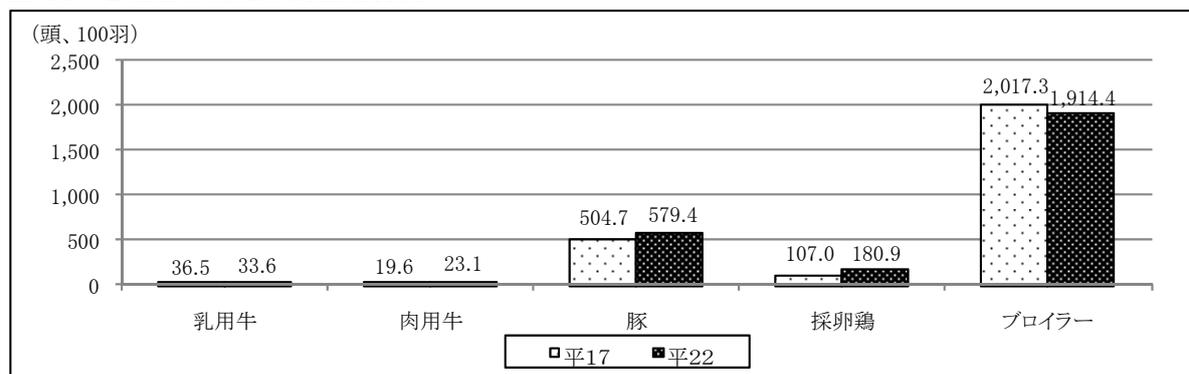
1 経営体当たりの飼養頭羽数は、乳用牛が 33.6 頭で前回に比べ 2.9 頭減、ブロイラーが 191,440 羽で 10,290 羽減とそれぞれ減少した。

一方、肉用牛が 23.1 頭で 3.5 頭増、豚が 579.4 頭で 74.7 頭増、採卵鶏が 18,090 羽で 7,390 羽増とそれぞれ増加した。

表 45 家畜の飼養経営体数と飼養頭羽数 (単位：経営体、頭、100羽、%)

		乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		ブロイラー	
		飼養経営体数	飼養頭数	飼養経営体数	飼養頭数	飼養経営体数	飼養頭数	飼養経営体数	飼養羽数	出荷した経営体数	出荷羽数
実数	平17	513	18,750	10,516	206,636	477	240,759	160	17,119	396	798,868
	平22	490	16,470	8,608	198,608	317	183,670	91	16,460	378	723,640
増減数		△ 23	△ 2,280	△ 1,908	△ 8,028	△ 160	△ 57,089	△ 69	△ 659	△ 18	△ 75,228
増減率		△ 4.5	△ 12.2	△ 18.1	△ 3.9	△ 33.5	△ 23.7	△ 43.1	△ 3.8	△ 4.5	△ 9.4
1経営体当たり飼養頭羽数	平17	36.5		19.6		504.7		107.0		2,017.3	
	平22	33.6		23.1		579.4		180.9		1,914.4	
	増減数	△ 2.9		3.5		74.7		73.9		△ 102.9	

図 35 1 経営体当たり飼養頭羽数



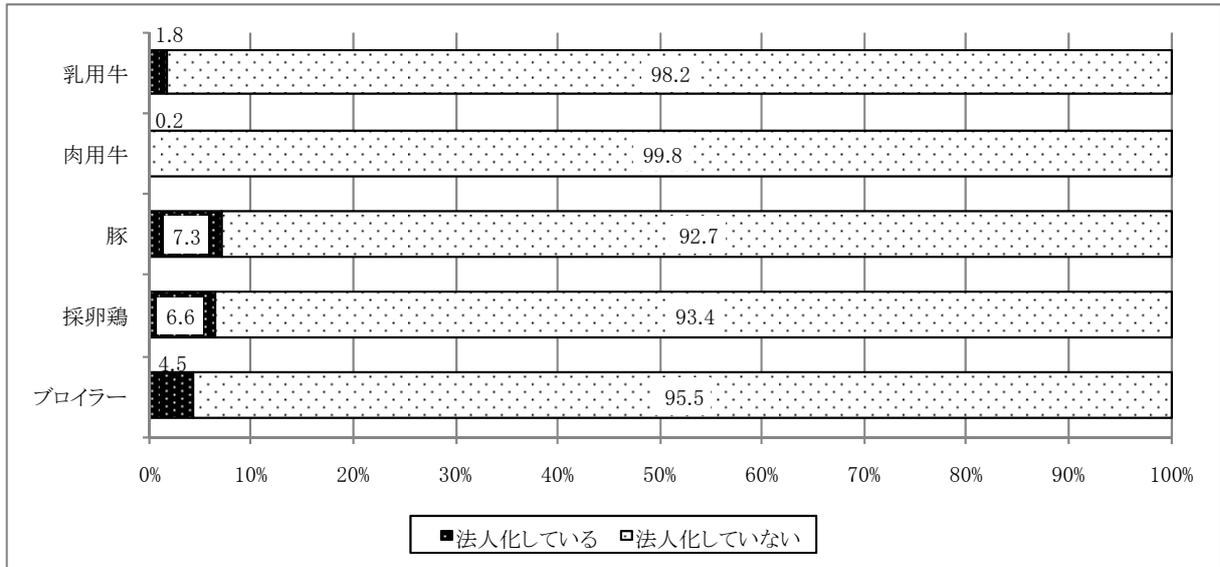
（１） 組織形態別にみた家畜の飼養経営体数

家畜の飼養経営体数を組織形態別にみると、全体的に法人化していない経営体の占める割合が高いが、豚及び採卵鶏においては法人化している経営体の占める割合が5%を超えており、他と比較すると高くなっている。

表 46 組織形態別にみた家畜の飼養経営体数 (単位：経営体、%)

	計	法人化している				法人化していない		地方公共団体・財産区	
		農事組合法人	会社	各種団体	その他の法人	個人経営体			
乳用牛	実数	490	9	2	7	-	481	481	-
	構成比	100.0	1.8	0.4	1.4	-	98.2	98.2	-
肉用牛	実数	8,608	20	1	19	-	8,588	8,588	-
	構成比	100.0	0.2	0.0	0.2	-	99.8	99.8	-
豚	実数	317	23	1	22	-	294	294	-
	構成比	100.0	7.3	0.3	6.9	-	92.7	92.7	-
採卵鶏	実数	91	6	1	5	-	85	85	-
	構成比	100.0	6.6	1.1	5.5	-	93.4	93.4	-
ブロイラー	実数	378	17	1	16	-	361	361	-
	構成比	100.0	4.5	0.3	4.2	-	95.5	95.5	-

図 36 組織形態別にみた家畜を飼養する経営体の割合



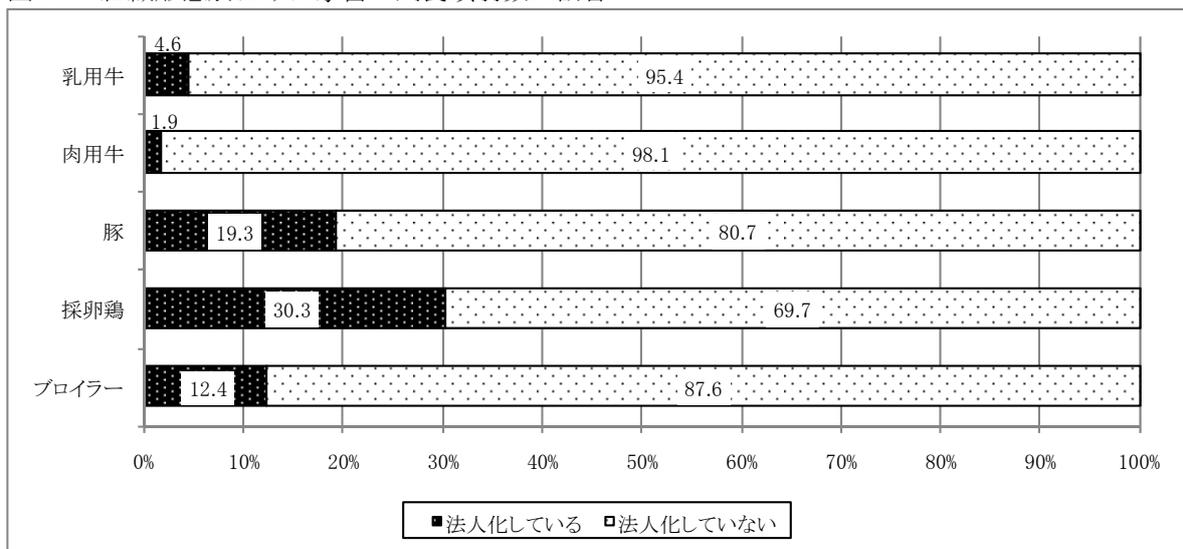
(2) 組織形態別にみた家畜の飼養頭羽数

家畜の飼養頭羽数を組織形態別にみると、法人化している経営体の占める割合が豚で19.3%、採卵鶏で30.3%となり、前出の経営体数の割合と比較すると、法人化している経営体の占める割合が高くなっている。

表 47 組織形態別にみた家畜の飼養頭羽数 (単位: 頭、羽、%)

		計	法人化している				法人化していない		地方公 共団体 ・財産区	
			農事組合 法人	会社	各種 団体	その他の 法人		個人 経営体		
乳用牛	飼養頭数	16,470	764	x	x	-	-	15,706	15,706	-
	構成比	100.0	4.6	x	x	-	-	95.4	95.4	-
肉用牛	飼養頭数	198,608	3,772	x	x	-	-	194,836	194,836	-
	構成比	100.0	1.9	x	x	-	-	98.1	98.1	-
豚	飼養頭数	183,670	35,450	x	x	-	-	148,220	148,220	-
	構成比	100.0	19.3	x	x	-	-	80.7	80.7	-
採卵鶏	飼養羽数	1,646,032	498,328	x	x	-	-	1,147,704	1,147,704	-
	構成比	100.0	30.3	x	x	-	-	69.7	69.7	-
ブロイラー	出荷羽数	72,363,982	8,949,349	x	x	-	-	63,414,633	63,414,633	-
	構成比	100.0	12.4	x	x	-	-	87.6	87.6	-

図 37 組織形態別にみた家畜の飼養頭羽数の割合



11 果樹の栽培経営体数と栽培面積

～その他のかんきつ類を栽培する経営体が増加～

農業経営体（家族経営）のうち、販売目的で果樹栽培を行った経営体数は、2,973経営体で前回に比べ2.7%減、栽培面積は2,107haで1.3%減とそれぞれ減少した。

このうち、栽培経営体数が多かったのは、その他のかんきつ類が1,310経営体で前回に比べ4.7%増、くりが728経営体で10.9%減、温州みかんが703経営体で17.8%減などとなっている。

表 48 果樹の栽培経営体数と栽培面積 (単位：経営体、ha、%)

		栽培実 経営体数	栽培面積 合計	温州みかん	その他の かんきつ類	りんご	ぶどう	なし
実数	平17	3,055	2,135	855	1,251	4	227	90
	平22	2,973	2,107	703	1,310	5	202	72
増減数		△ 82	△ 28	△ 152	59	1	△ 25	△ 18
増減率		△ 2.7	△ 1.3	△ 17.8	4.7	25.0	△ 11.0	△ 20.0

(つづき)

		もも	かき	くり	うめ	すもも	キウイ フルーツ	その他の 果樹
実数	平17	71	197	817	271	…	…	388
	平22	65	202	728	232	41	21	463
増減数		△ 6	5	△ 89	△ 39	-	-	75
増減率		△ 8.5	2.5	△ 10.9	△ 14.4	-	-	19.3

## 12 水稲作作業を委託した経営体数

～防除作業以外は全て減少～

稲を作った農業経営体（家族経営）のうち、水稲作を委託した経営体数は 18,304 経営体で前年に比べ 24.3%減少した。

これを作業別にみると、防除以外は全て減少した。

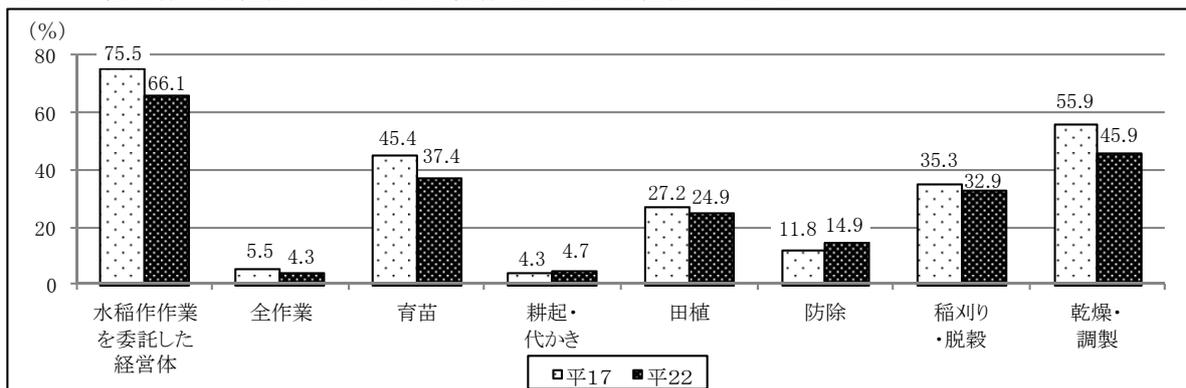
作業別に委託した経営体のうち、稲を作った経営体（27,671 経営体）に対する割合は、育苗が 37.4%、耕起・代かきが 4.7%、田植が 24.9%、防除が 14.9%、稲刈り・脱穀が 32.9%、乾燥・調製が 45.9%となっている。

表 49 水稲作作業を委託した経営体数 (単位：経営体、%)

		水稲作の作業種類別経営体数							
		実経営 体数	全作業	作業別に委託した					
				育苗	耕起・ 代かき	田植	防除	稲刈り ・脱穀	乾燥・ 調製
実数	平17	24,164	1,767	14,536	1,384	8,705	3,789	11,311	17,910
	平22	18,304	1,192	10,350	1,307	6,895	4,125	9,099	12,695
増減数		△ 5,860	△ 575	△ 4,186	△ 77	△ 1,810	336	△ 2,212	△ 5,215
増減率		△ 24.3	△ 32.5	△ 28.8	△ 5.6	△ 20.8	8.9	△ 19.6	△ 29.1
稲を作った経営体 に対する割合	平17	75.5	5.5	45.4	4.3	27.2	11.8	35.3	55.9
	平22	66.1	4.3	37.4	4.7	24.9	14.9	32.9	45.9

※稲を作った経営体数は、平成 17 年が 32,019 経営体、平成 22 年が 27,671 経営体

図 38 稲を作った経営体に対する水稲作を委託した経営体の割合



## IV 総農家等

## 1 総農家、販売農家、自給的農家数

～総農家数は45,804戸（前回は9.7%減少）～

平成22年2月1日現在、本県の総農家数は45,804戸となり、前回に比べ9.7%の減少となった。

販売農家、自給的農家別にみると、販売農家数は30,958戸で前回に比べ12.2%減、自給的農家数は14,846戸で前回に比べ4.2%減とそれぞれ減少した。

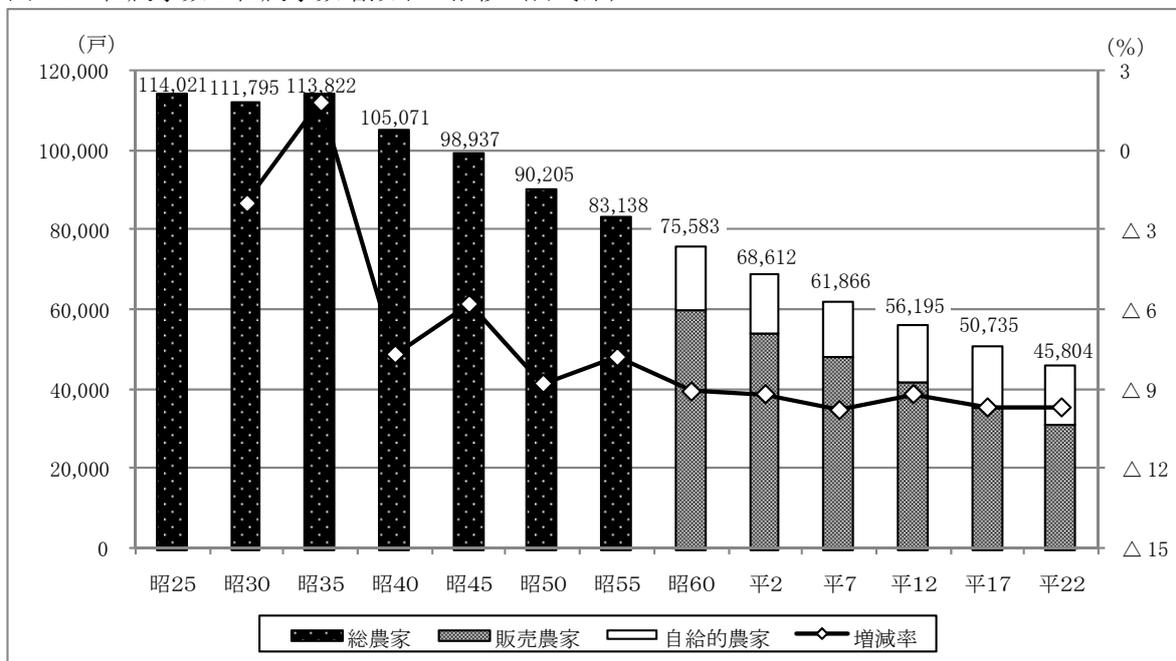
この結果、総農家に占める販売農家の割合は67.6%となり、前回の69.5%から1.9ポイント減少した。

表 50 総農家数

(単位：戸、%)

		宮 崎 県			全 国		
		総農家	販売農家	自給的農家	総農家	販売農家	自給的農家
実数	平17	50,735	35,245	15,490	2,848,166	1,963,424	884,742
	平22	45,804	30,958	14,846	2,527,948	1,631,206	896,742
増減数		△ 4,931	△ 4,287	△ 644	△ 320,218	△ 332,218	12,000
増減率		△ 9.7	△ 12.2	△ 4.2	△ 11.2	△ 16.9	1.4
構成比	平17	100.0	69.5	30.5	100.0	68.9	31.1
	平22	100.0	67.6	32.4	100.0	64.5	35.5

図 39 総農家数と総農家数増減率の推移（宮崎県）



※ 昭和55年以前は旧定義（農家の定義を昭和25年～60年までの間は、経営耕地面積が東日本は10a以上、西日本は5a以上としていた。）による農家数である。

※ 昭和60年は新定義（農家の定義を平成2年から全国一律に経営耕地面積10a以上とした。）による組み替え集計した農家数である。

表 51 農家数と総農家数増減率の推移 (単位：戸、%)

年次	宮 崎 県				全 国			
	総農家	販売農家	自給的農家	総農家数の増減率	総農家	販売農家	自給的農家	総農家数の増減率
昭25	114,021	...	...		6,176,419	...	...	
昭30	111,795	...	...	△ 2.0	6,042,945	...	...	△ 2.2
昭35	113,822	...	...	1.8	6,056,630	...	...	0.2
昭40	105,071	...	...	△ 7.7	5,664,763	...	...	△ 6.5
昭45	98,937	...	...	△ 5.8	5,402,190	...	...	△ 4.6
昭50	90,205	...	...	△ 8.8	4,953,071	...	...	△ 8.3
昭55	83,138	...	...	△ 7.8	4,661,384	...	...	△ 5.9
昭60	75,583	59,963	15,620	△ 9.1	4,228,738	3,314,931	913,807	△ 9.3
平2	68,612	53,809	14,803	△ 9.2	3,834,732	2,790,527	864,205	△ 9.3
平7	61,866	48,054	13,812	△ 9.8	3,443,550	2,651,403	792,147	△ 10.2
平12	56,195	42,006	14,189	△ 9.2	3,120,215	2,336,909	783,306	△ 9.4
平17	50,735	35,245	15,490	△ 9.7	2,848,166	1,963,424	884,742	△ 8.7
平22	45,804	30,958	14,846	△ 9.7	2,527,948	1,631,206	896,742	△ 11.2

2 総農家、販売農家、自給的農家別経営耕地面積

～総農家の経営耕地面積は 49,845ha (前回比 3.6%減少)～

総農家の経営耕地面積は 49,845ha となり、前回に比べ 3.6%の減少となった。

販売農家、自給的農家別にみると、販売農家は 47,092ha で前回に比べ 3.6%減、自給的農家は 2,753ha で前回に比べ 4.4%減とそれぞれ減少した。

表 52 経営耕地面積 (単位：ha、%)

		宮 崎 県			全 国		
		総農家	販売農家	自給的農家	総農家	販売農家	自給的農家
実数	平17	51,709	48,831	2,879	3,608,428	3,446,770	161,659
	平22	49,845	47,092	2,753	3,353,619	3,191,376	162,242
増減数		△ 1,864	△ 1,739	△ 126	△ 254,809	△ 255,394	583
増減率		△ 3.6	△ 3.6	△ 4.4	△ 7.1	△ 7.4	0.4
構成比	平17	100.0	94.4	5.6	100.0	95.5	4.5
	平22	100.0	94.5	5.5	100.0	95.2	4.8

図 40 総農家の経営耕地面積と増減率の推移

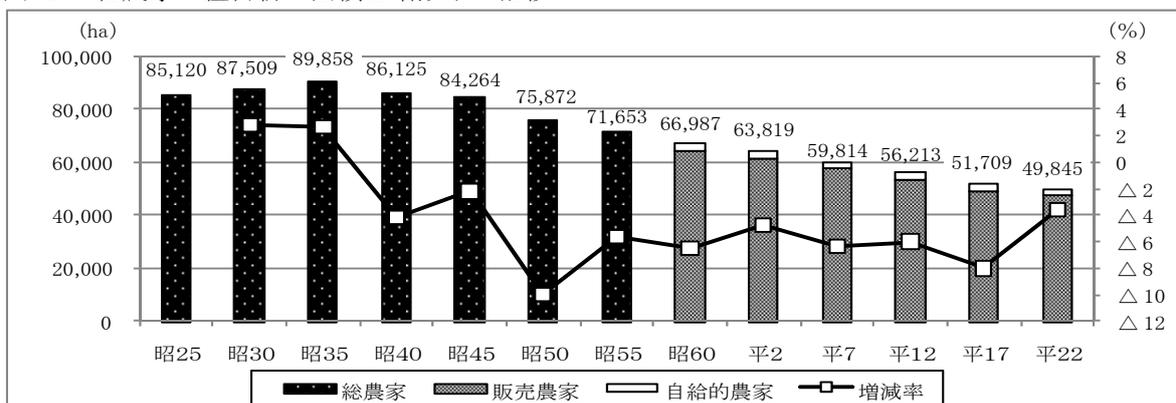


表 53 農家の経営耕地面積と総農家における増減率の推移 (単位: ha, %)

年次	宮 崎 県				全 国			
	総農家	販売農家		総農家における増減率	総農家	販売農家		総農家における増減率
		販売農家	自給的農家			販売農家	自給的農家	
昭25	85,120	...	...	...	5,090,567	...	...	...
昭30	87,509	...	...	2.8	5,183,073	...	...	1.8
昭35	89,858	...	...	2.7	5,323,761	...	...	2.7
昭40	86,125	...	...	△ 4.2	5,133,831	...	...	△ 3.6
昭45	84,264	...	...	△ 2.2	5,156,336	...	...	0.4
昭50	75,872	...	...	△ 10.0	4,782,518	...	...	△ 7.2
昭55	71,653	...	...	△ 5.6	4,705,587	...	...	△ 1.6
昭60	66,987	64,154	2,833	△ 6.5	4,566,859	4,397,770	169,089	△ 2.9
平2	63,819	61,065	2,754	△ 4.7	4,361,168	4,198,732	162,436	△ 4.5
平7	59,814	57,186	2,628	△ 6.3	4,120,279	3,970,051	150,228	△ 5.5
平12	56,213	53,499	2,714	△ 6.0	3,883,943	3,734,288	149,655	△ 5.7
平17	51,709	48,831	2,879	△ 8.0	3,608,428	3,446,770	161,659	△ 7.1
平22	49,845	47,092	2,753	△ 3.6	3,353,619	3,191,376	162,242	△ 7.1

## 3 総農家、販売農家、自給的農家別耕作放棄地面積

～総農家の耕作放棄地面積は2,818ha (前回比5.1%減少)～

総農家の耕作放棄地面積は2,818haとなり、前回に比べ5.1%の減少となった。

販売農家、自給的農家別にみると、販売農家は1,775haで前回に比べ11.0%減少した一方、自給的農家は1,043haで前回に比べ7.1%増加した。

表 54 耕作放棄地面積 (単位: ha, %)

		宮 崎 県			全 国		
		総農家	販売農家		総農家	販売農家	
			販売農家	自給的農家		販売農家	自給的農家
実数	平17	2,969	1,995	974	223,372	144,356	79,016
	平22	2,818	1,775	1,043	214,140	124,119	90,021
増減数		△ 151	△ 220	69	△ 9,232	△ 20,237	11,005
増減率		△ 5.1	△ 11.0	7.1	△ 4.1	△ 14.0	13.9
構成比	平17	100.0	67.2	32.8	100.0	64.6	35.4
	平22	100.0	63.0	37.0	100.0	58.0	42.0

図 41 総農家の耕作放棄地面積と増減率の推移

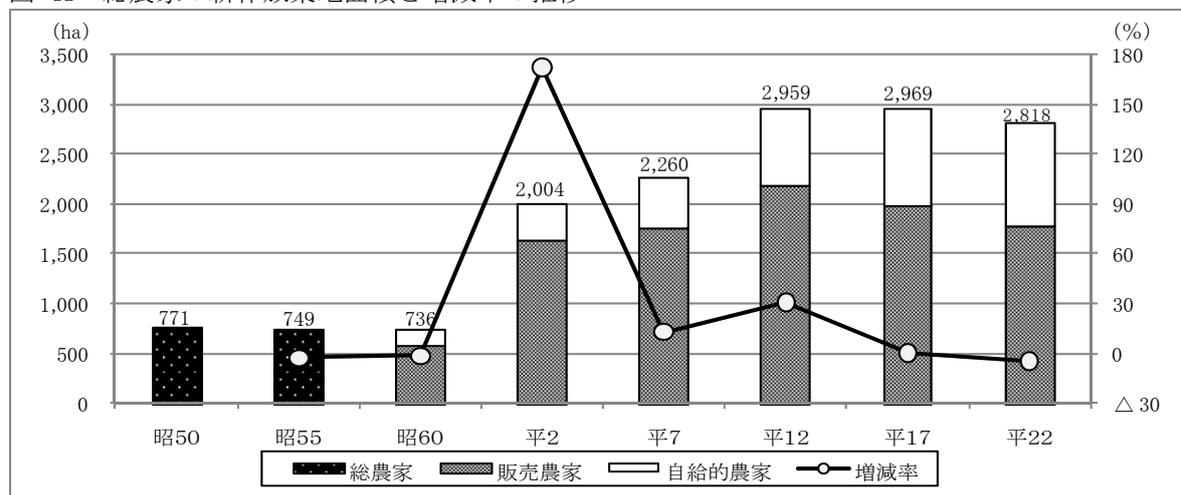


表 55 耕作放棄地面積の推移 (単位：ha、%)

年次	宮 崎 県				全 国			
	総農家	販売農家	自給的農家	総農家における増減率	総農家	販売農家	自給的農家	総農家における増減率
昭50	771	...	...		99,104	...	...	
昭55	749	...	...	△ 2.9	91,746	...	...	△ 7.4
昭60	736	582	154	△ 1.7	92,671	73,420	19,251	1.0
平2	2,004	1,633	371	172.3	150,655	112,618	38,037	62.6
平7	2,260	1,755	505	12.8	161,771	120,358	41,413	7.4
平12	2,959	2,197	762	30.9	210,019	154,358	55,661	29.8
平17	2,969	1,995	974	0.3	223,372	144,356	79,016	6.4
平22	2,818	1,775	1,043	△ 5.1	214,140	124,119	90,021	△ 4.1

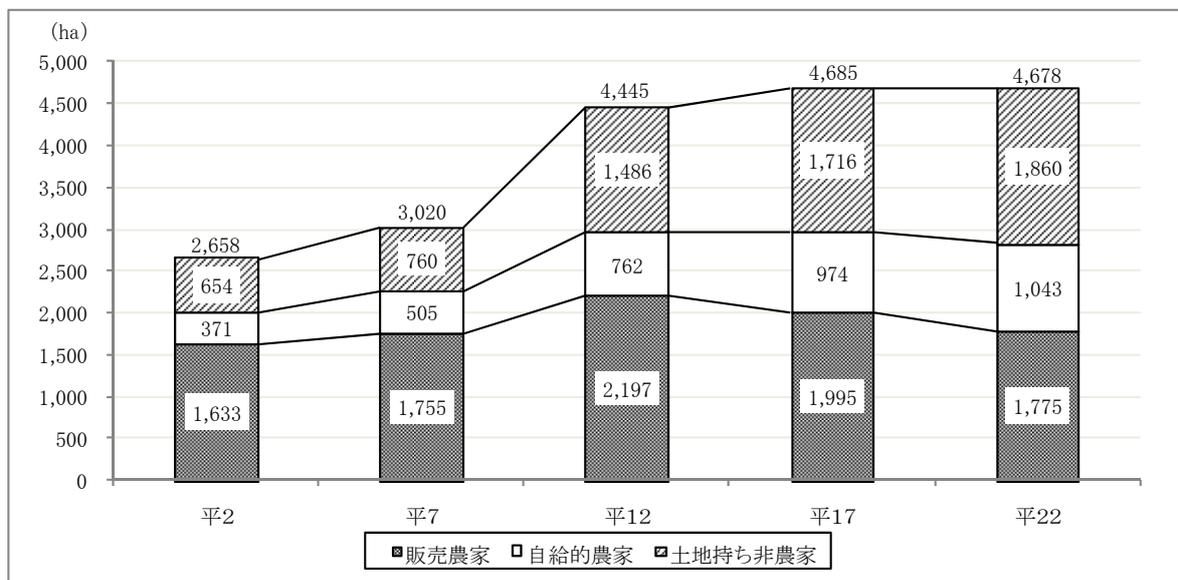
(1) 土地持ち非農家を含む耕作放棄地面積

土地持ち非農家を含む耕作放棄地面積は4,678haとなり、前回に比べ0.1%の減少となった。このうち、土地持ち非農家の耕作放棄地面積は1,860haで前回に比べ8.4%の増加となった。

表 56 土地持ち非農家を含む耕作放棄地面積 (単位：ha、%)

		宮 崎 県					全 国				
		計	総農家	販売農家	自給的農家	土地持ち非農家	計	総農家	販売農家	自給的農家	土地持ち非農家
実数	平17	4,685	2,969	1,995	974	1,716	385,791	223,372	144,356	79,016	162,419
	平22	4,678	2,818	1,775	1,043	1,860	395,981	214,140	124,119	90,021	181,841
増減数		△ 7	△ 151	△ 220	69	144	10,190	△ 9,232	△ 20,237	11,005	19,422
増減率		△ 0.1	△ 5.1	△ 11.0	7.1	8.4	2.6	△ 4.1	△ 14.0	13.9	12.0
構成比	平17	100.0	63.4	42.6	20.8	36.6	100.0	57.9	37.4	20.5	42.1
	平22	100.0	60.2	37.9	22.3	39.8	100.0	54.1	31.3	22.7	45.9

図 42 土地持ち非農家を含む耕作放棄地面積の推移



## V 販売農家

### 1 主副業別農家数

～販売農家は 30,958 戸（前回比 12.2%減少）～

本県の販売農家数は 30,958 戸となり、前回に比べ 12.2%減少した。

これを主副業別にみると、主業農家数は 10,620 戸（全体に占める割合 34.3%）で前回に比べ 15.6%減、準主業農家数は 5,083 戸（同 16.4%）で 5.4%減、副業的農家数は 15,255 戸（同 49.3%）で 11.7%減とそれぞれ減少した。

表 57 主副業別農家数

（単位：戸、%）

		合計	主業農家	65歳未満の農 業専従者がいる	準主業農家	65歳未満の農 業専従者がいる	副業的農家
実数	平17	35,245	12,588	11,781	5,371	2,311	17,286
	平22	30,958	10,620	9,909	5,083	2,273	15,255
増減数		△ 4,287	△ 1,968	△ 1,872	△ 288	△ 38	△ 2,031
増減率		△ 12.2	△ 15.6	△ 15.9	△ 5.4	△ 1.6	△ 11.7
構成比	平17	100.0	35.7	33.4	15.2	6.6	49.0
	平22	100.0	34.3	32.0	16.4	7.3	49.3

図 43 主副業別農家の割合

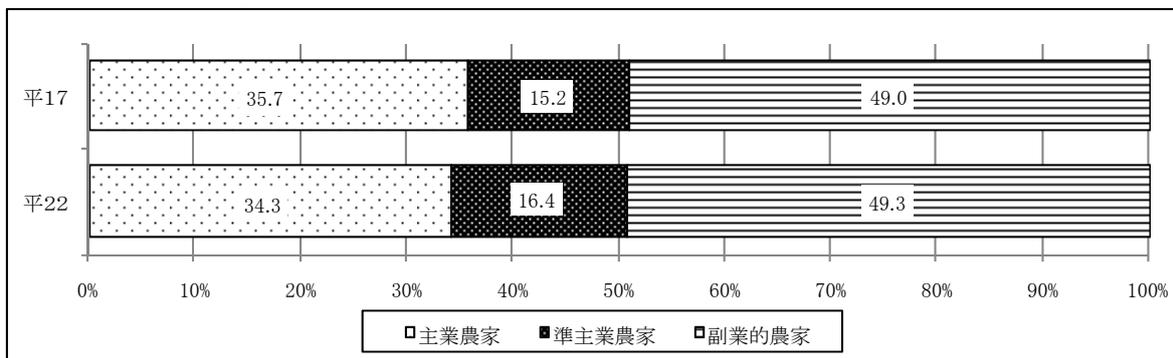
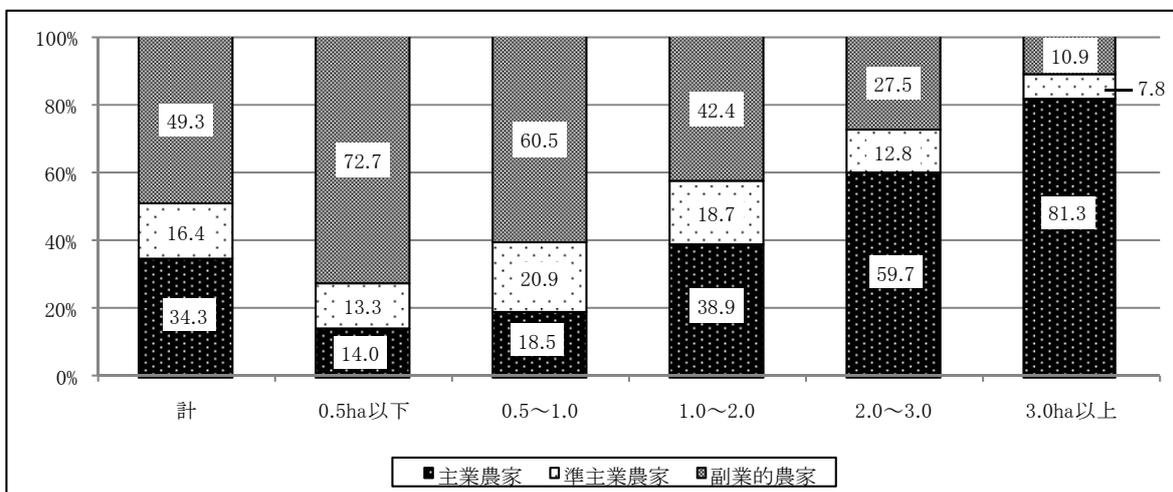


図 44 経営耕地面積規模別にみた主副業別農家の割合



## 2 専兼業別農家数

～専業農家が微増～

販売農家を専兼業別にみると、専業農家は14,759戸（全体に占める割合47.7%）で前回に比べ2.6%増加した。

一方、第1種兼業農家は4,570戸（同14.8%）で29.4%減、第2種兼業農家は11,629戸（同37.6%）で19.2%減とそれぞれ減少した。

表 58 専兼業別農家数

（単位：戸、%）

		合計	専業農家	男子生産	女子生産	兼業農家	第1種兼業農家	第2種兼業農家
				年齢人口	年齢人口			
				がいる	がいる			
実数	平17	35,245	14,378	6,472	6,661	20,867	6,475	14,392
	平22	30,958	14,759	6,317	5,794	16,199	4,570	11,629
増減数		△ 4,287	381	△ 155	△ 867	△ 4,668	△ 1,905	△ 2,763
増減率		△ 12.2	2.6	△ 2.4	△ 13.0	△ 22.4	△ 29.4	△ 19.2
構成比	平17	100.0	40.8	18.4	18.9	59.2	18.4	40.8
	平22	100.0	47.7	20.4	18.7	52.3	14.8	37.6

図 45 専兼業別農家の割合

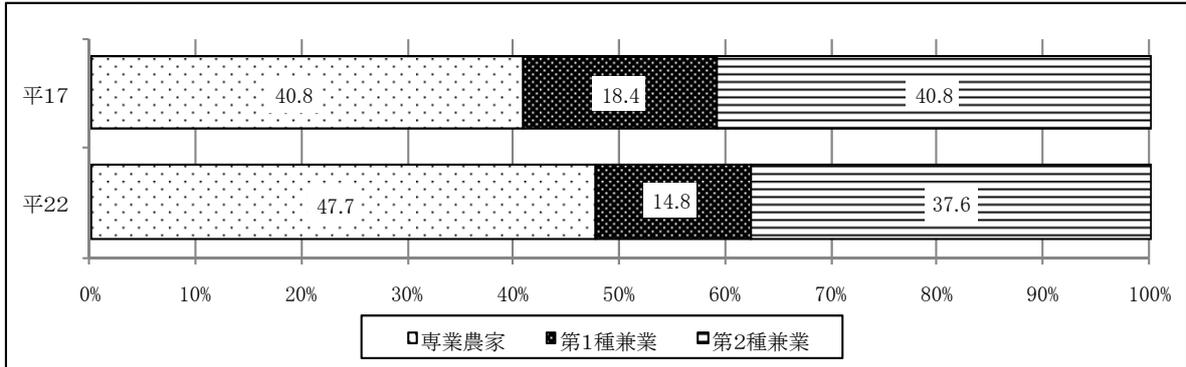
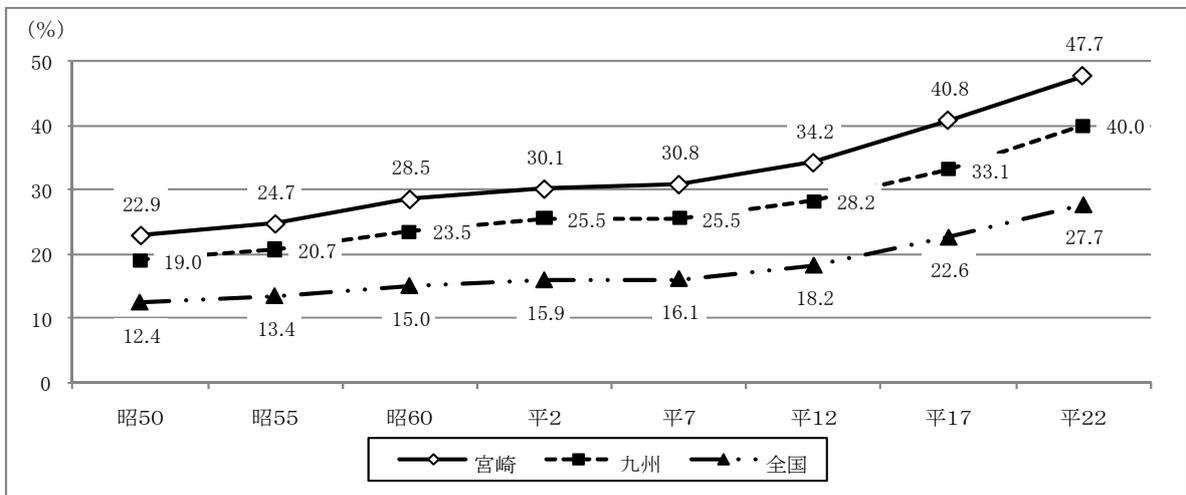


図 46 専業農家率の推移



### 3 経営耕地面積規模別農家数

～5ha以上の販売農家が2割増加～

販売農家を経営耕地面積規模別にみると、1.0ha未満層は16,109戸（全体に占める割合52.0%）で前回に比べ15.9%減、1.0～2.0ha層は8,271戸（同26.7%）で12.4%減、2.0～3.0ha層は2,928戸（同9.5%）で8.3%減、3.0～5.0ha層は2,228戸（同7.2%）で2.1%減とそれぞれ減少した。

一方、5.0ha以上層は1,422ha（同4.6%）で前回に比べ20.7%増加した。

表 59 経営耕地面積規模別農家数

（単位：戸、%）

		計	1.0ha未満	1.0～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0ha以上
実数	平17	35,245	19,159	9,438	3,194	2,276	1,178
	平22	30,958	16,109	8,271	2,928	2,228	1,422
増減数		△ 4,287	△ 3,050	△ 1,167	△ 266	△ 48	244
増減率		△ 12.2	△ 15.9	△ 12.4	△ 8.3	△ 2.1	20.7
構成比	平17	100.0	54.4	26.8	9.1	6.5	3.3
	平22	100.0	52.0	26.7	9.5	7.2	4.6

図 47 総農家に占める経営耕地面積3ha以上の農家数とその割合の推移

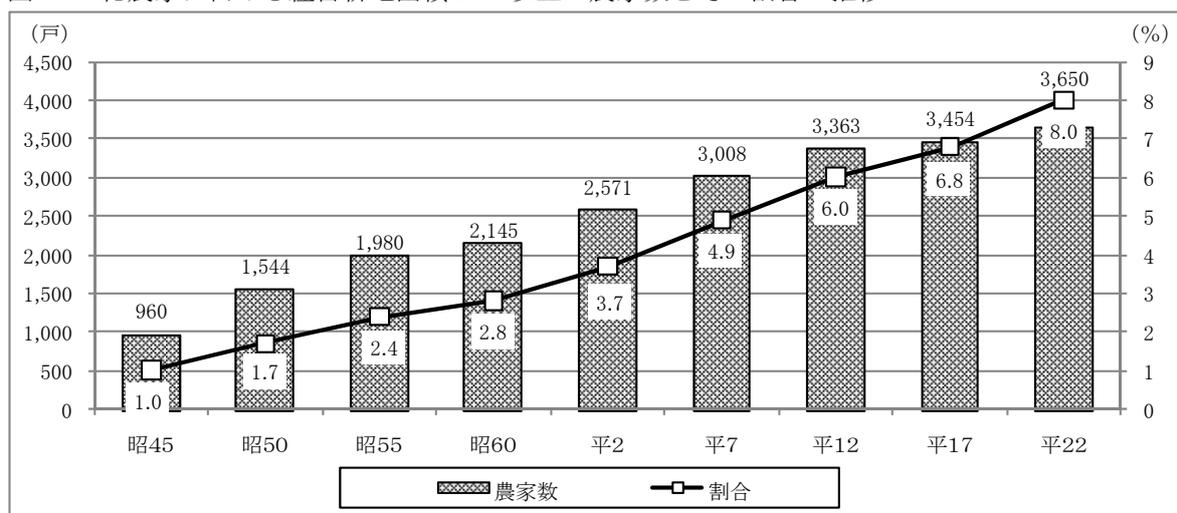
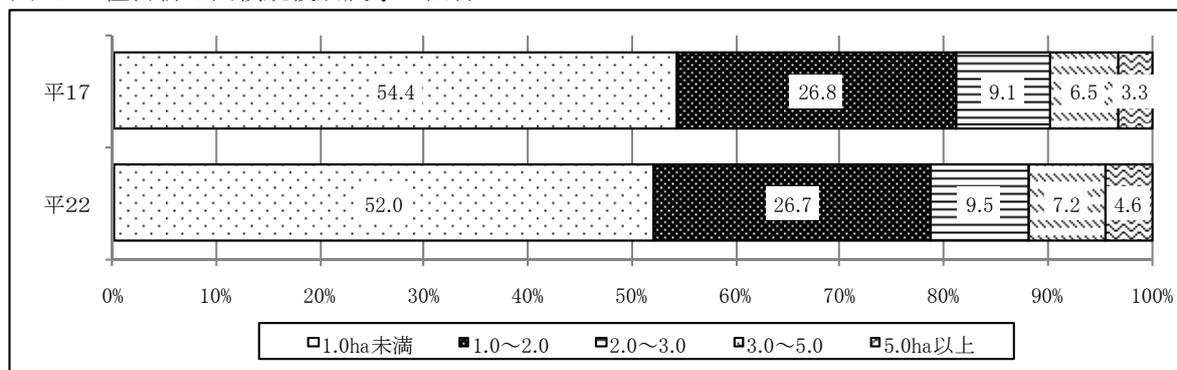


図 48 経営耕地面積規模別農家の割合



#### 4 農産物販売金額規模別農家数

～100万円未満の販売農家が増加～

販売農家を農産物販売金額規模別にみると、販売なしの階層は3,076戸（全体に占める割合9.9%）で前回に比べ36.8%減、100～500万円層は7,997戸（同25.8%）で16.0%減、500～1,000万円層は3,283戸（同10.6%）で15.5%減、1,000～3,000万円層は3,796戸（同12.3%）で15.5%減、3,000万円以上層は963戸（同3.1%）で12.2%減とそれぞれ減少した。

一方、100万円未満層は11,843戸（同38.3%）で前回に比べ4.0%増加した。

表 60 農産物販売金額規模別農家数

（単位：戸、%）

		計	販売なし	100万円未満	100～500	500～1,000	1,000～3,000	3,000万円以上
実数	平17	35,245	4,868	11,385	9,518	3,885	4,492	1,097
	平22	30,958	3,076	11,843	7,997	3,283	3,796	963
増減数		△ 4,287	△ 1,792	458	△ 1,521	△ 602	△ 696	△ 134
増減率		△ 12.2	△ 36.8	4.0	△ 16.0	△ 15.5	△ 15.5	△ 12.2
構成比	平17	100.0	13.8	32.3	27.0	11.0	12.7	3.1
	平22	100.0	9.9	38.3	25.8	10.6	12.3	3.1

図 49 農産物販売金額規模別農家の割合

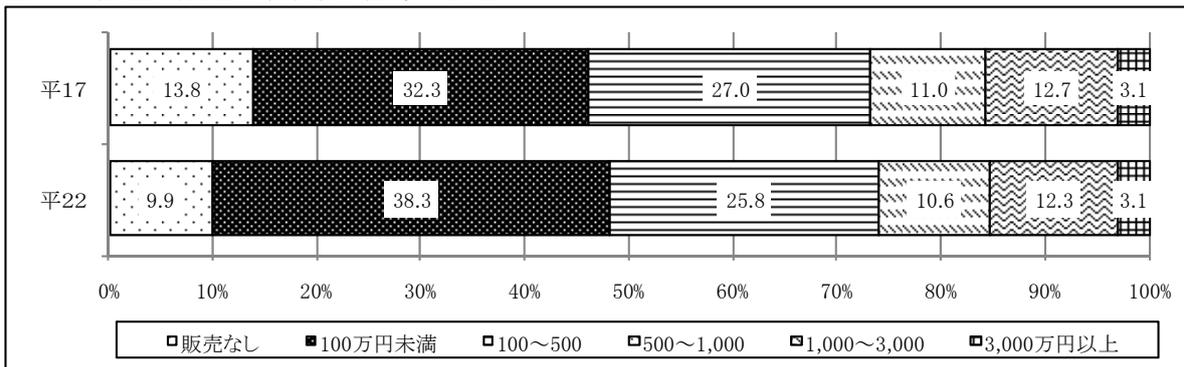
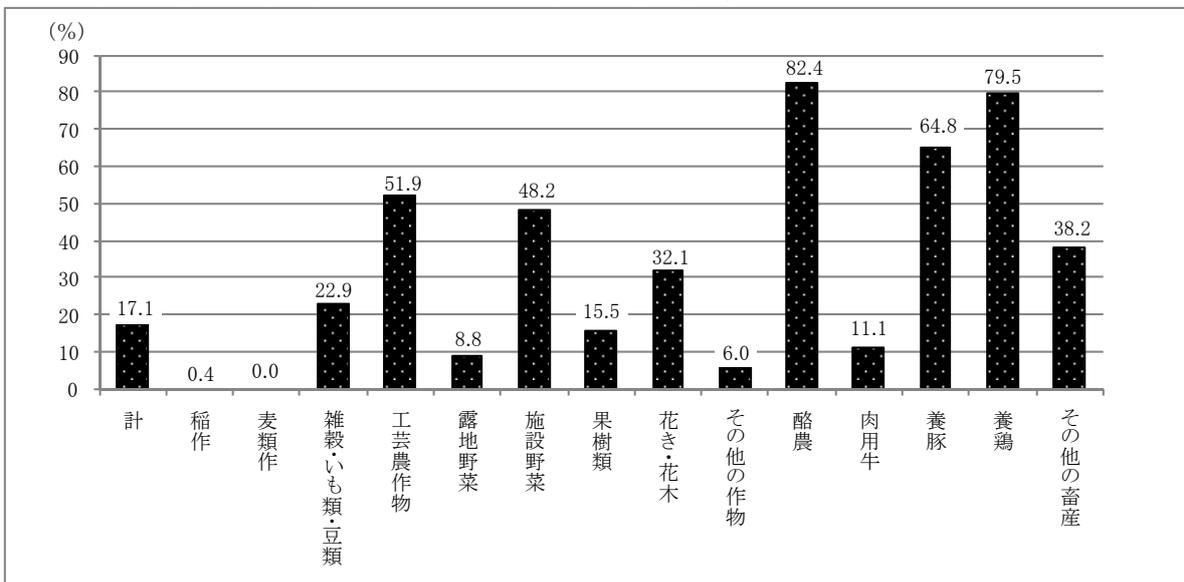


図 50 農産物販売金額 1 位の部門別 1 千万円以上の販売農家の割合



5 農業経営組織別農家数  
～販売農家の7割以上が単一経営～

販売農家のうち、販売のあった農家数は27,882戸となり、前回に比べ8.2%減少した。

これを農業経営組織別にみると、単一経営（主位部門の農産物販売金額が80%以上の経営）の農家数は19,849戸（全体に占める割合71.2%）で前回に比べ10.2%減、準単一複合経営（主位部門の農産物販売金額が60%以上80%未満の経営）の農家数は6,139戸（同22.0%）で6.5%減とそれぞれ減少した。

一方、複合経営（主位部門の農産物販売金額が60%未満の経営）の農家数は1,894戸（同6.8%）で前回に比べ10.1%増加した。

表 61 農業経営組織別農家数 (単位：戸、%)

		販売のあった農家	単一経営農家	準単一複合経営農家	複合経営農家
実数	平17	30,377	22,092	6,564	1,721
	平22	27,882	19,849	6,139	1,894
増減数		△ 2,495	△ 2,243	△ 425	173
増減率		△ 8.2	△ 10.2	△ 6.5	10.1
構成比	平17	100.0	72.7	21.6	5.7
	平22	100.0	71.2	22.0	6.8

図 51 農業経営組織別農家の割合

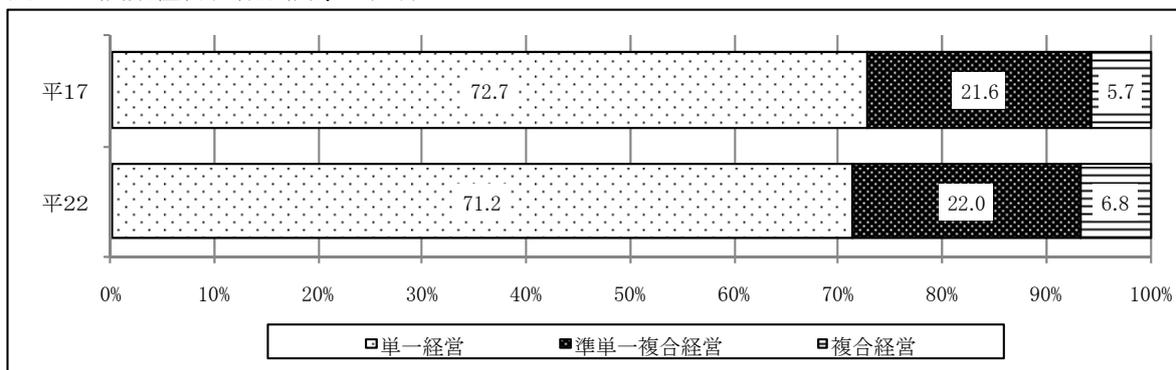
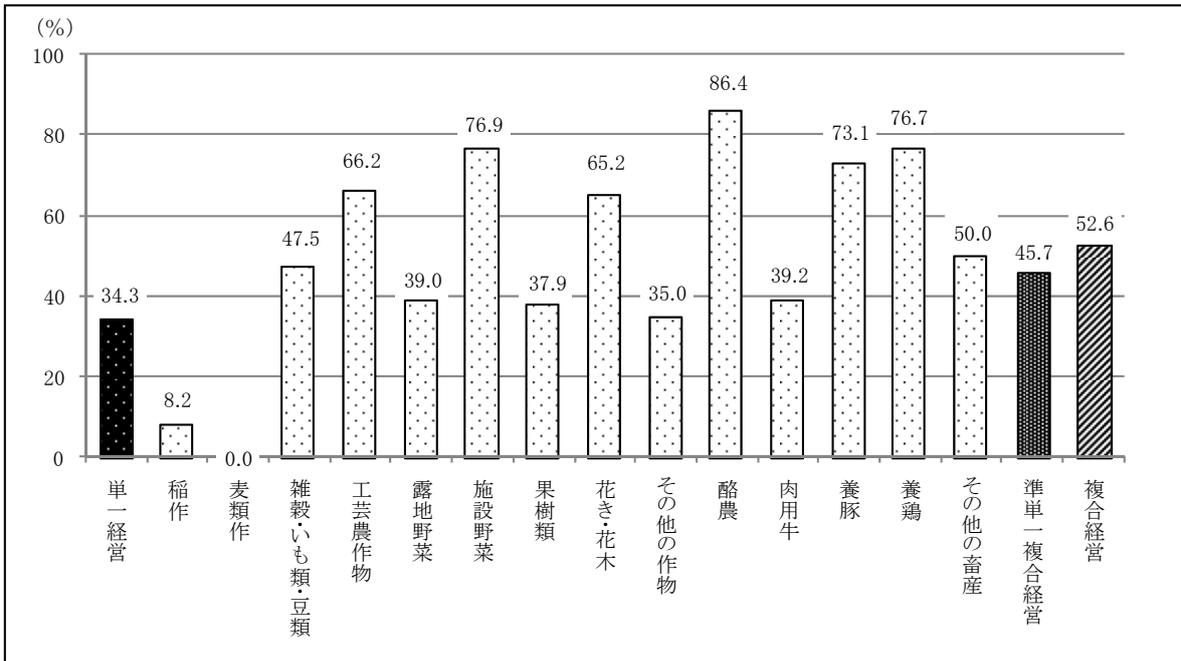


表 62 単一経営農家の内訳 (単位：戸、%)

		単一経営農家(主位部門の農産物販売金額が80%以上の農家)													
		稲作	雑穀・ いも類 ・豆類	工芸 農作物	露地 野菜	施設 野菜	果樹類	花き ・花木	その他 の作物	酪農	肉用牛	養豚	養鶏	その他 の畜産	
実数	平17	22,092	7,866	533	733	1,281	2,796	1,124	528	374	345	5,678	374	438	22
	平22	19,849	7,825	518	385	1,365	2,315	1,186	422	330	250	4,559	260	408	26
増減数		△ 2,243	△ 41	△ 15	△ 348	84	△ 481	62	△ 106	△ 44	△ 95	△ 1,119	△ 114	△ 30	4
増減率		△ 10.2	△ 0.5	△ 2.8	△ 47.5	6.6	△ 17.2	5.5	△ 20.1	△ 11.8	△ 27.5	△ 19.7	△ 30.5	△ 6.8	18.2
構成比	平17	100.0	35.6	2.4	3.3	5.8	12.7	5.1	2.4	1.7	1.6	25.7	1.7	2.0	0.1
	平22	100.0	39.4	2.6	1.9	6.9	11.7	6.0	2.1	1.7	1.3	23.0	1.3	2.1	0.1

図 52 農業経営組織別主業農家率



6 農業労働力保有状態別農家数

～女性専従者だけの農家が2割減少～

販売農家を農業労働力保有状態別にみると、専従者ありの農家数は 20,932 戸（販売農家全体に占める割合 67.6%）で前回に比べ 8.3%減、専従者なしの農家数は 10,026 戸（同 32.4%）で 19.3%減とそれぞれ減少した。

専従者ありの農家のうち、65歳未満の専従者がいる農家数は 12,374 戸（同 40.0%）で前回に比べ 14.1%減、専従者は女だけの農家数は 2,012 戸（同 6.5%）で 23.4%減とそれぞれ減少した。

一方、専従者は男だけの農家数は 5,103 戸（同 16.5%）で前回に比べ 19.1%増加した。

表 63 農業労働力保有状態別農家数

(単位：戸、%)

	販売農家 合計	専従者あり						専従者 なし	
		計	65歳未満 の専従者 がいる	60歳未満 の男の専 従者がいる	男女の 専従者 がいる	専従者は 男だけ	専従者は 女だけ		
実数	平17	35,245	22,825	14,412	9,240	15,914	4,285	2,626	12,420
	平22	30,958	20,932	12,374	8,081	13,817	5,103	2,012	10,026
増減数	△ 4,287	△ 1,893	△ 2,038	△ 1,159	△ 2,097	818	△ 614	△ 2,394	
増減率	△ 12.2	△ 8.3	△ 14.1	△ 12.5	△ 13.2	19.1	△ 23.4	△ 19.3	
構成比	平17	100.0	64.8	40.9	26.2	45.2	12.2	7.5	35.2
	平22	100.0	67.6	40.0	26.1	44.6	16.5	6.5	32.4

図 53 農業労働力保有状態別販売農家の割合

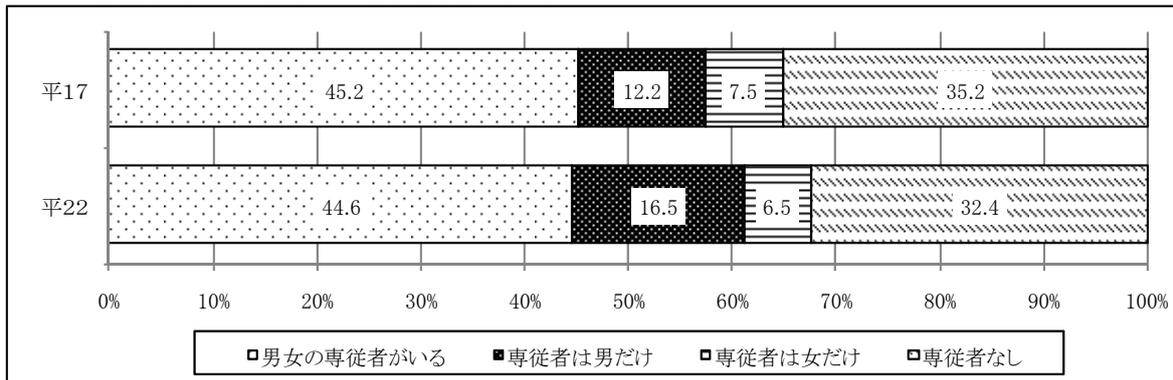
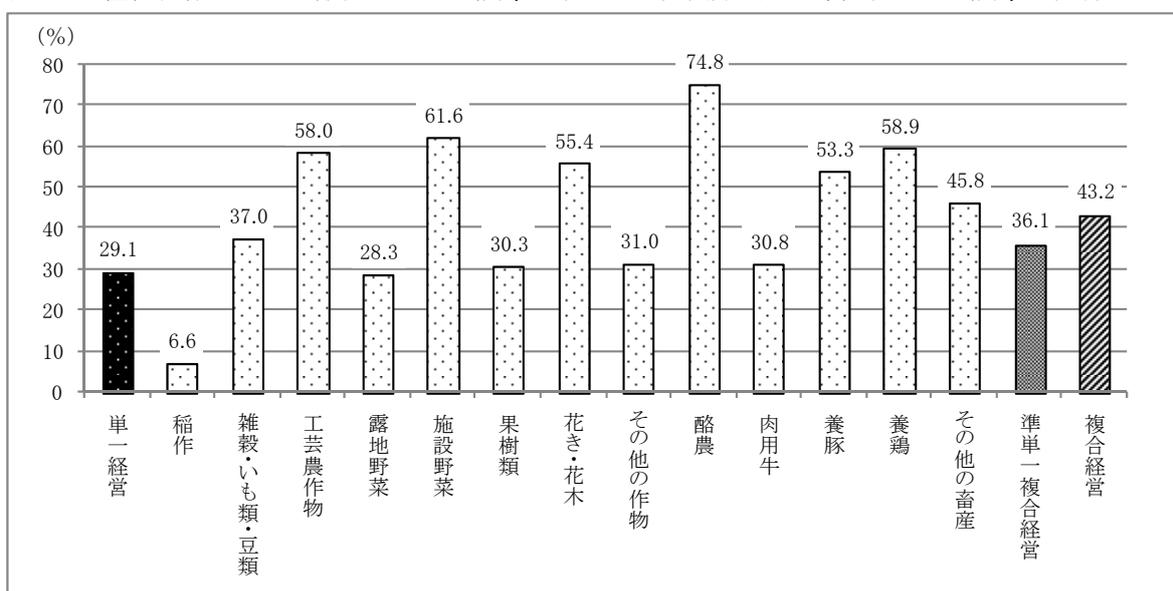


図 54 経営組織別にみた販売のあった農家のうち 60 歳未満の男の専従者のいる農家の割合



### 7 年齢別の農業従事者数

～75歳以上の農業従事者が全体の2割（前回比20.4%増加）～

農業従事者数は77,819人となり、前回に比べ15.2%減少した。

これを年齢別にみると、15～64歳層は43,550人（全体に占める割合56.0%）で前回に比べ19.5%減、65～74歳層は18,241人（同23.4%）で25.0%減とそれぞれ減少した。

75歳以上の区分をみると、75～79歳層は9,123人（同11.7%）、80～84歳層は5,223人（同6.7%）、85歳以上は1,682人（同2.2%）となった。75歳以上は16,028人（同20.6%）となり、前回（13,316人）に比べ20.4%増加した。

表 64 年齢別の農業従事者数 (単位：人、%)

		計	15～64歳	65～74	75歳以上	75～79	80～84	85歳以上
実数	平17	91,740	54,088	24,336	13,316	...	...	...
	平22	77,819	43,550	18,241	16,028	9,123	5,223	1,682
増減数		△ 13,921	△ 10,538	△ 6,095	2,712	-	-	-
増減率		△ 15.2	△ 19.5	△ 25.0	20.4	-	-	-
構成比	平17	100.0	59.0	26.5	14.5	-	-	-
	平22	100.0	56.0	23.4	20.6	11.7	6.7	2.2

### 8 年齢別の農業就業人口

～75歳以上の農業就業人口が増加～

農業就業人口は57,076人となり、前回に比べ13.8%減少した。

これを年齢別にみると、15～19歳層は860人（全体に占める割合1.5%）で前回に比べ34.7%減、20～29歳層は1,475人（同2.6%）で20.4%減、30～39歳層は2,415人（同4.2%）で15.3%減、40～49歳層は4,373人（同7.7%）で34.2%減、50～59歳層は9,297人（同16.3%）で14.2%減、60～64歳層は6,419人（同11.2%）で10.9%減、65～69歳層は7,232人（同12.7%）で31.4%減、70～74歳層は9,561人（同16.8%）で20.1%減とそれぞれ減少した。

75歳以上の区分をみると、75～79歳層は8,829人（同15.5%）、80～84歳層は5,023人（同8.8%）、85歳以上は1,592人（同2.8%）となった。75歳以上は15,444人（同27.1%）となり、前回（13,039人）に比べ18.4%増加した。

表 65 年齢別の農業就業人口 (単位：人、%)

		計	15～19歳	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75歳以上	75～79	80～84	85歳以上
実数	平17	66,245	1,318	1,853	2,850	6,648	10,830	7,204	10,544	11,959	13,039	...	...	...
	平22	57,076	860	1,475	2,415	4,373	9,297	6,419	7,232	9,561	15,444	8,829	5,023	1,592
増減数		△ 9,169	△ 458	△ 378	△ 435	△ 2,275	△ 1,533	△ 785	△ 3,312	△ 2,398	2,405	-	-	-
増減率		△ 13.8	△ 34.7	△ 20.4	△ 15.3	△ 34.2	△ 14.2	△ 10.9	△ 31.4	△ 20.1	18.4	-	-	-
構成比	平17	100.0	2.0	2.8	4.3	10.0	16.3	10.9	15.9	18.1	19.7	-	-	-
	平22	100.0	1.5	2.6	4.2	7.7	16.3	11.2	12.7	16.8	27.1	15.5	8.8	2.8

### 9 年齢別の基幹的農業従事者数

～75歳以上の基幹的農業従事者が大幅増～

基幹的農業従事者数は49,198人となり、前回に比べ10.2%減少した。

これを年齢別にみると、15～19歳層は41人（全体に占める割合0.1%）で前回に比べ7.9%増加した。

一方、20～29歳層は1,082人（同2.2%）で15.9%減、30～39歳層は2,110人（同4.3%）で12.3%減、40～49歳層は4,093人（同8.3%）で34.0%減、50～59歳層は8,782人（同17.9%）で13.2%減、60～64歳層は5,897人（同12.0%）で9.5%減、65～69歳層は6,556人（同13.3%）で29.9%減、70～74歳層は8,505人（同17.3%）で14.9%減とそれぞれ減少した。

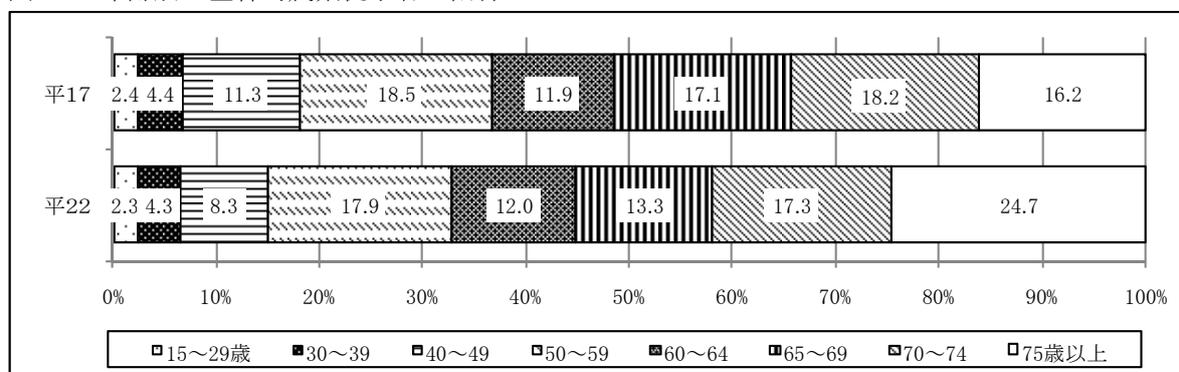
75歳以上の区分をみると、75～79歳層は7,460人（同15.2%）、80～84歳層は3,744人（同7.6%）、85歳以上は928人（同1.9%）となった。75歳以上は12,132人（同24.7%）となり、前回(8,883人)に比べ36.6%増加した。

表 66 年齢別の基幹的農業従事者数

（単位：人、%）

		計	15～19歳	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75歳以上	75～79	80～84	85歳以上
実数	平17	54,795	38	1,287	2,407	6,200	10,113	6,519	9,350	9,998	8,883	...	...	...
	平22	49,198	41	1,082	2,110	4,093	8,782	5,897	6,556	8,505	12,132	7,460	3,744	928
増減数		△ 5,597	3	△ 205	△ 297	△ 2,107	△ 1,331	△ 622	△ 2,794	△ 1,493	3,249	-	-	-
増減率		△ 10.2	7.9	△ 15.9	△ 12.3	△ 34.0	△ 13.2	△ 9.5	△ 29.9	△ 14.9	36.6	-	-	-
構成比	平17	100.0	0.1	2.3	4.4	11.3	18.5	11.9	17.1	18.2	16.2	-	-	-
	平22	100.0	0.1	2.2	4.3	8.3	17.9	12.0	13.3	17.3	24.7	15.2	7.6	1.9

図 55 年齢別の基幹的農業従事者の割合



### 10 就業状態別世帯員数

～農業就業人口、基幹的農業従事者数ともに男性より女性が大幅減～

15歳以上の農家世帯員を就業状態別にみると、過去1年間に農業に従事した者（農業従事者）は77,819人となり、前回より15.2%減少した。

このうち、農業に主として従事した世帯員（農業就業人口）は57,076人となり、前回に比べ13.8%減、農業就業人口のうち、仕事が主の世帯員（基幹的農業従事者）は49,198人となり、前回に比べ10.2%減とそれぞれ減少した。

表 67 就業状態別世帯員数

(単位：人、%)

		農業従事者数	農業就業人口			基幹的農業従事者数		
			計	男	女	計	男	女
実数	平17	91,740	66,245	32,594	33,651	54,795	28,723	26,072
	平22	77,819	57,076	29,294	27,782	49,198	26,912	22,286
増減数		△ 13,921	△ 9,169	△ 3,300	△ 5,869	△ 5,597	△ 1,811	△ 3,786
増減率		△ 15.2	△ 13.8	△ 10.1	△ 17.4	△ 10.2	△ 6.3	△ 14.5
構成比	平17	100.0	72.2	35.5	36.7	59.7	31.3	28.4
	平22	100.0	73.3	37.6	35.7	63.2	34.6	28.6

11 農業後継者の有無別農家数

～農業後継者のいる農家が増加～

販売農家を農業後継者の有無別にみると、同居後継者がいる農家は7,727戸（全体に占める割合25.0%）で前回に比べ14.3%減、同居後継者がいない農家は23,231戸（同75.0%）で11.4%減とそれぞれ減少した。

同居後継者がいない農家のうち、他出農業後継者がいない農家は16,733戸（同54.1%）で前回に比べ24.0%減少した。

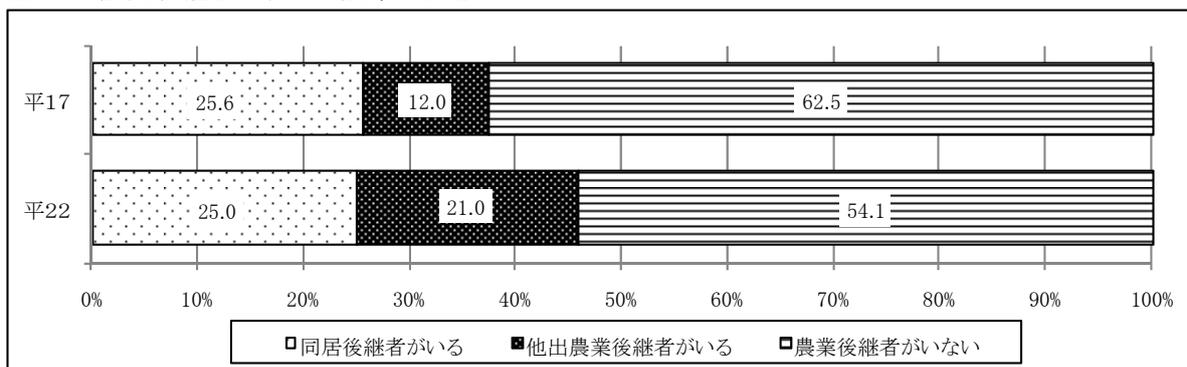
農業後継者のいる農家（同居後継者がいる農家と他出農業後継者がいる農家の合計）は14,225戸となり、前回（13,225戸）に比べ7.6%増加した。

表 68 農業後継者の有無別農家数

(単位：戸、%)

		販売農家合計	同居後継者がいる			同居後継者がいない		
			計	男	女	計	他出農業後継者がいる	他出農業後継者がいない
実数	平17	35,245	9,013	8,473	540	26,232	4,212	22,020
	平22	30,958	7,727	7,198	529	23,231	6,498	16,733
増減数		△ 4,287	△ 1,286	△ 1,275	△ 11	△ 3,001	2,286	△ 5,287
増減率		△ 12.2	△ 14.3	△ 15.0	△ 2.0	△ 11.4	54.3	△ 24.0
構成比	平17	100.0	25.6	24.0	1.5	74.4	12.0	62.5
	平22	100.0	25.0	23.3	1.7	75.0	21.0	54.1

図 56 農業後継者の有無別農家の割合



## 12 農作物の類別作付（栽培）農家数と作付（栽培）面積

～いも類の栽培面積が大幅増～

販売農家のうち、農作物を販売目的で作付（栽培）した実農家数は 24,291 戸で前回に比べ 9.2%減、面積は 26,674ha で 4.9%減とそれぞれ減少した。

このうち、作付（栽培）農家数が多かったのは、稲が 20,579 戸（全体に占める割合 84.7%）で前回に比べ 8.2%減、次いで野菜類が 9,852 戸（同 40.6%）で 10.6%減、いも類が 2,213 戸（同 9.1%）で 19.7%減などとなっている。

作付（栽培）面積が多かったのは、稲が 13,368ha（同 50.1%）で前回に比べ 1.2%減、次いで野菜類が 6,560ha（同 24.6%）で 6.2%減、いも類が 3,005ha（同 11.3%）で 28.5%増などとなっている。

表 69 農作物の類別作付（栽培）農家数と作付（栽培）面積（単位：戸、ha、%）

		作付 (栽培) 実農家数	作付 (栽培) 面積	稲		麦類		雑穀		いも類	
				農家数	面積	農家数	面積	農家数	面積	農家数	面積
実数	平17	26,758	28,036	22,407	13,526	114	31	367	138	2,757	2,338
	平22	24,291	26,674	20,579	13,368	202	68	512	201	2,213	3,005
増減数		△ 2,467	△ 1,362	△ 1,828	△ 158	88	37	145	63	△ 544	667
増減率		△ 9.2	△ 4.9	△ 8.2	△ 1.2	77.2	119.4	39.5	45.7	△ 19.7	28.5
構成比	平17	100.0	100.0	83.7	48.2	0.4	0.1	1.4	0.5	10.3	8.3
	平22	100.0	100.0	84.7	50.1	0.8	0.3	2.1	0.8	9.1	11.3

(つづき)

		豆類		工芸農作物		野菜類		花き類・花木		その他の作物	
		農家数	面積	農家数	面積	農家数	面積	農家数	面積	農家数	面積
実数	平17	908	174	2,045	3,522	11,024	6,990	1,041	460	1,140	858
	平22	580	105	1,484	2,635	9,852	6,560	910	396	377	336
増減数		△ 328	△ 69	△ 561	△ 887	△ 1,172	△ 430	△ 131	△ 64	△ 763	△ 522
増減率		△ 36.1	△ 39.7	△ 27.4	△ 25.2	△ 10.6	△ 6.2	△ 12.6	△ 13.9	△ 66.9	△ 60.8
構成比	平17	3.4	0.6	7.6	12.6	41.2	24.9	3.9	1.6	4.3	3.1
	平22	2.4	0.4	6.1	9.9	40.6	24.6	3.7	1.5	1.6	1.3

## 13 稲の作付面積規模別農家数

～作付面積 2 ha 以上の農家が増加～

販売目的で稲の作付けを行った実農家数は 20,579 戸で前回に比べ 8.2%減少した。

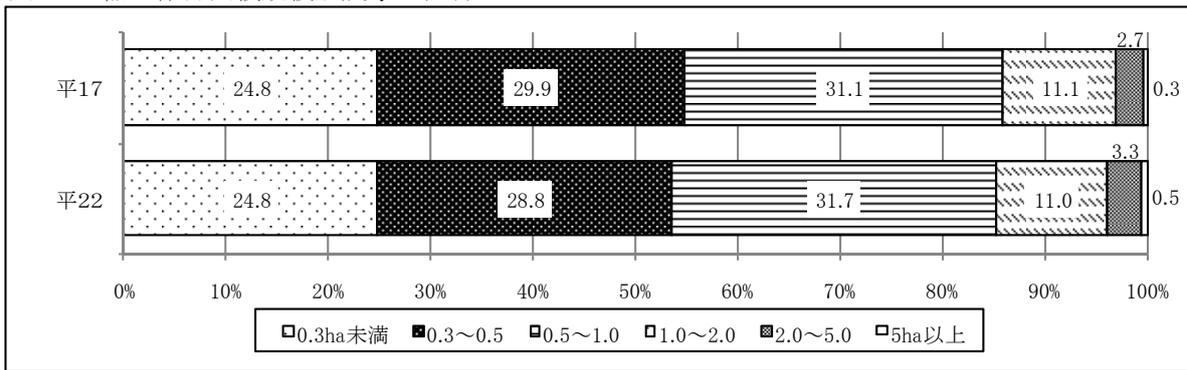
これを作付面積規模別にみると、0.3ha 未満層は 5,103 戸（全体に占める割合 24.8%）で前回に比べ 8.3%減、0.3～0.5ha 層は 5,922 戸（同 28.8%）で 11.6%減、0.5～1.0ha 層は 6,523 戸（同 31.7%）で 6.4%減、1.0～2.0ha は 2,260 戸（同 11.0%）で 9.2%減とそれぞれ減少した。

一方、2.0～5.0ha 層は 675 戸（同 3.3%）で前回に比べ 10.7%増、5ha 以上層は 96 戸（同 0.5%）で 24.7%増とそれぞれ増加した。

表 70 稲の作付面積規模別農家数 (単位: 戸、%)

		実農家数	0.3ha 未満	0.3 ~0.5	0.5 ~1.0	1.0 ~2.0	2.0 ~5.0	5ha 以上
実数	平17	22,407	5,562	6,701	6,967	2,490	610	77
	平22	20,579	5,103	5,922	6,523	2,260	675	96
増減数		△ 1,828	△ 459	△ 779	△ 444	△ 230	65	19
増減率		△ 8.2	△ 8.3	△ 11.6	△ 6.4	△ 9.2	10.7	24.7
構成比	平17	100.0	24.8	29.9	31.1	11.1	2.7	0.3
	平22	100.0	24.8	28.8	31.7	11.0	3.3	0.5

図 57 稲の作付面積規模別農家の割合



#### 14 果樹の栽培農家数と栽培面積

～栽培実農家数、栽培面積ともに減少～

販売目的で果樹栽培を行った実農家数は2,931戸で前回に比べ2.8%減、栽培面積は2,101haで1.3%減とそれぞれ減少した。

このうち、栽培農家数が多かったのは、その他のかんきつ類が1,283戸で前回に比べ4.5%増、次いでくりが723戸で11.0%減、温州みかんが695戸で17.9%減などとなっている。

表 71 果樹の栽培農家数と栽培面積 (単位: 戸、ha、%)

		栽培 実農家数	栽培面積 合計	温州みかん	その他の かんきつ類	りんご	ぶどう	なし
実数	平17	3,014	2,129	847	1,228	4	225	90
	平22	2,931	2,101	695	1,283	5	200	72
増減数		△ 83	△ 28	△ 152	55	1	△ 25	△ 18
増減率		△ 2.8	△ 1.3	△ 17.9	4.5	25.0	△ 11.1	△ 20.0

(つづき)

		もも	かき	くり	うめ	すもも	キウイ フルーツ	その他の 果樹
実数	平17	71	192	812	265	...	...	386
	平22	63	197	723	226	41	20	460
増減数		△ 8	5	△ 89	△ 39	-	-	74
増減率		△ 11.3	2.6	△ 11.0	△ 14.7	-	-	19.2

15 家畜の飼養農家数と飼養頭羽数

～1戸当たりの飼養頭羽数が肉用牛、豚、採卵鶏で増加～

販売目的で家畜を飼養している農家数は、乳用牛が490戸（前回に比べ4.5%減）、肉用牛が8,548戸（同18.3%減）、豚が317戸（同33.5%減）、採卵鶏が91戸（同43.1%減）、ブロイラーを出荷した農家数が376戸（同4.6%減）とそれぞれ減少した。

飼養頭羽数は、乳用牛が16,470頭（前回に比べ12.2%減）、肉用牛が198,461頭（同3.9%減）、豚が183,670頭（同23.7%減）、採卵鶏が1,646,000羽（同3.8%減）、ブロイラーの出荷羽数は72,360,000羽（同8.9%減）とそれぞれ減少した。

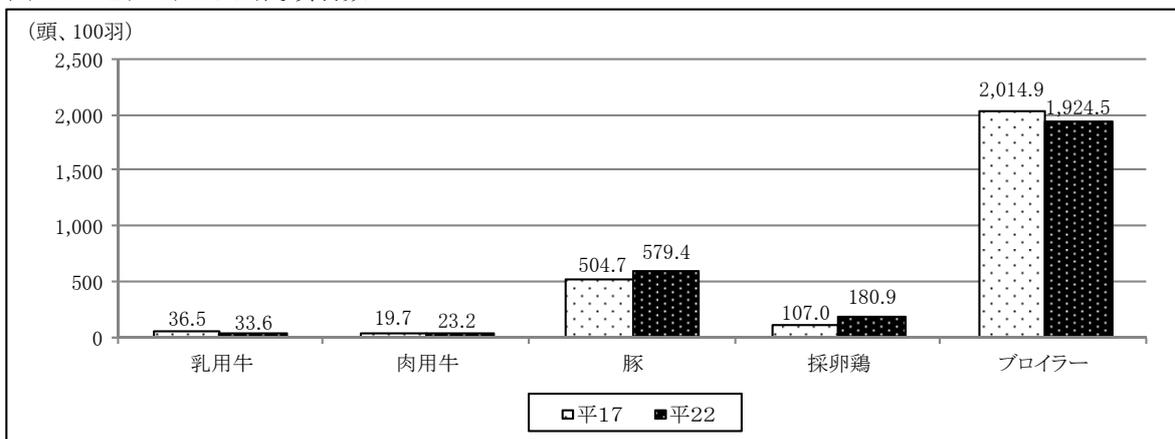
1戸当たりの飼養頭羽数は、乳用牛が33.6頭で前回に比べ2.9頭減、ブロイラーが192,450羽で9,040羽減とそれぞれ減少した。

一方、肉用牛が23.2頭で3.5頭増、豚が579.4頭で74.7頭増、採卵鶏が18,090羽で7,390羽増とそれぞれ増加した。

表 72 家畜の飼養農家数と飼養頭羽数 (単位：戸、頭、100羽、%)

		乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		ブロイラー	
		飼養農家数	飼養頭数	飼養農家数	飼養頭数	飼養農家数	飼養頭数	飼養農家数	飼養羽数	出荷した農家数	出荷羽数
実数	平17	513	18,750	10,463	206,482	477	240,759	160	17,119	394	793,878
	平22	490	16,470	8,548	198,461	317	183,670	91	16,460	376	723,600
増減数		△ 23	△ 2,280	△ 1,915	△ 8,021	△ 160	△ 57,089	△ 69	△ 659	△ 18	△ 70,278
増減率		△ 4.5	△ 12.2	△ 18.3	△ 3.9	△ 33.5	△ 23.7	△ 43.1	△ 3.8	△ 4.6	△ 8.9
1戸当たり飼養頭羽数	平17	36.5		19.7		504.7		107.0		2,014.9	
	平22	33.6		23.2		579.4		180.9		1,924.5	
	増減数	△ 2.9		3.5		74.7		73.9		△ 90.4	

図 58 1戸当たり飼養頭羽数



16 水稲作作業を委託した農家数  
～防除作業以外はすべて減少～

稲を作った農家のうち、水稲作作業を委託した農家数は 18,266 戸で前回と比べ 24.3%減少した。

これを作業別にみると、防除以外はすべて減少した。

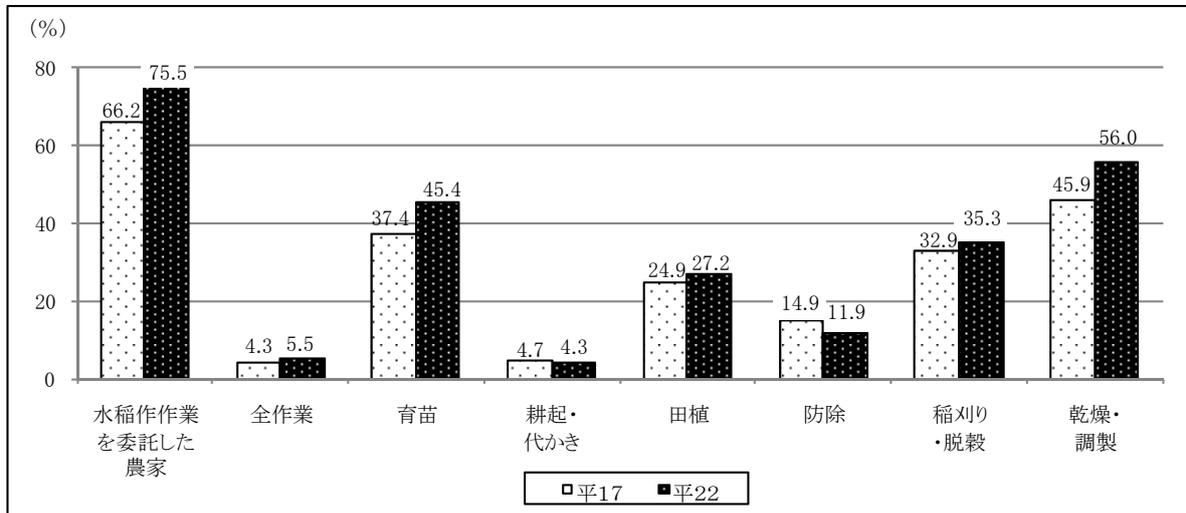
作業別に委託した農家のうち、稲を作った農家(27,605 戸)に対する割合は、育苗が 37.4%、耕起・代かきが 4.7%、田植が 24.9%、防除が 14.9%、稲刈り・脱穀が 32.9%、乾燥・調製が 45.9%となっている。

表 73 水稲作作業を委託した農家数 (単位: 戸、%)

		水稲作の作業種類別農家数							
		実農家数	全作業	作業別に委託した					
				育苗	耕起・代かき	田植	防除	稲刈り・脱穀	乾燥・調製
実数	平17	24,127	1,763	14,507	1,379	8,689	3,786	11,292	17,886
	平22	18,266	1,189	10,333	1,304	6,884	4,125	9,089	12,672
増減数		△ 5,861	△ 574	△ 4,174	△ 75	△ 1,805	339	△ 2,203	△ 5,214
増減率		△ 24.3	△ 32.6	△ 28.8	△ 5.4	△ 20.8	9.0	△ 19.5	△ 29.2
稲を作った農家 に対する割合	平17	75.5	5.5	45.4	4.3	27.2	11.9	35.3	56.0
	平22	66.2	4.3	37.4	4.7	24.9	14.9	32.9	45.9

※稲を作った農家数は、平成 17 年が 31,947 戸、平成 22 年が 27,605 戸

図 59 稲を作った農家に対する水稲作作業を委託した農家の割合



## VI 林業経営体

## 1 保有山林面積規模別経営体数と保有山林面積

～保有山林面積3～10haの経営体が全体の4割（前回比33.1%減少）～

林業経営体を保有山林面積規模別にみると、保有山林なしの階層は55経営体（全体に占める割合1.3%）で前回に比べ28.6%減、3～5ha層は927経営体（同21.4%）で37.2%減、5～10ha層は946経営体（同21.8%）で28.5%減、10～20ha層は899経営体（同20.7%）で24.0%減、20～30ha層は534経営体（同12.3%）で19.1%減、30～50ha層は496経営体（同11.4%）で11.1%減、50～100ha層は277経営体（同6.4%）で16.1%減、100ha以上層は142経営体（同3.3%）で10.7%減とそれぞれ減少した。

このうち、3～10haの経営体は合わせて1,873経営体（全体に占める割合43.1%）となり、前回（2,800経営体）に比べ33.1%減少した。

一方、3ha未満層は65経営体（同1.5%）で前回に比べ32.7%増加した。

林業経営体の保有山林面積は134,172haとなり、前回に比べ16.3%減少した。

保有山林面積を保有山林面積規模別にみると、3～5ha層は3,268ha（全体に占める割合2.4%）で前回に比べ36.4%減、5～10ha層は6,111ha（同4.6%）で27.7%減、10～20ha層は11,892ha（同8.9%）で23.0%減、20～30ha層は11,893ha（同8.9%）で19.3%減、30～50ha層は17,689ha（同13.2%）で11.4%減、50～100ha層は17,801ha（同13.3%）で14.6%減、100ha以上層は65,433ha（同48.8%）で13.6%減とそれぞれ減少した。

一方、3ha未満層は85ha（同0.1%）で前回に比べ37.1%増加した。

表 74 保有山林面積規模別経営体数と保有山林面積 (単位：経営体、ha、%)

		計		保有山林なし		3ha未満		3～5ha		5～10	
		経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
実数	平17	5,816	160,375	77	-	49	62	1,477	5,138	1,323	8,452
	平22	4,341	134,172	55	-	65	85	927	3,268	946	6,111
増減数		△ 1,475	△ 26,203	△ 22	-	16	23	△ 550	△ 1,870	△ 377	△ 2,341
増減率		△ 25.4	△ 16.3	△ 28.6	-	32.7	37.1	△ 37.2	△ 36.4	△ 28.5	△ 27.7
構成比	平17	100.0	100.0	1.3	-	0.8	0.0	25.4	3.2	22.7	5.3
	平22	100.0	100.0	1.3	-	1.5	0.1	21.4	2.4	21.8	4.6

(つづき)

		10～20		20～30		30～50		50～100		100ha以上	
		経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
実数	平17	1,183	15,448	660	14,729	558	19,956	330	20,838	159	75,752
	平22	899	11,892	534	11,893	496	17,689	277	17,801	142	65,433
増減数		△ 284	△ 3,556	△ 126	△ 2,836	△ 62	△ 2,267	△ 53	△ 3,037	△ 17	△ 10,319
増減率		△ 24.0	△ 23.0	△ 19.1	△ 19.3	△ 11.1	△ 11.4	△ 16.1	△ 14.6	△ 10.7	△ 13.6
構成比	平17	20.3	9.6	11.3	9.2	9.6	12.4	5.7	13.0	2.7	47.2
	平22	20.7	8.9	12.3	8.9	11.4	13.2	6.4	13.3	3.3	48.8

図 60 保有山林面積規模別にみた林業経営体の割合

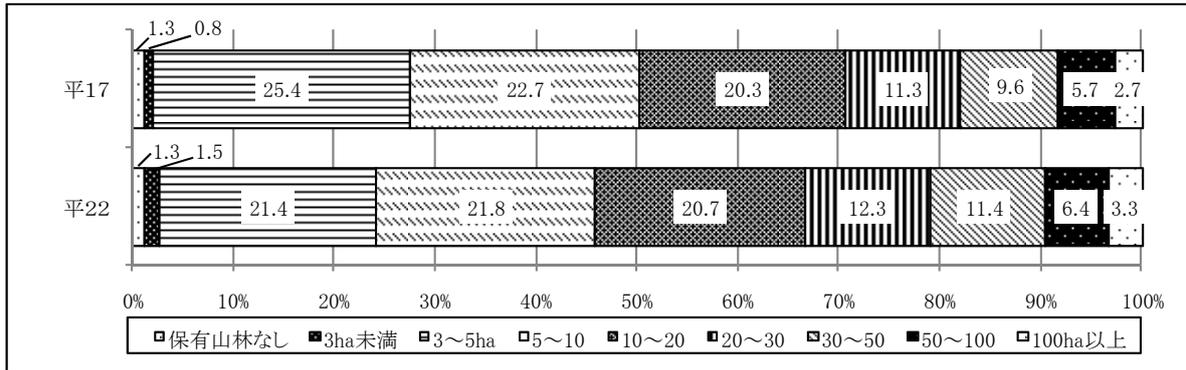
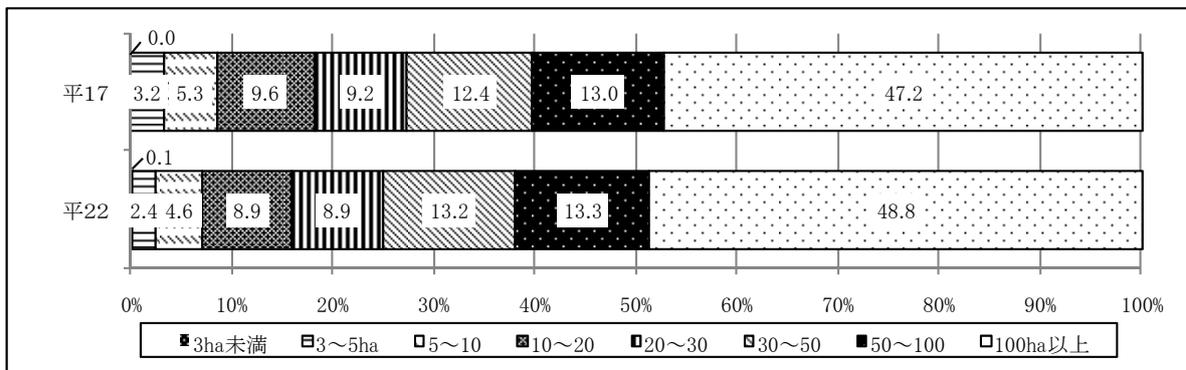


図 61 保有山林面積規模別にみた保有山林面積の割合



## 2 林産物販売経営体数

～特用林産物を販売した経営体が大幅増加～

林業経営体のうち、林産物を販売した実経営体数は 959 経営体（全体に占める割合 22.1%）で前回に比べ 0.4%減少した。

このうち、用材を立木で販売した経営体数は 291 経営体（同 6.7%）で 22.3%増加した一方、用材を素材で販売した経営体数は 526 経営体（同 12.1%）で 24.1%減少した。ほだ木用原木を販売した経営体数は 97 経営体（同 2.2%）で 12.8%増、特用林産物を販売した経営体数は 179 経営体（同 4.1%）で 77.2%増となっている。

表 75 林産物販売経営体数

（単位：経営体、%）

		計	販売なし	販売した経営体				
				実経営体数	用材		ほだ木用原木	特用林産物
					立木で	素材で		
実数	平17	5,816	4,853	963	238	693	86	101
	平22	4,341	3,382	959	291	526	97	179
増減数		△ 1,475	△ 1,471	△ 4	53	△ 167	11	78
増減率		△ 25.4	△ 30.3	△ 0.4	22.3	△ 24.1	12.8	77.2
構成比	平17	100.0	83.4	16.6	4.1	11.9	1.5	1.7
	平22	100.0	77.9	22.1	6.7	12.1	2.2	4.1

## 3 保有山林の作業実施状況

～主伐を行った経営体数及び面積が増加～

保有山林で林業作業を行った実経営体数は3,436経営体（全体に占める割合79.2%）で前回に比べ20.3%減少した。

林業作業を行った経営体のうち、植林は967経営体（同22.3%）で前回に比べ1.6%減、下刈りなどは2,734経営体（同63.0%）で17.7%減、間伐は1,420経営体（同32.7%）で32.5%減とそれぞれ減少した。

一方、主伐は388経営体（同8.9%）で前回に比べ7.8%増加した。

林業作業を行った面積のうち、植林は1,217haで前回に比べ25.0%減、下刈りなどは6,153haで34.9%減、間伐は3,547haで49.5%減とそれぞれ減少した。

一方、主伐は1,254haで前回に比べ25.3%増加した。

表 76 保有山林の作業実施状況

(単位：経営体、ha、%)

		林業経営体 合計	林業作業 を行った 実経営体数	植 林		下刈りなど		間 伐		主 伐	
				経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
実数	平17	5,816	4,309	983	1,623	3,321	9,452	2,105	7,017	360	1,001
	平22	4,341	3,436	967	1,217	2,734	6,153	1,420	3,547	388	1,254
増減数		△ 1,475	△ 873	△ 16	△ 406	△ 587	△ 3,299	△ 685	△ 3,470	28	253
増減率		△ 25.4	△ 20.3	△ 1.6	△ 25.0	△ 17.7	△ 34.9	△ 32.5	△ 49.5	7.8	25.3
構成比	平17	100.0	74.1	16.9	-	57.1	-	36.2	-	6.2	-
	平22	100.0	79.2	22.3	-	63.0	-	32.7	-	8.9	-

